

IBM

@server

iSeries

Performance Tools 報告書

バージョン 5 リリース 3





@server

iSeries

Performance Tools 報告書

バージョン 5 リリース 3

ご注意！

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、109ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM OS/400 (プロダクト番号 5722-SS1) および IBM Performance Tools for iSeries (プロダクト番号 5722-PT1) のバージョン 5、リリース 3、モディフィケーション 0 に適用されます。また、改訂版で断りがない限り、それ以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。このバージョンは、すべての RISC モデルで稼働するとは限りません。また CISC モデルでは稼働しません。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： iSeries
Performance Tools reports
Version 5 Release 3

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2005.8

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1998, 2005. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2005

目次

Performance Tools 報告書	1
パフォーマンス報告書の印刷	3
例: システム報告書	4
システム報告書 - 作業負荷	4
システム報告書 - リソース使用率	5
システム報告書 - リソース使用率拡張	6
システム報告書 - 記憶域プール使用率	7
システム報告書 - ディスク使用率	7
システム報告書 - 通信要約	8
システム報告書 - TCP/IP 要約	9
システム報告書 - HTTP サーバー要約	10
例: 構成要素報告書	10
構成要素報告書 - 構成要素間隔活動	11
構成要素報告書 - ジョブ作業負荷活動	12
構成要素報告書 - 記憶域プール活動	13
構成要素報告書 - ディスク活動	14
構成要素報告書 - 入出力処理装置 (IOP) 使用率	15
構成要素報告書 - ローカル・ワークステーション	16
構成要素報告書 - 遠隔ワークステーション	16
構成要素報告書 - 例外発生の要約と間隔カウント	17
構成要素報告書 - データベース・ジャーナル処理要約	18
構成要素報告書 - TCP/IP 活動	19
構成要素報告書 - HTTP サーバー活動	20
構成要素報告書 - 選択基準	21
例: トランザクション報告書	22
トランザクション報告書 - ジョブ要約報告書オプション	22
ジョブ要約	23
システム要約データ	24
システム要約データ (パート 1)	24
システム要約データ (パート 2)	25
システム要約データ (パート 3)	25
CPU/トランザクション別分布	26
トランザクションの影響度	26
5 分間隔ごとの対話式トランザクション	27
5 分間隔ごとの対話式スループット	27
5 分間隔ごとの対話式 CPU 使用率	28
5 分間隔ごとの対話式応答時間	28
分布図	28
対話式プログラム統計	29
オブジェクト別の占有/ロック競合の要約	30
特殊なシステム情報	30
優先順位 - ジョブ・タイプ - プール統計	30
ジョブ統計	31
対話式プログラム統計	32
個別トランザクション統計	32
最長の占有/ロック競合のセクション	33


占有/ロック競合の最長ホルダー	34
バッチ・ジョブ分析	34
並行バッチ・ジョブ統計	35
選択基準	35
トランザクション報告書 - トランザクション報告書オプション	36
トランザクション報告書 - 移行報告書オプション	37
例: ロック報告書	37
ロック報告書 - 明細	38
ロック報告書 - 要約	38
例: バッチ・ジョブ追跡報告書	39
例: ジョブ間隔報告書	39
ジョブ間隔報告書 - 対話式ジョブ要約	39
ジョブ間隔報告書 - 非対話式ジョブ要約	40
ジョブ間隔報告書 - 対話式ジョブ明細	41
ジョブ間隔報告書 - 非対話式ジョブ明細	42
ジョブ間隔報告書 - 選択基準	43
例: プール間隔報告書	44
プール間隔報告書 - サブシステム活動	44
プール間隔報告書 - プール活動	45
例: リソース間隔報告書	46
リソース間隔報告書 - ディスク使用率要約	46
リソース間隔報告書: - ディスク使用率明細	47
リソース間隔報告書 - 通信回線明細	48
SDLC プロトコル	48
X.25 プロトコル	48
TRLAN プロトコル	49
ELAN プロトコル	50
DDI プロトコル	50
FRLY プロトコル	51
ASYNC プロトコル	51
BSC プロトコル	52
ISDN ネットワーク・インターフェース	52
ISDN のネットワーク・インターフェース・メンテナンス・チャンネル	53
IDLC プロトコル	53
リソース間隔報告書 - IOP 使用率	54
リソース間隔報告書 - ローカル・ワークステーション応答時間	55
リソース間隔報告書 - 遠隔ワークステーション応答時間	56
パフォーマンス報告書の見出し	56
パフォーマンス報告書の欄	58

付録. 特記事項	109
商標	111
資料に関するご使用条件	111
コードに関する特記事項	112

Performance Tools 報告書

Performance Tools には、収集されたデータの調査を容易にする手段が用意されており、パフォーマンス問題を分離します。ある時間帯のパフォーマンス・データを収集した後、報告書を 3 ページの『パフォーマンス報告書の印刷』してシステム資源の使われ方と使われている場所を調べることができます。全体の応答時間が遅くなっている原因の特定のアプリケーション・プログラム、ユーザー、または非効率なワークロードが、報告書から分かります。

収集サービスは、ほとんどの Performance Tools 報告書のデータにトランザクション、ロック、およびトレース報告書の例外を提供します。これらの 3 つの報告書のトレース情報を収集するには、STRPFRTRC および ENDPFRTRC コマンドを使用する必要があります。

以下は、各報告書の説明とそれぞれの報告書を使用する理由の簡単な概要、および各報告書のサンプルへのリンクです。さらに、各報告書については、Performance Tools for iSeries  に詳しく説明されています。

Performance Tools 報告書の概要

報告書	説明	表示される内容	情報の使用方法
4 ページの『例: システム報告書』	収集サービスのデータを使用して、システムの稼働状態の概要を示します。この報告書には、ワークロード、資源の使用、記憶域プール使用率、ディスク使用率、および通信に関する要約情報が記載されます。この報告書をしばしば実行して印刷し、システムの使用に関して一般的に把握します。	システム・ワークロード。この報告書にはデータベース権限データが記載されません。	ワークロードの予測
10 ページの『例: 構成要素報告書』	収集サービスのデータを使用してシステム報告書の場合と同じシステム・パフォーマンス構成要素についての情報を示しますが、レベルが詳細になります。この報告書は、CPU やディスクなどのシステム資源を大量に消費しているジョブを見つけるのに役立ちます。	資源の使用、通信、システム、およびユーザー・ジョブ。この報告書には、データベース権限データおよび対話型のフィーチャー使用率も含まれます。	ハードウェアの拡張および構成処理の傾向
22 ページの『例: トランザクション報告書』	トレース・データを使用して、パフォーマンス・データ収集時に起きたトランザクションについての詳細情報を示します。	CPU のワークロードおよび使用率、ディスク、主記憶装置、トランザクション・ワークロード、オブジェクト競合	ワークロードの予測、プール構成、アプリケーション設計、ファイル競合、およびプログラムの使用

37 ページの『例: ロック報告書』	<p>トレース・データを使用して、システム操作時のロックおよび占有の競合についての情報を示します。この情報をもとに、不十分なロック要求や内部のマシン占有の競合が原因でジョブの処理が遅れているかどうかを判断することができます。このような状態を待機とも呼びます。このような状態が起きている場合は、ジョブがどのジョブを待機しているかということと、待機の長さを判断することができます。</p>	<p>時間別のファイル、レコード、またはオブジェクト競合; 保留ジョブまたはオブジェクト名; 要求ジョブまたはオブジェクト名</p>	<p>問題分析。オブジェクト競合の低減または除去。</p>
39 ページの『例: バッチ・ジョブ追跡報告書』	<p>トレース・データを使用して、時間を通してトレースされたさまざまなジョブ・タイプ (例: バッチ・ジョブ) の経過を示します。使用された資源、例外、および状態遷移が報告されます。</p>	<p>ジョブ・クラスのタイム・スライス終了およびトレース・データ</p>	<p>問題分析およびバッチ・ジョブの進行</p>
39 ページの『例: ジョブ間隔報告書』	<p>収集サービスのデータを使用して、すべてのまたは選択した間隔およびジョブに関する情報を示します。これには対話式ジョブと非対話式ジョブの詳細および要約情報が含まれます。報告書が長くなる場合は、含めたい間隔とジョブを選択して出力を制限することもできます。</p>	<p>間隔別のジョブ</p>	<p>ジョブ・データ</p>
44 ページの『例: プール間隔報告書』	<p>収集サービスのデータを使用して、サブシステム活動のセクションとプール活動のセクションを示します。データはサンプル間隔ごとに示されます。報告書が長くなる場合は、含めたい間隔とジョブを選択して出力を制限することもできます。</p>	<p>間隔別のプール</p>	<p>プール・データ</p>

46 ページの『例: リソース 間隔報告書』	収集サービスのデータを使用 して、すべてのまたは選 択した間隔についての資源 の情報を示します。報告書 が長くなる場合は、含めた い間隔を選択して出力を制 限することもできます。	間隔別のリソース	システム・リソースの使用
---------------------------	---	----------	--------------

Performance Explorer と収集サービスは、別々の収集エージェントです。それぞれは、グループ化された収集データのセットを含む独自のデータベース・ファイルのセットを生成します。同時に両方のコレクションを実行することができます。

他のツールでの報告書のリストについては、次を参照してください。

- Performance Explorer 報告書
- PM iSeries 報告書

パフォーマンス報告書の印刷

収集したパフォーマンス・データを使用して、報告書を印刷することができます。V5R1 より前のリリースでは、オプション 3 (パフォーマンス報告書の印刷) を選択すると、QAPMCONF ファイルにあったパフォーマンス・メンバーのリストが表示されました。このリストには、パフォーマンス・モニター開始 (STRPFRMON) コマンドによって収集されたサンプル・データと追跡データの両方が表示されていました。収集サービスは、追跡データを収集しません。ただし、STRPFRTRC および TRCINT コマンドを使用すれば、追跡データを収集することができます。このデータは、QAPMDMPT ファイルにあります。したがって、V5R1 以降では「パフォーマンス報告書の印刷」画面にサンプル・データ用と追跡データ用の 2 つの画面があります。

注: 追跡データとサンプル・データが両方とも現行ライブラリーにある場合は、F20 を使用すると、2 つの「パフォーマンス報告書の印刷」画面間で切り替えをすることができます。

データを収集した後で管理収集 (*MGTCOL) オブジェクトに保管されているパフォーマンス情報から、パフォーマンス・データ・ファイルのセットを作成する必要があります。パフォーマンス・データ作成 (CRTPFRTA) コマンドを使用します。データ・ファイルが作成されたら、報告書の印刷を要求できます。

収集サービスを用いて収集したサンプル・データの報告書を印刷するには、以下のコマンドを使用します。

- システム報告書印刷 (PRTSYSRPT)
- 構成要素報告書印刷 (PRTCPTRPT)
- ジョブ間隔報告書印刷 (PRTJOBTRPT)
- プール報告書印刷 (PRTPOLRPT)
- リソース報告書印刷 (PRTRSCRPT)

パフォーマンス追跡開始 (STRPFRTRC) コマンドおよび内部追跡 (TRCINT) コマンドを用いて収集したサンプル・データの報告書を印刷するには、以下のコマンドを使用します。

- トランザクション報告書印刷 (PRTTNSRPT)
- ロック報告書印刷 (PRTLCKRPT)
- ジョブ追跡報告書印刷 (PRTTRCRPT)

注: トランザクション報告書を印刷するには、パフォーマンス追跡終了 (ENDPFRTRC) コマンドを使用して、パフォーマンス追跡データの収集を停止し、オプションでパフォーマンス追跡データをデータベース・ファイルに書き込む必要があります。

例: システム報告書

システム報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 『システム報告書 - 作業負荷』
- 5 ページの『システム報告書 - リソース使用率』
- 6 ページの『システム報告書 - リソース使用率拡張』
- 7 ページの『システム報告書 - 記憶域プール使用率』
- 7 ページの『システム報告書 - ディスク使用率』
- 8 ページの『システム報告書 - 通信要約』
- 9 ページの『システム報告書 - TCP/IP 要約』
- 10 ページの『システム報告書 - HTTP サーバー要約』

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

システム報告書 - 作業負荷

▶ システム報告書の作業負荷セクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。
- サーバー・ジョブ・タイプ、たとえば HTTP、COLLECTION、MANAGED、DIRSRV、またはその他の「大文字」のジョブ・タイプは、非対話作業負荷サブセクションで報告されます。
- 非対話式作業負荷セクションにある Job Type 欄は、新しいジョブのタイプ、*iSeries Access-Bch* を表示します。
- *Time exceeding Int CPU Threshold (in seconds)* を表示する、新しい行が追加されました。
- *Shared processor pool utilization* を表示する新しい行が追加されました。この行は、共用プロセッサ・プールを使用して区画で収集されるパフォーマンス・データを印刷するだけです。

例

システム報告書の作業負荷セクションの「パート 1」は、システムの対話式作業負荷を示しています。作業負荷セクションの「パート 2」は、システムの非対話式作業負荷を示します。以下に両方のセクションを示します。

```
System Report                               10/02/03 16:35:52
Workload                                     Page 0001
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . . : 56.4 GB Started . . . . : 10/02/03 12:00:00
Library . . . . : PTLIBV5R3 System name . . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID . . : 003 Feature Code . . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
QPFRADJ . . . . : 2 QDYNPTYSCD . . . : 1 QDYNPTYADJ . . . : 1
Interactive Workload
Job Number Average Logical DB ----- Printer ----- Communications MRT
Type Transactions Response I/O Count Lines Pages I/O Count Max Time
```

PassThru	3,593	3.17	160,003	40,783	743	0
Total	3,593		160,003	40,783	743	0
Average		3.17				

Job Type	Number Of Jobs	Logical DB I/O Count	Printer Lines	Printer Pages	Communications I/O Count	CPU Per Logical I/O	Logical I/O /Second
Batch	1,863	6,354,471	125,581	2,394	0	.0004	442.4
iSeries Access	99	593	4,896	136	0	.1395	.0
HTTP	21	1,522	82	4	0	.1373	.1
COLLECTION	1	1,366	0	0	0	.0078	.0
MANAGED	1	0	0	0	0	.0000	.0
DIRSRV	3	0	0	0	0	.0000	.0
SYSTEM	1	0	0	0	0	.0000	.0
OS400	4	0	0	0	0	.0000	.0
SNMP	3	0	0	0	0	.0000	.0
SQL	82	4,734,415	4,867	131	0	.0101	329.6
TOC	1	0	0	0	0	.0000	.0
FTP	24	1,302	0	0	0	.0127	.0
QOS	2	0	0	0	0	.0000	.0
SMTP	2	0	0	0	0	.0000	.0
TELNET	16	0	0	0	0	.0000	.0
REMOTE	1	0	0	0	0	.0000	.0
MGMTCENTRAL	1	11	0	0	0	7.2768	.0
NETSERVER	1	0	0	0	0	.0000	.0
WSA	2	399	0	0	0	9.3617	.0
Total	2,128	11,094,079	135,426	2,665	0		
Average						.0009	772.4

Average CPU Utilization	98.6
CPU 1 Utilization	97.2
CPU 2 Utilization	96.9
CPU 3 Utilization	95.6
CPU 4 Utilization	97.0
Total CPU Utilization (Interactive Feature)0
Time exceeding Int CPU Threshold (in seconds) . .	0
Total CPU Utilization (Database Capability)0
Shared processor pool utilization0



システム報告書 - リソース使用率

システム報告書のリソース使用率セクションは、対話式トランザクション当たりの平均リソース使用率を示します。これを使用して、ある測定期間から他の測定期間の間のリソース使用率の変化を調べ、リソース使用率の傾向を判別してください。

システム報告書のリソース使用率セクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。
- リソース使用率セクションの 2 番目の部分にある Job Type 欄は、新しいジョブのタイプ、iSeries Access-Bch を表示します。
- サーバー・ジョブ・タイプ、たとえば HTTP、COLLECTION、MANAGED、DIRSRV、またはその他の「大文字」のジョブ・タイプは、リソース使用率セクションの 2 番目の部分で報告されます。

以下は、リソース使用率セクションの 2 つの部分を示す例です。

System Report							10/02/03 16:35:52
Resource Utilization							Page 0002
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min							
Member	Q275140000	Model/Serial	890/10-3907F	Main storage	56.4 GB	Started	10/02/03 12:00:00
Library	PTLIBV5R3	System name	ABSYSTEM	Version/Release	5/ 3.0	Stopped	10/02/03 16:00:00
Partition ID	003	Feature Code	7427-2498-7427	Int Threshold00 %		
Virtual Processors:	4	Processor Units	4.0				

Average Per Transaction						
Job Type	Response Seconds	CPU Seconds	Sync Disk I/O	Async Disk I/O	DB I/O	Faults
PassThru	3.17	.06	33.6	17.2	44.5	46,260

Job Type	CPU Util	Tns /Hour Rate	Active Jobs Per Interval	Total I/O	Disk I/O Per Second							
					Synchronous				Asynchronous			
					DBR	DBW	NDBR	NDBW	DBR	DBW	NDBR	NDBW
Average	3.17	.06	33.6	17.2	44.5	46,260						
PassThru	.4	900	1	12.7	.5	1.0	3.7	3.1	.3	1.6	.1	2.2
Batch	5.0	0	7	43.9	.6	5.7	2.1	1.9	1.6	30.1	.3	1.3
iSeries Access-Bch	.1	0	0	.6	.0	.0	.1	.2	.0	.0	.0	.1
HTTP	.3	0	0	1.4	.0	.0	.9	.3	.0	.0	.0	.0
COLLECTION	.0	0	0	.6	.1	.1	.0	.0	.1	.1	.0	.0
MANAGED	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
DIRSRV	.6	0	0	2.4	.0	.0	.0	1.4	.0	.3	.0	.4
SYSTEM	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
OS400	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
SNMP	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
SQL	83.9	0	0	182.4	1.7	4.8	1.3	3.4	1.1	8.8	.0	161.1
TOC	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
FTP	.0	0	0	1.3	.1	.0	.3	.1	.0	.0	.3	.1
QOS	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
SMTP	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
TELNET	.0	0	0	.1	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
REMOTE	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
MGMTCENTRAL	.1	0	0	.2	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0
NETSERVER	.0	0	0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
WSA	6.5	0	0	11.4	.0	.0	1.3	2.6	.0	5.3	.0	1.9
Average	97.2	900	9	257.6	3.3	12.0	10.5	13.5	3.2	46.5	.8	167.4

システム報告書 - リソース使用率拡張

システム報告書のリソース使用率拡張セクションは、ジョブ・タイプ別にトランザクションごとの平均のリソース使用状況を示します。

システム報告書のリソース使用率拡張セクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。
- リソース使用率拡張セクションの 2 番目の部分にある Job Type 欄は、新しいジョブのタイプ、iSeries Access-Bch を表示します。
- サーバー・ジョブ・タイプ、たとえば HTTP、COLLECTION、MANAGED、DIRSRV、またはその他の「大文字」のジョブ・タイプは、非対話式リソース使用率拡張サブセクションで報告されます。

以下は、リソース使用率拡張セクションの 2 つの部分を示す例です。

System Report														10/02/03 16:35:52	
Resource Utilization Expansion														Page 0004	
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min															
Member	Q275140000	Model/Serial	890/10-3907F	Main storage	56.4 GB	Started	10/02/03 12:00:00							Stopped	10/02/03 16:00:00
Library	PTLIBV5R3	System name	ABSYSTEM	Version/Release	5/ 3.0										
Partition ID	003	Feature Code	7427-2498-7427	Int Threshold00 %										
Virtual Processors:	4	Processor Units:	4.0												
Interactive Resource Utilization Expansion															
Average Per Transaction															
Job Type	Physical Disk I/O				Asynchronous				Logical Data Base I/O			Communications I/O			
	DBR	DBW	NDBR	NDBW	DBR	DBW	NDBR	NDBW	Read	Write	Other	Get	Put		
PassThru	2.11	4.09	14.94	12.54	1.44	6.49	.52	8.81	28.63	15.51	.38	.0	.0		
Average	2.11	4.09	14.94	12.54	1.44	6.49	.52	8.81	28.63	15.51	.38	.0	.0		
Non-Interactive Resource Utilization Expansion															
Average Per Second															
Job Type	Physical Disk I/O				Asynchronous				Logical Data Base I/O			Communications I/O			
	DBR	DBW	NDBR	NDBW	DBR	DBW	NDBR	NDBW	Read	Write	Other	Get	Put		
Batch	.6	5.7	2.1	1.9	1.6	30.1	.3	1.3	331.9	3.7	106.6	.0	.0		
iSeries Access	.0	.0	.1	.2	.0	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0		
HTTP	.0	.0	.9	.3	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0		
COLLECTION	.1	.1	.0	.0	.1	.1	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0		
MANAGED	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0		
DIRSRV	.0	.0	.0	1.4	.0	.3	.0	.4	.0	.0	.0	.0	.0		
SYSTEM	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0		
OS400	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0		

SNMP	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
SQL	1.7	4.8	1.3	3.4	1.1	8.8	.0	161.1	144.5	2.6	182.4	.0	.0
TOC	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
FTP	.1	.0	.3	.1	.0	.0	.3	.1	.0	.0	.0	.0	.0
QOS	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
SMTMP	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
TELNET	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
REMOTE	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
MGMTCENTRAL	.0	.0	.1	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
NETSERVER	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
WSA	.0	.0	1.3	2.6	.0	5.3	.0	1.9	.0	.0	.0	.0	.0
Average	.7	5.7	2.3	2.1	1.6	30.2	.3	1.4	332.0	3.7	106.6	.0	.0

Priority	Job Type	CPU Util	Cum Util	Faults	Sync	Disk I/O Async	CPU Per Sync	I/O Async	DIO /Sec Sync	Async
----------	----------	----------	----------	--------	------	----------------	--------------	-----------	---------------	-------



システム報告書 - 記憶域プール使用率

システム報告書の記憶域プール使用率セクションは、記憶域プールのサイズおよび活動レベルを設定する場合に役立ちます。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

```

System Report
Storage Pool Utilization
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . . : 10/02/03 12:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 3.0 Stopped . . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0

----- Avg Per Second -----
Pool Expert Size Act CPU Number Average DB Non-DB Act- Wait- Act-
ID Cache (KB) Lvl Util Tns Response Fault Pages Fault Pages Wait Inel Inel
-----
*01 0 7,025,424 0 1.1 0 .00 .0 .0 2.4 3.3 24 0 0
*02 3 7,173,272 1,628 95.0 0 .00 1.9 17.2 5.9 31.6 35,513 0 0
*03 3 44,267,256 2,639 .7 0 3.17 1.1 11.8 2.0 4.8 34 0 0
04 0 17,760 7 .0 0 .00 .0 .0 .0 .0 0 0 0
Total 58,483,712 96.9 3,593 3.1 29.1 10.4 39.9 35,572 0 0
Average 3.17
* The pool did not exist for all of run, or the size or activity level
changed during run.

Pool ID -- Pool identifier
Expert Cache -- Method used by the system to tune the storage pool
Size (KB) -- Size of the pool in kilobytes at the time of the first sample interval
Act Lvl -- Activity level at the time of the first sample interval
CPU Util -- Percentage of available CPU time used. This is the average of all processors
Number Tns -- Number of transactions processed by jobs in this pool
Average Response -- Average transaction response time
DB Fault -- Average number of data base faults per second
DB Pages -- Average number of data base pages per second
Non-DB Fault -- Average number of non-data base faults per second
Non-DB Pages -- Average number of non-data base pages per second
Act-Wait -- Average number of active to wait job state transitions per minute
Wait-Inel -- Average number of wait to ineligible job state transitions per minute
Act-Inel -- Average number of active to ineligible job state transitions per minute

```



システム報告書 - ディスク使用率

システム報告書のディスク使用率セクションは、各ディスクの使用率を示します。システム報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF

ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。

- **Unit** 欄の隣に正符号 (+) が表示されている場合、マルチパス・ディスク装置を示します。マルチパス・ディスク装置は、システムからディスク装置までに複数の冗長パスがある装置です。
- **ASP Rsc Name** の欄は、オペレーティング・システムのバージョン 5 リリース 2 (V5R2) で、収集時にディスク装置が割り振られた先の **ASP** 資源名を識別するために追加されました。

報告書の例を以下に示します。

```

System Report
Disk Utilization
10/02/03 12:02:50
Page 0006
Member . . . : Q119115948 Model/Serial . . : 840/10-3A6HM Main storage . . : 1024.0 GB Started . . . . : 04/29/03 11:59:48
Library . . : MPLIB System name . . : A103A6HM Version/Release : 5/ 3.0 Stopped . . . . : 04/30/03 00:00:00
Partition ID : 001 Feature Code . . : 23FE-2420-1546 Int Threshold . . : 10.00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
Unit Unit Name Type Size IOP IOP Dsk CPU ASP Rsc ASP --Percent-- Op Per K Per - Average Time Per I/O --
Unit Name Type (M) Util Name Util Name ID Full Util Second I/O Service Wait Response
-----
0001 DD002 6717 8,589 .0 CMB01 .8 1 39.8 .1 .96 5.3 .0010 .0010 .0020
0002 DD003 6713 8,589 .0 CMB01 .8 1 36.4 .0 .78 7.8 .0000 .0012 .0012
0003 DD001 6717 8,589 .0 CMB01 .8 1 36.4 .1 1.11 7.4 .0008 .0000 .0008
+ 0004 DMP045 2105 8,589 .0 CMB05 4.4 5 .0 .0 .00 .0 .0000 .0000 .0000
+ 0005 DMP039 2105 8,589 .0 CMB05 11.5 5 .0 .0 .00 16.0 .0000 .0000 .0000
Total
42,945
Average
12.5 .0 .31 6.8 .0000 .0000 .0000
+ Multipath disk unit
* Disk compression is active for the disk unit.
Unit -- Disk arm identifier
Unit Name -- Disk arm resource name
Type -- Type of disk
Size (M) -- Disk space capacity in millions of bytes
IOP Util -- Percentage of utilization for each Input/Output Processor
IOP Name -- Input/Output Processor resource name
Dsk CPU Util -- Percentage of Disk Processor Utilization
ASP Rsc Name -- ASP resource name to which the disk unit was allocated at collection time
ASP ID -- Auxiliary Storage Pool ID
Percent Full -- Percentage of disk space capacity in use
Percent Util -- Average disk operation utilization (busy)
Op per Second -- Average number of disk operations per second
K Per I/O -- Average number of kilobytes (1024) transferred per disk operation
Average Service Time -- Average disk service time per I/O operation
Average Wait Time -- Average disk wait time per I/O operation
Average Response Time -- Average disk response time per I/O operation

```



システム報告書 - 通信要約

システム報告書の通信要約セクションは、通信回線および処理装置の使用状況を示します。システム報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- **Interactive Threshold (GKEY IT)**、**Virtual Processors (GKEY 13)** および **Processor Units (GKEY PU)** メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に **QAPMCONF** ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。
- **Received** および **Transmitted** の欄は、統計をバイト単位ではなくキロバイト (KB) 単位で示します。

報告書の例を以下に示します。

注: 示されているシステム報告書の例の回線使用率は、SDLC 遠隔ワークステーションを稼働している IOP の「構成要素報告書 - IOP 使用率」と対応していません。SDLC 回線の使用率が低くても、IOP 使用率は、ポーリングにより高い値になります。ただし、SDLC 回線が送信するユーザー・データの比率が大きい場合、IOP のポーリングの頻度は小さくなります。通常、これにより IOP 使用率が全体的に大きくなります。しかし、場合によっては、特に SDLC 回線の使用率が低い場合は、IOP 使用率が全体に低くなります。したがって、IOP 使用率の高い値が意味を持つのは、少なくとも 1 つの接続 SDLC 回線が活動状態の場合だけです。

```

System Report
Communications Summary
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
10/02/03 16:35:52
Page 0009
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . . : 10/02/03 12:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
IOP Name/
Line Protocol Line Speed Avg Util Max Util Active Devices Number Transactions Average Response
----- KB Per Second -----
Received Transmitted
CMB02 ( )
VGIBETH0 ELAN/F 1000000.0 0 0 0 0 .00 .0 .4
CMB07 (2843)
AVALANCHE ELAN/F 10000.0 0 0 0 0 .00 .0 .0
DPNX25B X25 64.0 0 0 0 0 .00 .0 .0
DPNX25C X25 64.0 0 0 0 0 .00 .0 .0
NTRN64BA TRLAN/H 16000.0 0 0 0 0 .00 .2 .0
CMB10 (2843)
DPNX25 X25 64.0 0 0 0 0 .00 .0 .0
DPNX25A X25 64.0 0 0 0 0 .00 .0 .0
TRNLIN64B2 TRLAN/H 16000.0 0 0 0 0 .00 .2 .0
CMB11 (2843)
ETHLIN64B2 ELAN/F 10000.0 0 0 0 0 .00 .6 .0
FAXLINT11 ASYNC 115.2 0 0 0 0 .00 .0 .0
FAXLINT12 ASYNC 115.2 0 0 0 0 .00 .0 .0
FAXLINT13 ASYNC 115.2 0 0 0 0 .00 .0 .0
FAXLINT14 ASYNC 115.2 0 0 0 0 .00 .0 .0
NETH64BA ELAN/F 100000.0 0 2 0 0 .00 18.9 116.0
IOP Name/Line -- IOP Resource name and model number, Line ID
Protocol -- Line protocol (SDLC, ASYNC, BSC, X25, TRLAN, ELAN, IDLC, DDI, FRLY, PPP)
If /H the protocol is half duplex, if /F it is full duplex
Line Speed -- Line speed (1000 bits per second)
(For IDLC this is the maximum over the measurement)
Avg Util -- Average line utilization
Max Util -- Maximum line utilization in all measurement intervals
Active Devices -- Average number of active devices on the line
Number Transactions -- Number of transactions
Average Response -- Average system response (service) time (seconds)
KB /Sec Received -- Average number of kilobytes (1024 bytes) received per second
KB /Sec Transmitted -- Average number of kilobytes (1024 bytes) transmitted per second

```



システム報告書 - TCP/IP 要約

システム報告書の TCP/IP 要約セクションには、TCP/IP インターフェース・レベルでの要約データが含まれています (回線タイプおよび回線記述名)。要約には、送受信されるパケットなどの情報が含まれています。この情報は、伝送エラーの理由を調べる場合に便利です。ユニキャストおよび非ユニキャスト欄の値は、問題が存在する個所を示しています。問題は、特定のユーザーに送信された伝送 (ユニキャスト) に関する場合や、多くのユーザーに送信された伝送 (ブロードキャストまたはマルチキャスト、つまり非ユニキャスト伝送のインスタンス) に関する場合があります。

このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書に表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

```

System Report
TCP/IP Summary
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
100203 16:35:52
Page 0010
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . . : 10/02/03 12:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
Line Type/
Line Name MTU Size Received KB Packets Received Number Pct Transmitted KB Packets Sent Pct
/Second Unicast Non-Unicast Error Error /Second Unicast Non-Unicast Error
-----
576
*LOOPBACK 0 9,469 0 0 .00 0 9,469 0 .00
576
*VIRTUALIP 0 0 0 0 .00 0 0 0 .00
X.25 1,024
DPNX25 0 0 0 0 .00 0 0 0 .00

```

```

ETHERNET      1,492
AVALANCHE          0          0          142          0 .00          0          0          76 .00
ETHERNET      1,492
NETH64BA          161      5,060,350          24,155          0 .00          249      5,564,439          481 .00
ETHERNET      1,492
VGIBETHO          0          0          0          0 .00          0          4,315          76 .27
Line Type/Line Name -- The type and name of the line description used by the interface.
MTU Size (bytes)    -- Maximum Transmission Unit (MTU) size in bytes for interface
KB Received/Second -- Number of kilobytes (1024 bytes) received on interface per second
Unicast Packets Rcvd -- Number of unicast packets received
Non-Unicast Packet Rcvd -- Number of non-unicast packets received
Num Packets Received Er -- Number of packets received that contained errors
Pct Packets Received Er -- Percentage of inbound packets that contained errors
KB Transmitted/Second -- Number of kilobytes (1024 bytes) transmitted out of interface per second
Unicast Packets Sent -- Number of unicast packets sent
Non-unicast Packet Sent -- Number of non-unicast packets sent
Pct Packets Sent Error -- Percentage of outbound packets that could not be sent because of errors

```



システム報告書 - HTTP サーバー要約

変更の開始システム報告書の HTTP サーバー要約セクションには、IBM^(R) HTTP Server (powered by Apache) のサーバー・インスタンス・レベルでの要約データが含まれます。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書に表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

```

                                System Report                                100203 16:35:52
                                HTTP Server Summary                          Page 0011
                                Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F      Main storage . . : 56.4 GB Started . . . . : 10/02/03 12:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM          Version/Release . : 5/ 3.0 Stopped . . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427          Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
Server name      Server job user      Server job number      Server start date/time  Threads Active  Idle  Inbound Connections Non-SSL  SSL  Requests received  Responses sent
-----
ADMIN            QTMHHTTP          955725                 10/02/03 08:58         2              5      133                0        0        132                129
KELLYMRA1       QTMHHTTP          952457                 10/01/03 17:28         0              40      0                  0        0         0                  0
LAPCGI          QTMHHTTP          952458                 10/01/03 17:28         0              40      0                  0        0         0                  0
TRADE3          QTMHHTTP          955713                 10/02/03 08:56         44             36     112945             0        0     112945             112963
Server name      -- The server job name. Identify the child job for the server.
Server job user  -- The server job user. Identify the child job for the server.
Server job number -- The server job number. Identify the child job for the server.
Server start date/time -- The most recent start or restart time in format mm/dd/yy hh:mm:ss
Threads active  -- The number of threads doing work when the data was sampled.
Threads idle    -- The number of idle threads when the data was sampled.
Non-SSL Inbound Connect -- The number of non-SSL inbound connections accepted by the server.
SSL Inbound Connections -- The number of SSL inbound connections accepted by the server.
Requests received -- The number of requests of all types received by the server.
Responses sent  -- The number of responses of all types sent by the server.

```



例: 構成要素報告書

構成要素報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 11 ページの『構成要素報告書 - 構成要素間隔活動』
- 12 ページの『構成要素報告書 - ジョブ作業負荷活動』
- 13 ページの『構成要素報告書 - 記憶域プール活動』
- 14 ページの『構成要素報告書 - ディスク活動』
- 15 ページの『構成要素報告書 - 入出力処理装置 (IOP) 使用率』
- 16 ページの『構成要素報告書 - ローカル・ワークステーション』

- 16 ページの『構成要素報告書 - 遠隔ワークステーション』
- 17 ページの『構成要素報告書 - 例外発生の要約と間隔カウント』
- 18 ページの『構成要素報告書 - データベース・ジャーナル処理要約』
- 19 ページの『構成要素報告書 - TCP/IP 活動』
- 20 ページの『構成要素報告書 - HTTP サーバー活動』
- 21 ページの『構成要素報告書 - 選択基準』

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。



構成要素報告書 - 構成要素間隔活動

構成要素報告書の構成要素間隔活動セクションは、処理装置、ディスク、およびプールの各時間間隔での使用を示します。構成要素報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。
- 新規の列 *Uncap CPU Avail* が追加されました。この列は、上限なし区画で収集されるパフォーマンス・データにのみ表示されます。
- *High Disk Utilization* および *High Utilization Unit* 列には、要求された間隔に対してパフォーマンス・データが使用可能でない場合に、ダッシュ記号 (-) が表示されます。

報告書のサンプル

```

Component Report
Component Interval Activity
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0

```

Itv	Tns	Rsp	DDM	-CPU Utilization-	Uncap Int	Int	DB	----- Disk I/O -----	High	Pool	Excp
End	/Hour	/Tns	I/O	Total Inter Batch	Avail Util	CPU	Cpb	Per Second	Util	Mch User ID	per Second
14:00	300	.00	0	98.0 .0 97.9	.0 .0	0	.0	27.8 74.6	2 0009	0 3 02	7.4
14:01	0	.00	0	99.8 .0 99.8	.0 .0	0	.0	34.8 173.9	-- ----	0 5 02	11.2
14:02	0	.00	0	99.7 .0 99.7	.0 .0	0	.0	34.2 217.9	-- ----	0 5 02	15.9
14:03	1740	77.27	0	96.1 .4 95.6	.0 .0	0	.0	38.0 183.6	-- ----	0 5 02	16.5
14:04	549	.33	0	97.5 2.6 94.8	.0 .0	0	.0	79.8 95.8	-- ----	7 30 03	11.8
14:05	60	.00	0	99.9 2.2 97.6	.0 .0	0	.0	60.4 53.6	3 0030	1 30 03	14.6
14:06	0	.00	0	99.9 1.6 98.2	.0 .0	0	.0	42.6 77.5	-- ----	1 8 03	23.4
14:07	0	.00	0	97.8 2.3 95.4	.0 .0	0	.0	66.5 121.3	-- ----	1 11 02	38.4
14:08	0	.00	0	99.6 1.9 97.6	.0 .0	0	.0	31.6 96.8	-- ----	0 4 03	24.8
14:09	0	.00	0	99.5 2.5 97.0	.0 .0	0	.0	156.3 300.4	-- ----	9 67 02	64.4
14:10	0	.00	0	99.9 2.1 97.8	.0 .0	0	.0	66.0 378.5	4 0006	6 16 02	67.2
14:11	0	.00	0	99.2 2.3 96.9	.0 .0	0	.0	60.2 513.5	-- ----	1 6 03	81.1
14:12	0	.00	0	99.9 2.1 97.7	.0 .0	0	.0	41.6 335.7	-- ----	1 5 03	55.4
14:13	0	.00	0	99.8 2.4 97.4	.0 .0	0	.0	63.0 539.0	-- ----	2 6 03	73.8
14:14	600	.00	0	99.2 1.0 98.2	.0 .0	0	.0	42.3 378.7	-- ----	1 4 03	81.2
14:15	0	.00	0	97.8 .0 97.8	.0 .0	0	.0	41.2 263.8	22 0033	0 4 02	105.1
14:16	0	.00	0	99.9 6.4 93.5	.0 .0	0	.0	48.2 484.0	-- ----	1 15 03	178.5
14:17	0	.00	0	99.7 11.5 88.1	.0 .0	0	.0	35.7 535.7	-- ----	0 6 03	192.2
14:18	60	99.90	0	96.6 .0 96.5	.0 .0	0	.0	44.7 422.4	-- ----	0 5 02	41.0
14:19	0	.00	0	96.9 .0 96.9	.0 .0	0	.0	9.5 60.9	-- ----	0 1 02	6.3
14:20	0	.00	0	99.1 .0 99.1	.0 .0	0	.0	6.8 16.6	3 0033	0 1 02	6.0
14:21	120	.50	0	88.7 .0 88.6	.0 .0	0	.0	29.0 29.8	-- ----	2 5 02	6.2
14:22	0	.00	0	97.8 .0 97.8	.0 .0	0	.0	77.5 429.6	-- ----	4 19 02	24.0
14:23	0	.00	0	99.0 .0 99.0	.0 .0	0	.0	29.0 347.5	-- ----	0 3 02	28.2
14:24	0	.00	0	93.1 .0 93.1	.0 .0	0	.0	25.8 161.3	-- ----	0 3 02	24.4

```

Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Tns /Hour -- Number of interactive transactions per hour
Rsp /Tns -- Average interactive transaction response time in seconds
DDM I/O -- Number of logical DB I/O operations for DDM server jobs
Total CPU Utilization -- Percentage of available CPU time used by interactive and batch jobs. This is the average
of all processors
Inter CPU Utilization -- Percentage of available CPU time used by interactive jobs. This is the average of all processors
Batch CPU Utilization -- Percentage of available CPU time used by batch jobs. This is the average of all processors
Uncap CPU Avail -- Percentage of CPU time available to this partition in the shared processors pool during the interval
in addition to its configured CPU. This value is relative to the configured CPU available for this
partition.
Int Feat Util -- Percentage of interactive feature used by all jobs
Int CPU >Thld -- Interactive CPU time (in seconds) over threshold
DB Cpb Util -- Percentage of database capability used to perform database processing
Sync Disk I/O Per Sec -- Average synchronous disk I/O operations per second
Async Disk I/O Per Sec -- Average asynchronous disk I/O operations per second
High Disk Utilization -- Percent of utilization of the most utilized disk arm during this interval
High Utilization Unit -- Disk arm which had the most utilization during this interval
Mch Pool Faults/Sec -- Average number of machine pool faults per second
User Pool Faults/Sec -- Average number of user pool page faults per second,
for the user pool with highest fault rate during this interval
Pool ID -- User pool that had the highest page fault rate
Excp per second -- Number of program exceptions that occurred per second

```



構成要素報告書 - ジョブ作業負荷活動

構成要素報告書のジョブ作業負荷活動セクションは、各ジョブごとのトランザクション合計数、時間当たりトランザクション数、平均応答時間、ディスク操作の回数、通信操作の回数、PAG 不在の回数、算術オーバーフローの回数、および永続書き込みの回数を示します。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

Component Report													10/02/03 17:12:15				
Job Workload Activity													Page 6				
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min																	
Member	Q275140000	Model/Serial . .	890/10-3907F	Main storage . . .	56.4 GB	Started	10/02/03 14:00:00										
Library	PTLIBV5R3	System name . . .	ABSYSTEM	Version/Release . .	5/ 3.0	Stopped	10/02/03 16:00:00										
Partition ID . .	003	Feature Code . . .	:7427-2498-7427	Int Threshold00 %												
Virtual Processors:	4	Processor Units :	4.0														
Job Name	User Name/Thread	Job Number	T p l y	P t y	DB CPU Util	Cpb Util	Tns	Tns /Hour	Rsp	----- Disk I/O -----	----- Cmn I/O -----	PAG Fault	Arith Ovrflw	Perm Write			
ADMIN	QTMHHTTP	955725	B 02 25	.02	.0	0	0	.000	14771	615	0	0	0	2787			
ADMIN	QTMHHTTP	955727	B 02 25	.00	.0	0	0	.000	24	0	0	0	0	2			
ADMIN	QTMHHTTP	955728	B 02 25	.00	.0	0	0	.000	0	0	165	0	0	0			
ADMIN	QTMHHTTP	956347	B 02 25	.14	.0	0	0	.000	959	343	1349	0	0	736			
AMQALMPX	QMOM	955751	B 02 35	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
AMQPCSEA	QMOM	955757	B 02 35	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
AMQRMPPA	QMOM	955773	B 02 35	.01	.0	0	0	.000	14	0	2	0	0	0			
AMQRMFA	QMOM	955752	B 02 35	.00	.0	0	0	.000	1	0	0	0	0	0			
AMQZDMAA	QMOM	955753	B 02 35	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
AMQZLAA0	QMOM	955755	B 02 20	.02	.0	0	0	.000	7	0	0	0	0	0			
AMQZLAA0	QMOM	955774	B 02 20	.00	.0	0	0	.000	2	0	0	0	0	0			
AMQZXMA0	QMOM	955749	B 02 20	.00	.0	0	0	.000	1	0	0	0	0	0			
CFINT01		L 01 00	.26	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CFINT02		L 01 00	.06	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CFINT03		L 01 00	.08	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CFINT04		L 01 00	.08	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CFINT05		L 01 00	.00	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CFINT06		L 01 00	.00	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
COLDQT		L 01 82	.00	.0	0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CPUTEST	WLCPU	953645	B 02 51	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CPUTEST	WLCPU	953647	B 02 51	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CPUTEST	WLCPU	953648	B 02 51	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CPUTEST	WLCPU	953649	B 02 51	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
CPUTEST	WLCPU	953650	B 02 51	.00	.0	0	0	.000	0	0	0	0	0	0			
Job Name	-- Job name																
User Name/Thread	-- User name or secondary thread identifier																
Job Number	-- Job number																
Typ	-- Job type																
P1	-- Pool that the job ran in																
Pty	-- Priority of the job																

```

CPU Util          -- Percentage of available CPU time used by the job.  This is the average of all processors
DB Cpb Util      -- Percentage of database capability used by the job to perform database processing
Tns              -- Total number of transactions for the job
Tns /Hour        -- Transactions per hour
Rsp              -- Average interactive transaction response time in seconds
Sync Disk I/O    -- Number of synchronous disk operations (reads and writes)
Async Disk I/O   -- Number of asynchronous disk operations (reads and writes)
Logical Disk I/O -- Number of logical disk operations (Get, Put, Upd, Other)
Cmn I/O          -- Number of communications operations (Get, Put)
PAG Fault        -- Number of faults involving the Process Access Group
Arith Ovrflw     -- Number of arithmetic overflow exceptions
Perm Write       -- Number of permanent writes
.
.
.

```

Column	Total	Average
CPU Util		98.740 *
DB Cpb Util		82.3
Tns	2,099	
Tns /Hour	1,043	
Rsp		1.610
Sync Disk I/O	304,001	
Async Disk I/O	1,906,898	
Logical Disk I/O	6,257,174	
Cmn I/O	0	
PAG Fault	0	
Arith Ovrflw	3	
Perm Write	1,980,564	

* ---- Average based on the total elapsed time for the selected intervals



構成要素報告書 - 記憶域プール活動

構成要素報告書の記憶域プール活動セクションは、各記憶域プールの明細を示します。これには、各プールで処理されたトランザクション数に加えて、記憶域プールの活動レベルも含まれます。

記憶域プール活動セクションの上部の Pool Identifier (プール識別コード) の欄は、記憶域プールの識別コード (値は 01 から 16 まで) を示します。測定期間で使用され、PRTCPTTRPT コマンドで選択された各プールごとに、別個の記憶域プール活動セクションがあります。構成要素報告書の記憶域プール活動セクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。
- CPU Util 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。

報告書の例を以下に示します。

Component Report											10/02/03 17:12:15		
Storage Pool Activity											Page 327		
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min													
Member	Q275140000	Model/Serial . . .	890/10-3907F	Main storage . . .	56.4 GB	Started	10/02/03 14:00:00						
Library	PTLIBV5R3	System name . . .	:ABSYSTEM	Version/Release . .	5/ 3.0	Stopped	10/02/03 16:00:00						
Partition ID . .	: 003	Feature Code . . .	:7427-2498-7427	Int Threshold . . .	: .00 %								
Virtual Processors:	4	Processor Units :	4.0										
Pool identifier	: 01	Expert Cache	: 0										
Itv	Pool Size (KB)	Act Level	Total Tns	Avg Rsp Time	CPU Util	DB Faults	Avg Per Second Pages	Non-DB Faults	Pages	Act-Wait	Avg Per Minute Wait-Inel	Act-Inel	
14:00	3,302,740	0	0	.00	.6	.0	0	.5	1	21	0	0	
14:01	3,236,684	0	0	.00	.8	.0	0	.6	1	30	0	0	
14:02	3,171,948	0	0	.00	1.0	.0	0	.2	2	14	0	0	
14:03	3,330,544	0	0	.00	1.2	.0	0	.5	1	41	0	0	
14:04	3,263,932	0	0	.00	.9	.0	0	7.3	7	14	0	0	
14:05	3,198,652	0	0	.00	.6	.0	0	1.6	2	16	0	0	
14:06	3,198,652	0	0	.00	.6	.0	0	1.7	2	30	0	0	
14:07	3,134,676	0	0	.00	1.1	.0	0	1.8	2	35	0	0	
14:08	3,134,676	0	0	.00	.8	.0	0	.7	1	18	0	0	
14:09	3,291,408	0	0	.00	1.3	.0	0	9.0	15	259	0	0	
14:10	3,225,580	0	0	.00	1.1	.0	0	6.6	7	110	0	0	
14:11	3,161,068	0	0	.00	1.4	.0	0	1.5	2	27	0	0	

```

14:12 3,319,120 0 0 .00 1.1 .0 0 1.0 2 24 0 0
14:13 3,252,736 0 0 .00 1.4 .0 0 2.4 3 32 0 0
14:14 3,187,680 0 0 .00 1.4 .0 0 1.6 2 16 0 0
14:15 3,123,924 0 0 .00 1.4 .0 0 .6 1 30 0 0
14:16 3,280,120 0 0 .00 1.1 .0 0 1.8 2 14 0 0
14:17 3,214,516 0 0 .00 1.5 .0 0 .6 1 12 0 0
14:18 3,150,224 0 0 .00 1.6 .0 0 .3 0 24 0 0
14:19 3,307,732 0 0 .00 .9 .0 0 .4 0 19 0 0
14:20 3,241,576 0 0 .00 .6 .0 0 .2 0 13 0 0
14:21 3,176,744 0 0 .00 .8 .0 0 2.0 2 17 0 0
14:22 3,335,580 0 0 .00 1.3 .0 0 4.1 5 31 0 0
14:23 3,268,868 0 0 .00 1.0 .0 0 .4 0 13 0 0
14:24 3,203,488 0 0 .00 1.1 .0 0 .4 0 25 0 0
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Pool Size (KB) -- Initial pool size in kilobytes (1024)
Act Level -- Initial pool activity level
Total Tns -- Number of transactions processed in this pool
Avg Resp Time -- Average transaction response time
CPU Util -- Percentage of available CPU time used by the job. This is the average of all processors
DB Faults -- Database faults per second
DB Pages -- Database pages per second
Non-DB Faults -- Nondatabase faults per second
Non-DB Pages -- Nondatabase pages per second
Act-Wait -- Number of active-to-wait transitions per minute
Wait-Inel -- Number of wait-to-ineligible transitions per minute
Act-Inel -- Number of active-to-ineligible transitions per minute

```



構成要素報告書 - ディスク活動

▶ 構成要素報告書のディスク活動セクションは、1 時間当りの平均ディスク活動および各ディスクのディスク容量を示します。構成要素報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。
- V5R2 で新規の列 *%Write Cache Overruns* が追加されました。
- *Unit* 欄の隣に正符号 (+) が表示されている場合、マルチパス・ディスク装置を示します。マルチパス・ディスク装置は、システムからディスク装置までに複数の冗長パスがある装置です。

報告書の例を以下に示します。

```

Component Report 10/03/03 13:54:29
Disk Activity Page 1
Multipath disk data
Member . . . : Q119115948 Model/Serial . . : 840/10-3A6HM Main storage . . : 1024.0 GB Started . . . : 04/29/03 11:59:48
Library . . : MPLIB System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . : 04/30/03 00:00:00
Partition ID : 001 Feature Code . . : 23FE-2420-1546 Int Threshold . . : 10.00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
----- Average Disk Activity Per Hour ----- %Write
Unit Util Srv Time 0 1/12 1/6 1/3 2/3 >2/3 Read Read Effic Read Resp Overruns -Disk Capacity-
-----
0001 .1 .0346 516 564 8 111 0 0 23.0 25.6 86.1 .0 .0 .0 5,164 60.1
0002 .0 .0000 67 397 43 76 0 0 30.9 63.4 80.8 .0 .0 .0 5,463 63.6
0003 .1 .0189 228 388 96 93 10 6 38.9 57.1 81.2 .0 .0 .0 5,463 63.6
+ 0004 .0 .0000 0 0 0 0 0 0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 8,586 99.9
+ 0005 .0 .0000 0 0 0 0 0 0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 8,586 99.9
+ Multipath disk unit
Column Total Average
-----
Util .0
Srv Time .0000
Disk Arm Seek Distance
0 813
1/12 1,350
1/6 148
1/3 281
2/3 10
>2/3 6
Cache hit Statistics
Device Read 27.7
Controller Read 43.4
Write Efficiency 82.4
EACS Read .0

```

```


EACS Resp .0
%Write Cache Overruns .0
Disk Capacity
  MB 67,606
  Percent 87.4
Unit -- Disk arm identifier
Util -- Drive utilization
Srv Time -- Average service time per request in seconds
Disk Arm Seek Distance -- Average seek distance distributions per hour
  0 -- Number of zero seeks
  1/12 -- Number of seeks between 0 and 1/12 of the disk
  1/6 -- Number of seeks between 1/12 and 1/6 of the disk
  1/3 -- Number of seeks between 1/6 and 1/3 of the disk
  2/3 -- Number of seeks between 1/3 and 2/3 of the disk
  >2/3 -- Number of seeks greater than 2/3 of the disk
Cache hit Statistics --
Device Read -- Percent of device read hits for each arm
Controller Read -- Percent of controller cache read hits for each arm
Write Efficiency -- Percent of efficiency of write cache
EACS Read -- Extended Adaptive Cache Simulator percent read hits
EACS Resp -- Extended Adaptive Cache Simulator estimated percent response time improvement
%Write Cache Overruns -- Percent of Write Cache Overruns
Disk Capacity -- Average amount of disk space used or available
  MB -- Millions of bytes available on the disk
  Percent -- Percent of space available on the disk

```



構成要素報告書 - 入出力処理装置 (IOP) 使用率

構成要素報告書の IOP 使用率セクションは、通信、直接アクセス記憶装置 (DASD)、多機能 (DASD)、通信、およびローカル・ワークステーション) の入出力処理装置 (IOP) 使用率を示します。DASD IOP および多機能 IOP の使用率が常にしきい値以上になっていると、システム・パフォーマンスに影響が生じ、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。

しきい値のリストについては、Performance Tools for iSeries  の使用率の指針およびしきい値についての説明を参照してください。

報告書の例を以下に示します。

注: 入出力処理装置使用率の合計は、3 つの欄 (IOP Processor Util Comm、IOP Processor Util LWSC、および IOP Processor Util DASD) の合計と一致しないことがよくあります。この不一致は、システム時刻など、他の小さい構成要素の使用率によって起こります。

```

Component Report
IOP Utilizations
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
--- IOP Processor Util ---
IOP Total Comm LWSC DASD DASD Ops/Sec KBytes Transmitted Available Util 2
IOP System Storage
-----
CMB05 (2843) .4 .0 .0 .0 54 0 65,038,208 .0
CMB06 (2843) .0 .0 .0 .0 72 0 63,717,218 .0
CMB07 (2843) .5 .2 .0 .1 488 0 53,520,379 .0
CMB08 (2843) 3.2 .0 .0 1.9 1,314 0 61,607,496 .0
CMB09 (2843) .3 .0 .0 .1 249 0 61,645,950 .0
CMB10 (2843) .3 .2 .0 .0 6,885 256 55,139,610 .0
CMB11 (2843) 1.9 1.6 .0 .0 147,424 0 53,390,615 .0
IOP -- Resource name and model number for each communications, DASD,
multifunction, and local work station IOP
IOP Processor Util Total -- Total utilization for IOP
IOP Processor Util Comm -- Utilization of IOP due to communications activity
IOP Processor Util LWSC -- Utilization of IOP due to local work station activity
IOP Processor Util DASD -- Utilization of IOP due to DASD activity
DASD Ops/Sec -- Disk operations per second

```

```

KBytes Transmitted IOP -- Total Kbytes transmitted from an IOP to the system across the bus
KBytes Transmitted System -- Total Kbytes transmitted to the IOP from the system across the bus
Available Storage -- The average number of bytes of free local storage in the IOP
Util 2 -- Utilization of co-processor

```



構成要素報告書 - ローカル・ワークステーション

構成要素報告書のローカル・ワークステーション - 応答時間バケット・セクションは、各制御装置の使用率、各装置の応答時間の範囲、および各装置の平均応答時間を示します。応答時間の値は、使用した値によって変わります。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合があることに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

```

Component Report
Local Work Stations - Response Time Buckets
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
10/02/03 17:12:15
Page 346
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0
Ctl/Device Util IOP Name
-----
.0
0- .0 .0- .0 .0- .0 .0- .0 > .0 Rsp Time
-----
Total Responses 0 0 0 0 0
Ctl -- Controller identifier
Device -- Device identifier
Util -- Controller utilization
IOP Name -- Input/Output processor resource name
0- .0 -- Number of response times in this range
.0- .0 -- Number of response times in this range
.0- .0 -- Number of response times in this range
.0- .0 -- Number of response times in this range
> .0 -- Number of response times in this range
Rsp time -- Average external response time (in seconds)
for this workstation(s)

```



構成要素報告書 - 遠隔ワークステーション

構成要素報告書の遠隔ワークステーション・セクションは、示されている制御装置の各装置の応答時間の範囲、および各装置の平均応答時間を示します。応答時間の値は、使用した値によって変わります。

注: このセクションが表示されるのは、5494 遠隔制御装置がデータ収集に含まれている場合だけです。収集サービスが、遠隔ワークステーション用にデータを生成することはありません (ファイル QAPMRWS)。このセクションは、V5R1 より前のリリースの STRPFRMON コマンドによって生成され、パフォーマンス・データ変換 (CVTPFRDTA) コマンドを用いて V5R1 に変換されたパフォーマンス・データにのみ適用されます。

報告書の例を以下に示します。

```

Component Report
Remote Work Stations - Response Time Buckets
Sample Component Report
Page 18
Member . . . : TEST20 Model/Serial . . : 500-2142/10-317CD Main storage . . : 128.0 M Started . . . : 09/19/98 16:47:34
Library . . : RWSDATA System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 4/ 2.0 Stopped . . . : 09/19/98 17:12:36
Ctl/Device IOP Name
-----
ABSYSTEM CC02
0- 1.0 1.0- 2.0 2.0- 4.0 4.0- 8.0 > 8.0 Rsp Time
-----
RCH5DSP07 845 0 0 0 0 .02

```

```

Total Responses          845      0      0      0      0      .02
Ctl                    -- Controller identifier
Device                 -- Device identifier
IOP Name               -- Input/Output processor resource name
0- 1.0                 -- Number of response times in this range
1.0- 2.0               -- Number of response times in this range
2.0- 4.0               -- Number of response times in this range
4.0- 8.0               -- Number of response times in this range
> 8.0                  -- Number of response times in this range
Rsp time               -- Average external response time (in seconds)
                       for this workstation(s)

```

構成要素報告書 - 例外発生の変動と間隔カウント

▶ 構成要素報告書の例外発生の変動と間隔カウント・セクションには、発生した例外の数およびこれらの例外の頻度が示されます。これらの例外カウントは、正常なシステム操作においても高くなる場合があります。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

```

Component Report
Exception Occurrence Summary and Interval Counts
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
10/02/03 17:12:15
Page 347
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0

```

Exception Counts											
Exception Type	Description										Total
Size	Size										3
Binary Overflow	Binary overflow										0
Decimal Overflow	Decimal overflow										3
Flp Overflow	Floating point overflow										0
Decimal Data	Decimal data										0
Aut Lookup	Authority lookup										37,687
PAG Fault	Process Access Group fault										0
Seize Conflict	Seize conflict										194,854
Lock Conflict	Lock conflict										1,504
Verify	Verify										20,097
Teraspace EAO	Teraspace Effective Address Overflow										9,781

Itv End	Exceptions Per Second										
	Size	Binary Overflow	Decimal Overflow	Flp Overflow	Decimal Data	Aut Lookup	PAG Fault	Seize Conflict	Lock Conflict	Verify	Teraspace EAO
14:00	.0	.0	.0	.0	.0	3.0	.0	4.0	.1	.2	1.2
14:01	.0	.0	.0	.0	.0	7.1	.0	3.8	.0	.1	.4
14:02	.0	.0	.0	.0	.0	4.7	.0	10.8	.2	.0	2.9
14:03	.0	.0	.0	.0	.0	5.2	.0	9.8	.1	1.3	.0
14:04	.0	.0	.0	.0	.0	2.8	.0	3.9	.2	4.8	3.3
14:05	.0	.0	.0	.0	.0	8.2	.0	4.6	.2	1.5	.0
14:06	.0	.0	.0	.0	.0	18.1	.0	3.1	.1	2.0	3.3
14:07	.0	.0	.0	.0	.0	27.3	.0	9.3	.0	1.6	.2
14:08	.0	.0	.0	.0	.0	19.6	.0	4.1	.0	.9	2.8
14:09	.0	.0	.0	.0	.0	32.9	.0	16.9	2.2	12.2	.6
14:10	.0	.0	.0	.0	.0	28.3	.0	35.5	.5	2.8	2.1
14:11	.0	.0	.0	.0	.0	28.6	.0	50.7	.0	1.7	1.2
14:12	.0	.0	.0	.0	.0	25.9	.0	28.2	.1	1.2	.8
14:13	.0	.0	.0	.0	.0	29.8	.0	42.1	.1	1.8	2.4
14:14	.0	.0	.0	.0	.0	7.9	.0	68.0	4.7	.5	.3
14:15	.0	.0	.0	.0	.0	4.5	.0	99.1	.9	.4	2.9
14:16	.0	.0	.0	.0	.0	2.7	.0	66.6	.0	109.1	.0
14:17	.0	.0	.0	.0	.0	2.7	.0	40.3	.0	149.2	2.3
14:18	.0	.0	.0	.0	.0	1.7	.0	38.6	.0	.7	1.0
14:19	.0	.0	.0	.0	.0	1.2	.0	4.7	.0	.2	.5
14:20	.0	.0	.0	.0	.0	.9	.0	4.8	.0	.2	.0
14:21	.0	.0	.0	.0	.0	2.4	.0	2.0	.2	1.5	2.5
14:22	.0	.0	.0	.0	.0	5.4	.0	18.3	.0	.2	.7
14:23	.0	.0	.0	.0	.0	2.4	.0	25.5	.0	.1	.0



構成要素報告書 - データベース・ジャーナル処理要約

▶ 構成要素報告書のデータベース・ジャーナル処理セクションは、システムにおけるジャーナル活動についての情報を示します。この情報は、以下の項目の間の相互のトレードオフを理解するのに役立ちます。

- 大量のジャーナル処理による影響。
- システムの異常終了後の IPL 時に、アクセス・パスを再作成するために必要な時間。

データベース・ジャーナル処理セクションは、ユーザーが開始した活動の結果、およびシステムが管理するアクセス・パス保護 (SMAPP) サポートの結果によって発生するジャーナル処理活動を要約します。これには、次の情報が含まれます。

- 実行されたジャーナル処理操作の開始および停止の回数
- ユーザーが開始したジャーナル処理の対象のオブジェクトのために保管されたジャーナル項目の数
- システムが開始したジャーナル処理の対象のオブジェクトのために保管されたジャーナル項目の数

SMAPP に関する考慮事項については、Performance Tools for iSeries  を参照してください。

拡張データベースジャーナル処理要約のサブセクションは、指定された収集間隔中の QAPMJOBMI ファイルのカウンターについての情報を示します。

このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。

データベース・ジャーナル処理要約セクションおよび拡張データベース・ジャーナル処理サブセクションの両方の例を以下に示します。

Component Report														10/02/03 17:12:15	
Database Journaling Summary														Page 351	
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min															
Member	Q275140000 Model/Serial . . . : 890/10-3907F			Main storage . . . : 56.4 GB			Started			10/02/03 14:00:00					
Library	PTLIBV5R3 System name . . . : ABSYSTEM			Version/Release . . . : 5/ 3.0			Stopped			10/02/03 16:00:00					
Partition ID . . .	003 Feature Code . . . : 7427-2498-7427			Int Threshold . . . : .00 %											
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0															
Journal Operations				Journal Deposits			Bundle		Bundle		--Exposed AP --		--Est Exposr --		SMAPP
Itv	User	User	System	System	User	System	System	Writes	Writes	System	Not	Curr	AP Not	SMAPP	
End	Starts	Stops	Starts	Stops	Total	Total	ToUser	User	System	Jrnl	Jrnl	System	Jrnl	ReTune	
14:00	0	0	0	0	1143	179	168	176	0	6	52	57	4,372	0	
14:01	11	1	0	0	1757	251	54	355	64	6	51	39	4,309	0	
14:02	8	0	0	0	2418	217	57	426	52	9	57	57	6,193	0	
14:03	1	1	0	0	2726	136	130	549	0	6	54	39	4,310	0	
14:04	0	0	0	0	2346	425	353	325	20	10	57	57	6,799	0	
14:05	6	0	0	0	534	197	6	67	56	10	57	57	6,799	0	
14:06	3	2	2	0	579	231	60	98	38	8	52	27	4,310	1	
14:07	7	0	0	0	1635	511	156	252	80	8	55	37	4,373	0	
14:08	0	0	0	0	1161	252	70	233	28	8	55	27	4,310	0	
14:09	8	1	0	0	3425	682	152	641	141	12	47	27	6,736	0	
14:10	4	0	0	0	3861	329	73	697	42	12	50	37	6,799	0	
14:11	1	0	0	0	5626	359	106	1017	42	8	50	37	4,373	1	
14:12	0	1	0	0	3718	282	50	680	42	12	50	37	6,799	0	
14:13	0	0	0	0	5590	296	59	980	44	8	47	27	4,310	0	
14:14	0	0	0	0	4581	168	122	914	10	8	47	27	4,310	0	
14:15	1	1	0	0	3320	162	161	549	0	12	50	37	6,799	0	
14:16	0	0	0	0	5741	33	28	1743	0	12	64	37	6,800	0	
14:17	1	1	0	0	6735	22	16	2565	0	8	50	27	4,310	0	
Itv End	-- Interval end time (hour and minute)														
User Starts	-- Start journal operations initiated by user														
User Stops	-- Stop journal operations initiated by user														
System Starts	-- Start journal operations initiated by system														
System Stops	-- Stop journal operations initiated by system														
User Total	-- Journal deposits resulting from user journaled objects														
System Total	-- Journal deposits resulting from system journaled objects (total)														


```

System ToUser      -- Journal deposits resulting from system journaled
                   objects to user created journals
Bundle Writes User -- Bundle writes to user created journals
Bundle Writes System -- Bundle writes to internal system journals
Exposed AP System JrnlD -- Exposed access paths currently being journaled
                       by the system
Exposed AP Not JrnlD -- Exposed access paths currently not being journaled
Est Exposr Curr System -- System estimated access path recovery time
                       exposure in minutes
Est Exposr AP Not JrnlD -- System estimated access path recovery time
                       exposure in minutes if no access
                       paths were being journaled by the system
SMAPP ReTune       -- System Managed Access Path Protection tuning
                   adjustments
.
.
.

```

Component Report

10/02/03 17:12:15
Page 355

```

Extended Database Journaling Summary
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0

```

Journal Operations				Journal Deposits			Perm Size	Transient Size	Bundle Wait Pct	Bundle Wait Count
Itv End	Commit Ops	Decommit Ops	Physical Writes	Non SMAPP	SMAPP User	SMAPP System				
14:00	316	0	292	1142	168	11	5843	7971	.00	157
14:01	382	0	452	1757	54	197	4054	3120	.00	427
14:02	546	1	515	2418	57	160	5050	3436	.00	531
14:03	655	0	637	2726	130	6	7143	6626	.00	575
14:04	643	2	577	2346	353	72	8488	17153	.00	361
14:05	68	0	127	542	6	191	2872	719	.00	112
14:06	123	0	177	579	60	171	2656	2552	.00	127

```

Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Commit Ops -- Commit operations performed. Includes application
and system-provided referential integrity commits
Decommit Ops -- Decommit operations performed. Includes
application and system-provided referential
integrity decommits
Physical Writes -- Physical journal write operations to disk
Non SMAPP -- Journal deposits not directly related to SMAPP
(System Managed Access Path Protection)
SMAPP User -- SMAPP-induced journal entries deposited in
user-provided journals
SMAPP System -- SMAPP-induced journal entries deposited in
system-provided (default) journals
Perm Size -- Kilobytes placed within the permanent area; these
are traditional journal entries which
can be retrieved and displayed
Transient Size -- Kilobytes placed within the journal transient area;
these are hidden journal entries produced by the
system
Bundle Wait Pct -- Percentage of time (relative to the interval elapsed
time) spent waiting for journal bundles to be
written to disk
Bundle Wait Count -- Total number of times the tasks and jobs waited for
journal bundles to be written to disk

```



構成要素報告書 - TCP/IP 活動

構成要素報告書の TCP/IP 活動セクションには、システム共通レベルおよびインターフェース (回線タイプおよび回線名) レベルの両方での明細 TCP/IP データが含まれています。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

```

Component Report
TCP/IP Activity
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427 Int Threshold . . : .00 %
Virtual Processors: 4 Processor Units : 4.0

```

System TCP/IP															
Itv End	Datagrams			Datagrams Requested			TCP Segments			UDP Datagrams			ICMP Messages		
	Received	Pct Error	Total	for Transmission	Dscrd	per Rcvd	Second	Pct Retrans	Received	Sent	Pct Error	Received	Sent	Pct Error	
14:00	9,755	.00	8,908	.00	153	146	.39	382	49	.00	2	2	.00		
14:01	11,188	.00	10,750	.00	157	177	.47	386	37	.00	3	3	.00		
14:02	22,187	.00	21,196	.00	332	351	.19	417	37	.00	3	3	.00		
14:03	19,193	.00	19,454	.00	292	322	.20	375	42	.00	2	2	.00		
14:04	12,916	.00	12,394	.00	208	207	.40	390	41	.00	4	4	.00		
14:05	10,059	.00	9,451	.00	156	155	.21	394	54	.00	3	3	.00		
14:06	7,721	.00	7,213	.00	118	118	.36	388	46	.00	3	3	.00		
14:07	11,453	.00	10,726	.00	160	160	.29	342	38	.00	2	2	.00		
14:08	12,864	.00	12,269	.00	194	202	.23	363	40	.00	3	3	.00		
14:09	20,454	.00	19,601	.00	295	324	.21	421	40	.00	4	4	.00		
14:10	28,464	.00	28,480	.00	423	480	.09	366	38	.00	2	2	.00		
14:11	35,731	.00	42,567	.00	585	707	.05	376	37	.00	4	4	.00		
14:12	24,847	.00	29,474	.00	404	488	.06	392	63	.00	3	6	33.33		
14:13	42,389	.00	49,140	.00	697	816	.08	389	42	.00	3	3	.00		
14:14	30,610	.00	35,663	.00	499	592	.07	416	39	.00	4	4	.00		
14:15	25,407	.00	28,439	.00	414	471	.11	381	54	.00	2	2	.00		
14:16	37,219	.00	43,619	.00	610	724	.06	407	46	.00	3	3	.00		
14:17	36,745	.00	43,607	.00	612	737	.04	379	37	.00	2	2	.00		
14:18	37,220	.00	42,089	.00	611	699	.07	362	38	.00	3	3	.00		
14:19	13,700	.00	13,665	.00	218	225	.42	373	38	.00	4	4	.00		
14:20	11,114	.00	10,598	.00	175	174	.42	388	36	.00	3	3	.00		
14:21	9,506	.00	8,554	.00	148	139	.72	380	40	.00	3	3	.00		
14:22	31,988	.00	35,480	.00	489	589	.08	517	46	.00	3	3	.00		
14:23	28,038	.00	31,956	.00	462	540	.04	484	41	.00	2	2	.00		
14:24	20,085	.00	21,541	.00	323	356	.21	383	58	.00	3	3	.00		

Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Datagrams Received -- Total number of datagrams received
Pct Datagrams Error -- Percentage of inbound datagrams with errors
Dtgm Req for Transm Tot -- Total number of datagrams requested for transmission
Dtgm Req Transm Dscrd -- Percentage of datagrams discarded because of errors
Segments Rcvd per Sec -- Number of TCP segments received per second
Segments Sent per Sec -- Number of TCP segments sent per second
Segments Pct Retrans -- Percentage of TCP segments retransmitted relative to segments sent
UDP Datagrams Received -- Total number of datagrams delivered to UDP users
UDP Datagrams Sent -- Total number of UDP datagrams sent
Pct UDP Datagrams Error -- Percentage of UDP datagrams (inbound and outbound) with errors
ICMP Messages Received -- Total number of ICMP messages received
ICMP Messages Sent -- Total number of ICMP messages sent
Pct ICMP Messages Error -- Percentage of ICMP messages (inbound and outbound) with errors



構成要素報告書 - HTTP サーバー活動

構成要素報告書の HTTP サーバー活動セクションには、CGI、WebSphere^(R)、または Proxy 要求などのさまざまな HTTP サーバー要求についての詳細情報が含まれています。このリリースで新しくなった点として、Interactive Threshold (GKEY IT)、Virtual Processors (GKEY 13) および Processor Units (GKEY PU) メトリックがヘッダーに追加されました。報告書ヘッダーに表示される値は、収集開始時に QAPMCONF ファイルから獲得した構成メトリックを反映します。これらの値が、論理区画構成での動的変更が原因で、収集期間内の間隔ごとに変化する場合がありますことに注意する必要があります。

報告書の例を以下に示します。

Component Report										10/02/03 17:12:15					
HTTP Server Activity										Page 389					
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min															
Member	Q275140000	Model/Serial . . .	890/10-3907F	Main storage . . .	56.4 GB	Started	10/02/03 14:00:00	Library	PTLIBV5R3	System name . . .	ABSYSTEM	Version/Release . . .	5/ 3.0	Stopped	10/02/03 16:00:00
Partition ID :	003	Feature Code . . .	:7427-2498-7427	Int Threshold00 %										
Virtual Processors:	4	Processor Units :	4.0												
Server :	955725/QTMHTTP/ADMIN														
Itv End	Req type	Responses				Pct Error	KB Transmitted /Second	KB Received /Second							
		Requests Received	Sent	Error	Error										
14:22	CG	1	1	0	.00	0	0								
14:33	SR	7	7	0	.00	0	0								
14:35	SR	9	9	0	.00	0	0								
14:35	CG	1	1	0	.00	0	0								
14:37	SR	28	28	0	.00	2	0								
14:37	CG	2	2	0	.00	0	0								
14:37	JV	11	11	0	.00	1	0								
14:38	SR	27	27	0	.00	0	0								
14:38	JV	2	2	0	.00	0	0								
14:40	SR	4	4	0	.00	0	0								

14:40	JV	7	7	0	.00	1	0
14:41	JV	8	8	0	.00	1	0
14:42	SR	4	4	0	.00	0	0
14:42	JV	18	18	0	.00	2	0
	Column		Total			Average	
	Requests Received		129				
	Responses Sent		129				
	Responses in error		0				
	Pct Responses in error				.000		
	KB Transmitted/Second					1	
	KB Received/Second					0	



構成要素報告書 - 選択基準

構成要素報告書の報告書選択基準セクションには、報告書を作成するために選択された選択値が示されます。

選択パラメーターを使用しなかった場合は、「選択パラメーターが選択されていませんでした。」というメッセージが表示されます。除外パラメーターが使用されていない場合は、「除外パラメーターが選択されていませんでした。」というメッセージが表示されます。これらの選択基準に加え、次の選択基準が表示されます。

- 印刷されたセクション
- エラーのために印刷されなかったか、部分的に印刷されたセクション
- 欠落データのために印刷されなかったか、部分的に印刷されたセクション

報告書の例を以下に示します。

報告書選択基準: 選択パラメーター

```

Component Report                                     2/22/01 10:43:05
Report Selection Criteria                             Page 16
Member . . . : PT51MBR15 Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . : 12/07/00 12:10:39
Library . . : PTNOELIB System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . : 12/07/00 23:45:00
Partition ID : 00 Feature Code . : 22A8-2252-1519
Select Parameters
- No Select parameters were chosen.

Omit Parameters
Pools - 01 02 03 04
Jobs - / /Q*
User IDs - QSYS
Subsystems - QINTER QBATCH
Communications Lines - ETH1 ETH2 ETH3 ETH4 TRLAN1 TRLAN2
                      - TRLAN3 TRLAN4
Control Units - CTRL1 CTRL2 CTRL3 CTRL4
Sections Printed:
- Component Interval Activity
- Job Workload Activity
- IOP Utilizations
- Local Work Stations - Response Time Buckets
- Exception Occurrence Summary and Interval Counts
- Database Journaling Summary
- TCP/IP Activity

Sections not printed or partially printed due to Errors:
Sections not printed or partially printed due to Missing data:

```

報告書選択基準: 除外パラメーター

```

Component Report                                     2/22/01 10:43:05
Report Selection Criteria                             Page 16
Member . . . : PT51MBR15 Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . : 12/07/00 12:10:39
Library . . : PTNOELIB System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . : 12/07/00 23:45:00
Partition ID : 00 Feature Code . : 22A8-2252-1519
Select Parameters
- No Select parameters were chosen.

Omit Parameters
Pools - 01 02 03 04
Jobs - / /Q*
User IDs - QSYS
Subsystems - QINTER QBATCH
Communications Lines - ETH1 ETH2 ETH3 ETH4 TRLAN1 TRLAN2
                      - TRLAN3 TRLAN4

```

Control Units - CTRL1 CTRL2 CTRL3 CTRL4
Sections Printed:
 - Component Interval Activity
 - Job Workload Activity
 - IOP Utilizations
 - Local Work Stations - Response Time Buckets
 - Exception Occurrence Summary and Interval Counts
 - Database Journaling Summary
 - TCP/IP Activity
Sections not printed or partially printed due to Errors:
Sections not printed or partially printed due to Missing data:

例: トランザクション報告書

使用可能なトランザクション報告書の、3 つの異なるタイプのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 『トランザクション報告書 - ジョブ要約報告書オプション』
一般的なジョブ情報が示されます。常にこの報告書を最初に要求してください。
- 36 ページの『トランザクション報告書 - トランザクション報告書オプション』
ジョブで発生した各トランザクションについて以下の詳細情報が示されます。
 - トランザクション応答時間
 - トランザクションが開始された時点で活動状態だったプログラムの名前
 - 処理装置の使用時間
 - 入出力要求の回数
- 37 ページの『トランザクション報告書 - 移行報告書オプション』
トランザクション報告書の場合と類似の情報が示されますが、ジョブのワークステーションへの入力待ちの場合に示される状態の移行だけでなく、各ジョブの状態の移行についてのデータ (たとえば、処理装置時間、入出力要求) が示されます。この報告書に示される明細により、移行時に実行されたプログラムを判別することや、満たされなかったロック要求がいつ起きたかを判別することができます。

トランザクション報告書 - ジョブ要約報告書オプション

ジョブ要約報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 23 ページの『ジョブ要約』
- 24 ページの『システム要約データ』
- 26 ページの『CPU/トランザクション別分布』
- 26 ページの『トランザクションの影響度』
- 27 ページの『5 分間隔ごとの対話式トランザクション』
- 27 ページの『5 分間隔ごとの対話式スループット』
- 28 ページの『5 分間隔ごとの対話式 CPU 使用率』
- 28 ページの『5 分間隔ごとの対話式応答時間』
- 28 ページの『分布図』
- 29 ページの『対話式プログラム統計』
- 30 ページの『オブジェクト別の占有/ロック競合の要約』
- 30 ページの『特殊なシステム情報』

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。

- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

ジョブ要約

ジョブ要約報告書のジョブ要約セクションには、システムの各ジョブごとに以下の情報が示されます。

- ジョブの名前およびタイプ (たとえば、対話式、バッチ)
- ジョブのトランザクションの数
- トランザクションの平均応答時間
- トランザクションごとの平均処理装置時間
- トランザクションごとのディスク入出力要求の平均回数
- ロック待機の回数
- 占有競合の回数
- トランザクション入力/思考時間

ジョブ要約で、ジョブが、応答時間が長い、ディスク入出力活動が多い、処理装置使用率が高い、またはロック要求の数が多いことを示している場合は、トランザクション報告書を用いてさらに詳細に調べてください。

占有の数または競合の数 (この報告書の **Number Sze Cft** (占有競合の数) または **Number Lck Cft** (ロック競合の数) の欄) が「高い」と思える場合は、そのジョブのトランザクション報告書または移行報告書を調べて、競合が持続していた時間、オブジェクトを保有していたジョブ、保有されていたオブジェクトの名前とタイプ、およびジョブが待機していた対象を調べてください。

「高い、長い、多い」という用語の正確な意味は、アプリケーションによって異なります。**ロックの待機**の数がその例です。多くのユーザーが同時にデータベースをアクセスするアプリケーションの場合は、通常の条件のもとでも多くのロック待機が起こります。

したがって、個々の状況について判断する必要があります。値についての理由の解明が説明が困難な場合 (アプリケーションでロックがほとんど起こるはずがないのに、報告書では多くの発生が示されている) は、さらに詳しい分析が必要になります。トランザクション報告書および移行報告書は、この分析の役に立ちます。

報告書のサンプル

Job Summary Report										12/13/00 12:16:05						
Job Summary										Page 0001						
Report type *SUMMARY																
Member	TRACESVT	Model/Serial . .	: 270/10-45WFM	Main storage . . .	: 2048.0 MB	Started	: 12/13/00 11:53:31									
Library	TRACESVT	System name . . .	: ABSYSTEM	Version/Release .	: 5/ 1.0	Stopped	: 12/13/00 11:53:54									
Partition ID :	00	Feature Code . .	: 22A8-2252-1519													
Job	User Name/	*On/Off*	T P P	Tot	Response	Sec	CPU	Sec	Average DIO/Transaction			Number	K/T			
Name	Thread	Job	y t r	Nbr	Avg	Max	Util	Avg	Max	DBR	NDBR	Wrt	Sum	Max	Cft	/Tns
		Number	Pl p y g	Tns									Sum	Max	Lck	Sze
SCPF	QSYS	000000	02 X	40												
QDBSRV01	QSYS	008309	02 S	09												
QDBSRV02	QSYS	008310	02 S	16												
QDBSRV03	QSYS	008311	02 S	16												
QDBSRV04	QSYS	008312	02 S	52												
QDBSRV05	QSYS	008313	02 S	52												
QDCPOBJ1	QSYS	008314	02 S	60												
QDCPOBJ2	QSYS	008315	02 S	60												
QPFRAJ	QSYS	008316	02 S	00												
QSPLMAINT	QSYS	008317	02 S	20												
QJOBSCD	QSYS	008318	02 S	00												
QALERT	QSYS	008319	02 S	20												
QLUR	QSYS	008320	02 S	00												
QFILESYS1	QSYS	008321	02 S	00												
QDBSRVXR	QSYS	008322	02 S	00												
Q400FILSVR	QSYS	008323	02 S	20												
QQTEMP1	QSYS	008324	02 S	20												

```

QQQTEMP2  QSYS      008325 02 S 20
QDBSRVXR2 QSYS      008326 02 S 00
QSYSCOMM1 QSYS      008327 02 S 00
QCMNARB01 QSYS      008328 02 S 00
QCMNARB02 QSYS      008329 02 S 00
QCMNARB03 QSYS      008330 02 S 00
QSYSARB   QSYS      008302 02 S 00
QLUS      QSYS      008307 02 S 00
QSYSARB2  QSYS      008303 02 S 00
QSYSARB3  QSYS      008304 02 S 00
QSYSARB4  QSYS      008305 02 S 00
QSYSARB5  QSYS      008306 02 S 00
QCTL      QSYS      008335 02 M 00
QSYSWRK   QSYS      008336 02 M 00
QIWVPPJT  QUSER     008338 02 BJ 20
QSPL      QSYS      008347 02 M 00
QUSRWRK   QSYS      008348 02 M 00
QSERVER   QSYS      008350 02 M 00
QSNADS    QSYS      008353 02 M 00
QZDAINIT  QUSER     008356 02 BJ 20
QZDSTART  QSNADS    008359 02 A 40
QSYSSCD   QPGMR     008360 02 B 10
QPWFSERVS2 QUSER     008366 02 BJ 20
QINTER    QSYS      008368 02 M 00
QROUTER   QSNADS    008364 02 B 40
QPWFSERVSS QUSER     008369 02 BJ 20
QBATCH    QSYS      008371 02 M 00

```

システム要約データ

ジョブ要約報告書のシステム要約データのセクションには、3つのパートがあります。各パートの内容は、以下のとおりです。

パート 1

- 追跡日付の追跡期間
- 合計追跡期間の全ジョブの優先順位別 CPU
- 報告書の最初のパートのサンプルを『システム要約データ (パート 1)』します。

パート 2

- 合計追跡期間の全ジョブのジョブ・タイプ別の CPU およびディスク入出力
- ジョブ・タイプ別対話式トランザクションの平均
- 報告書の 2 番目のパートのサンプルを 25 ページの『システム要約データ (パート 2)』します。

パート 3

- 対話式トランザクション・カテゴリー別の分析
- 対話式応答時間別の分析
- 対話式入力/思考時間別の分析
- 報告書の 3 番目のパートのサンプルを 25 ページの『システム要約データ (パート 3)』します。

システム要約データ (パート 1):

```

Job Summary Report
System Summary Data
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0006

Member . . . : TRACESVT  Model/Serial . . : 270/10-45WFM  Main storage . . : 2048.0 MB  Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT  System name . . : ABSYSTEM      Version/Release  : 5/ 1.0  Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID  : 00      Feature Code . . :22A8-2252-1519
TRACE PERIODS FOR TRACE DATE.

      Started      Stopped      Elapsed
      -----      -----      -----
      11.53.31     11.53.54         22

CPU BY PRIORITY FOR ALL JOBS FOR TOTAL TRACE PERIOD.

Pty      CPU      CPU      Cum CPU      CPU
-----  -----  -----  -----  -----
00      .068      .30      .30      1.003
01      .068      .30      .30      1.003

```

```

09          .30      1.003
10          .30      1.003
11          .30      1.003
13          .30      1.003
15          .30      1.003
16          .001     .30      1.003
19          .30      1.003
20          .008     .03      .33      1.003
25          .049     .22      .55      1.005
35          .55      1.005
36          .55      1.005
40          .55      1.005
49          .55      1.005
50          .002     .55      1.005
52          .55      1.005
60          .55      1.005
68          .001     .55      1.005
84          .007     .03      .58      1.005
98          .58      1.005

```

システム要約データ (パート 2):

```

Job Summary Report
System Summary Data
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0007

Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . : 22A8-2252-1519
CPU AND DISK I/O PER JOB TYPE FOR ALL JOBS FOR TOTAL TRACE PERIOD.
Job Nbr CPU CPU --Disk I/O Requests-- CPU Sec/ Sync I/O
Type Jobs Seconds Util Sync Async Sync DIO /Elp Sec
-----
INTERACTIVE 10 .0 .0 0 0 .0000 .0
BATCH A,B,C,D,X 328 .1 .5 0 0 .0000 .0
SPOOL WTR/RDR 2 .0 .0 0 0 .0000 .0
SYSTEM JOBS 39 .0 .0 2 0 .0000 .1
SYSTEM TASKS 337 .0 .0 58 102 .0000 2.6
-----
** TOTALS ** 716 .1 .5 60 102 .0017 2.7
DATA FOR SELECTED TIME INTERVAL (OR TOTAL TRACE PERIOD IF NO TIME SELECTION).
INTERACTIVE TRANSACTION AVERAGES BY JOB TYPE.
T Avg CPU/ Sync Disk I/O Rqs/Tns Async W-I Excp Key/ Active Est
y Nbr Nbr Pct Tns Rsp Tns DB DB NDB NDB DIO Wait Wait Think K/T Of
p Prg Jobs Tns Tns /Hour (Sec) (Sec) Read Write Read Write Sum /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns AWS
-----
I YES 10 6 100.0 981 .006 .001 0 0 0 0 0 0 .000 .003 5.720 5.720 2
EXCEPTIONAL WAIT BREAKDOWN BY JOB TYPE.
Type Purge A-I Short WaitX Seize Lock Event Excs EM3270 DDM Svr Other
/Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns /Tns
-----
I YES .000 .000 .000 .000 .000 .000 .003 .000 .000 .000

```

システム要約データ (パート 3):

```

Job Summary Report
System Summary Data
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0008

Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . : 22A8-2252-1519
ANALYSIS BY INTERACTIVE TRANSACTION CATEGORIES.
Category Avg CPU CPU Cum Sync Disk I/O Rqs/Tns Async Avg Excp Avg Est
/Tns Util Util DB DB NDB NDB DIO Nbr Pct Rsp Wait K/T Of
/Tns /Tns /Tns Read Write Read Write Sum /Tns Tns Tns /Tns /Tns /Tns AWS
-----
VERY SIMPLE VS .001 6 100.0 .006 .003 5.720 2
** SIMPLE S .001 6 100.0 .006 .003 5.720 2
-Boundary- .071
** MEDIUM M .097
-Boundary-
** COMPLEX X
VERY COMPLEX VX
Total/Avg of ** .001 6 100.0 .006 .003 5.720 2
ANALYSIS BY INTERACTIVE RESPONSE TIME.
Category Avg Nbr Pct Cum Avg Cum Sync Disk I/O Rqs/Tns Async Excp Avg
Rsp Tns Tns Tns CPU CPU CPU DB DB NDB NDB DIO Wait Wait K/T
/Tns /Tns /Tns /Tns /Tns Util Util Read Write Sum /Tns /Tns /Tns
-----
Sub-Second .006 6 100.0 100.0 .001 100.0 .003 5.720
1 - 1.999 Sec 100.0
2 - 2.999 Sec 100.0
3 - 4.999 Sec 100.0

```

```

5 - 9.999 Sec          100.0
GE 10 Seconds         100.0
ANALYSIS BY INTERACTIVE KEY/THINK TIME.

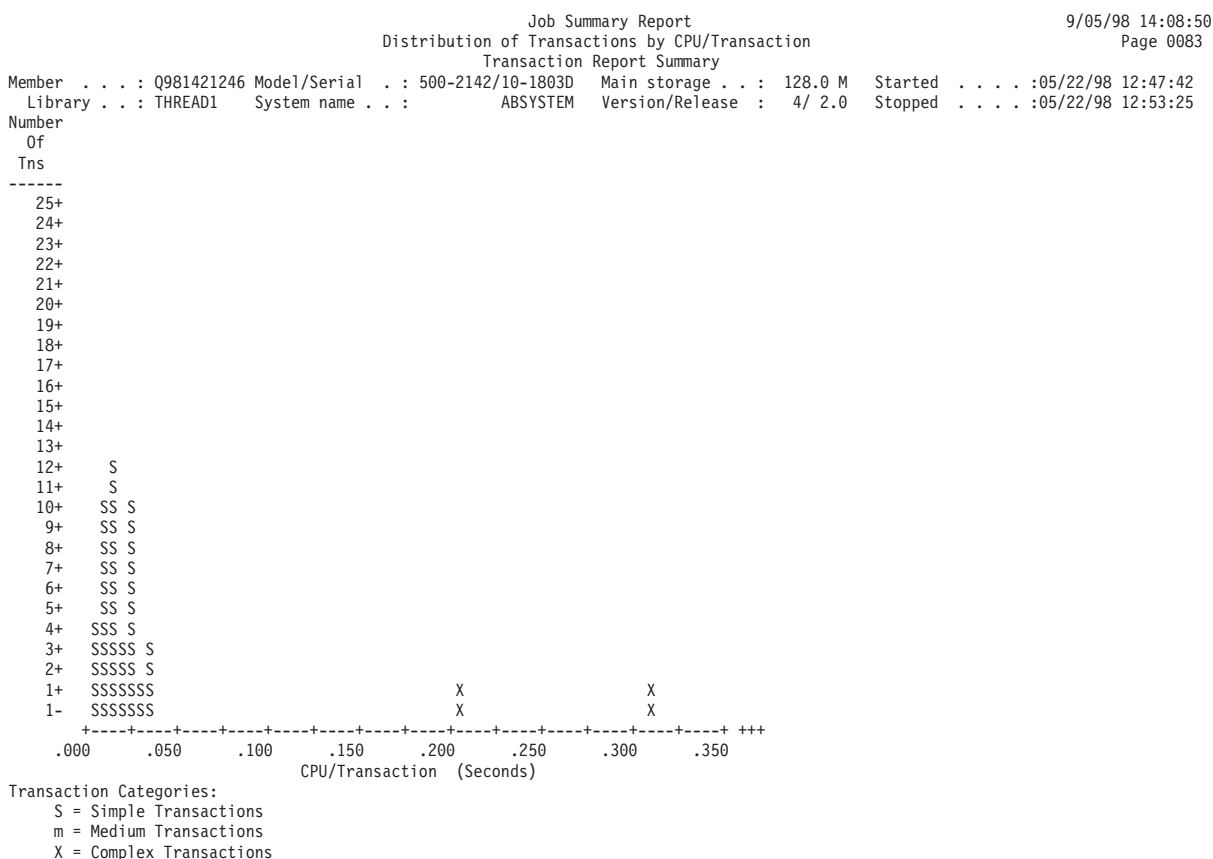
```

Category	Avg K/T /Tns	Nbr Tns	Pct Tns	Cum Pct Tns	Avg CPU /Tns	CPU Util	Cum CPU Util	DB Read	DB Write	I/O NDB Read	I/O NDB Write	Rqs/Tns Sum	Async DIO /Tns	Avg Rsp /Tns	Excp Wait /Tns
LT 2 Seconds	.001	2	33.3	33.3	.002									.004	.002
2 - 14.999 Sec	11.439	2	33.3	66.6	.002									.004	.001
15 - 29.999 Sec				66.6											
30 - 59.999 Sec				66.6											
60 - 299.999 Sec				66.6											
GE 300 Seconds				66.6											

CPU/トランザクション別分布

ジョブ要約報告書の CPU/トランザクション別トランザクションの分布セクションは、単純、中程度、および複雑なトランザクションの分布をグラフィカルに表示します。このグラフは、トランザクション数対トランザクションごとの処理装置時間 (秒数) を示します。

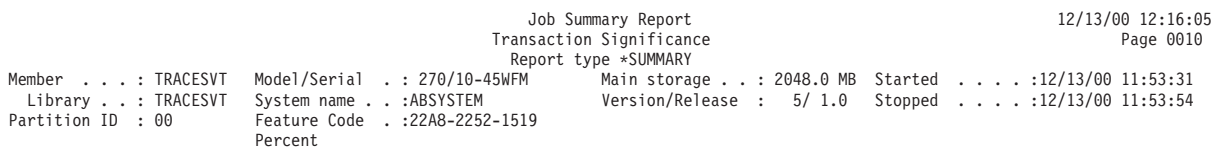
報告書のサンプル

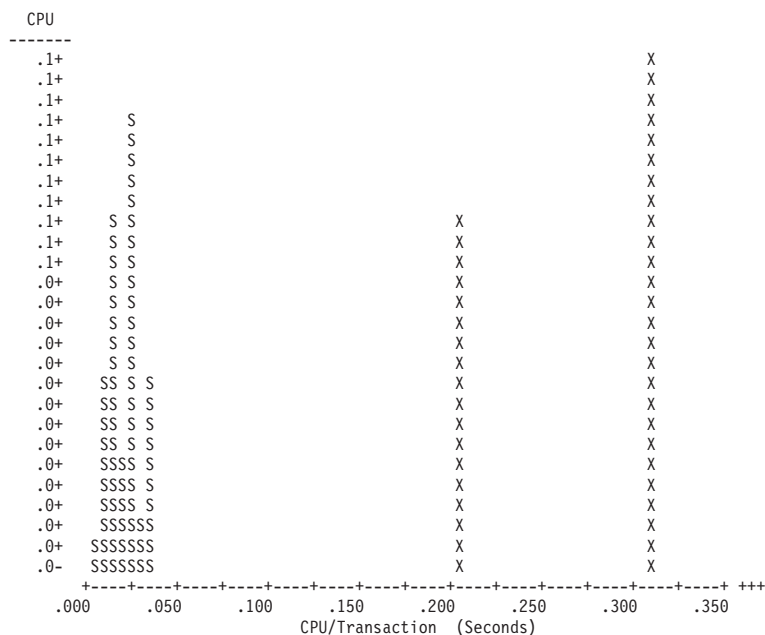


トランザクションの影響度

ジョブ要約報告書のトランザクションの影響度のセクションは、単純、中程度、および複雑なトランザクション別に分類した処理装置使用状況をグラフィカルに表示します。このグラフは、使用された処理装置の使用可能時間パーセント対トランザクションごとの処理装置時間 (秒数) を示します。

報告書のサンプル





Transaction Categories:
 S = Simple Transactions
 m = Medium Transactions
 X = Complex Transactions

5 分間隔ごとの対話式トランザクション

ジョブ要約報告書の 5 分間隔ごとの対話式トランザクション数のセクションでは、5 分間の時間間隔で、少なくとも 1 つのトランザクションを実行した活動ジョブ数のカウントが示されます。また、この 5 分間の時間間隔でサインオンおよびサインオフされたジョブの数も示されます。5 分間の時間間隔ごとのトランザクションの割合は、いくつかの異なる形式で示されます。

報告書のサンプル

```

Job Summary Report
Interactive Transactions by 5 Minute Intervals
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0011

Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519

--- Pct Of Tns --- Pct CPU By Nbr Nbr Sync Async Avg Excp Pct Seize Active Est
End Jobs Tns /Hour %VS* %S %M %X %VX %S %M %X offs ons /Tns /Tns /Tns /Tns /Rsp /Tns /Tns /Tns AWS
***
11.55* 1 6 72 100*100 0 0 * 0 0 0 0 .005 .003 60 5.500
* Denotes Partial Interval Data

```

5 分間隔ごとの対話式スループット

ジョブ要約報告書の 5 分間隔ごとの対話式スループットのセクションでは、間隔終了時間ごとのトランザクション数に対する単純、中程度、および複雑なトランザクションの数を示します。

報告書のサンプル

```

Job Summary Report
Interactive Throughput by 5 Minute Intervals
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0012

Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519
Number Of Transactions Per Hour

Itv
End
0 400 800 1200 1600 2000 2400 2800
***
15/05 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

```

Throughput Components:
 S = Simple Transactions
 m = Medium Transactions
 X = Complex Transactions

5 分間隔ごとの対話式 CPU 使用率

ジョブ要約報告書の 5 分間隔ごとの対話式 CPU 使用率のセクションでは、処理装置使用率に対する単純、中程度、および複雑なトランザクションの比率を示します。

報告書のサンプル

```

                                     Job Summary Report
                                     Page 0013
Interactive CPU Utilization by 5 Minute Intervals
Report type *SUMMARY
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519

Percent CPU Utilization
Itv
End 0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
***
15/05 XXXX
CPU Components:
S = Simple Transactions
m = Medium Transactions
X = Complex Transactions

```

5 分間隔ごとの対話式応答時間

5 分間隔ごとの対話式応答時間のセクションでは、結果の応答時間に対する応答時間構成要素を示します。

報告書のサンプル

```

                                     Job Summary Report
                                     Page 0014
Interactive Response Time by 5 Minute Intervals
Report type *SUMMARY
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519
Average Response Time (Seconds)
Itv
End 0 1.00 2.00 3.00 4.00 5.00 6.00 7.00
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
***
15/05 RRRRRRRRRRRR
Response Components:
R = CPU + Disk + Wait-to-Ineligible
w = Exceptional Wait

```

分布図

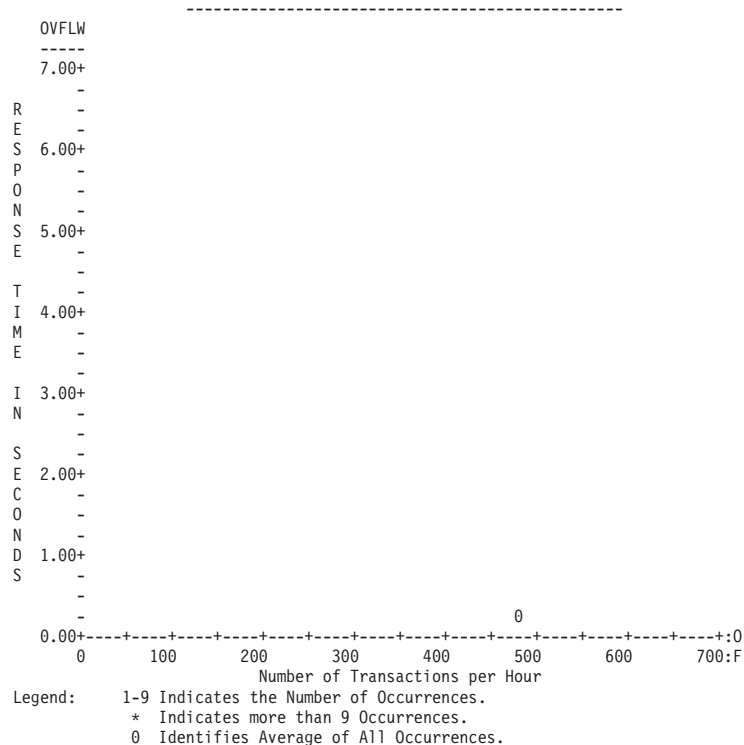
ジョブ要約報告書の分布図のセクションは、トランザクション・レートと比較して、5 分間隔の測定応答時間の平均を示します。

報告書のサンプル

```

                                     Page 0014
Interactive Response Time by 5 Minute Intervals
Report type *SUMMARY
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519
Average Response Time (Seconds)
Itv
End 0 1.00 2.00 3.00 4.00 5.00 6.00 7.00
-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+-----+
Response Components:
R = CPU + Disk + Wait-to-Ineligible
w = Exceptional Wait
Job Summary Report
                                     12/13/00 12:16:05
Scatter Diagram of Interactive Transactions by 5 Minute Intervals
Report type *SUMMARY
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519
Response Time vs Number of Transactions per Hour

```



対話式プログラム統計

ジョブ要約報告書の対話式プログラム統計のセクションは、以下についての平均値が高い上位 10 個のプログラムを示す追加のプログラム情報を提供します。

- トランザクションごとの処理装置の使用時間
- トランザクションごとの同期ディスク入出力
- トランザクションごとの非同期ディスク入出力
- トランザクションごとの応答時間
- トランザクションごとの同期データベース読み取り
- トランザクションごとの同期データベース書き込み
- トランザクションごとの同期非データベース読み取り
- トランザクションごとの同期非データベース書き込み

報告書のサンプル

Job Summary Report											5/07/98 13:52:10					
Interactive Program Statistics											Page 0019					
Member . . . : CAJ0503		Model/Serial . . : 510-2144/10-08BCD		Main storage . . : 384.0 M		Started : 05 03 98 14:59:44										
Library . . . : QPFRDATA		System name . . . :		ABSYSTEM		Version/Release : 4/ 2.0		Stopped : 05 03 98 15:04:36								
Rank	Number Tns	Program Name	CPU /Tns	CPU Util	Cum Util	DB Read	DB Write	Disk I/O Read	Disk I/O Write	Rqs/Tns Sum	Async DIO /Tns	Rsp /Tns	Short Wait /Tns	Seize Wait /Tns	Pct Tns	Cum Pct Tns
1	147	QUIINMGR	.085	4.3	4.3		1	4	11	15	10	.792		.031	65.3	65.3
2	32	QSPDSPF	.007	.1	4.3			1		1	1	.047			14.2	79.6
3	19	QPTPRCSS	.023	.2	4.5			1		1		.051			8.4	88.0
4	17	QUYLIST	.063	.4	4.9			11	2	13	2	.411			7.6	95.6
5	3	QSUBLDS	.101	.1	5.0			32		32		1.021			1.3	96.9
6	2	QUOCCPP	.034		5.0			6	5	11	2	.433		.035	.9	97.8
7	2	QUIALIST	.013		5.0				1	1		.034			.9	98.7
8	1	*TRACEOFF*	9.508	3.3	8.2	27	209	1852	2570	4658	2118	157.268		.039	.4	99.1
9	1	QMHDMSM	.062		8.3			3		3		.135			.4	99.6
10	1	QUOCMD	.044		8.3			1		1		.068			.4	100.0

オブジェクト別の占有/ロック競合の要約

ジョブ要約報告書のオブジェクト別の占有/ロック競合の要約のセクションは、オブジェクトに関するロックと占有についての情報を示します。 ADDR 00000E00 として示される名前のないオブジェクトは、ライセンス内部コードのデータベース使用中テーブルです。 データベース・ファイルのオープンとクローズの数が多く場合は、これがよくこの報告書に示されます。

報告書のサンプル

Job Summary Report											
Summary of Seize/Lock Conflicts by Object											
Member : MON3D7CRT		Model/Serial . . : 510-2144/10-08BCD		Main storage . . . : 384.0 M		Started : 05 13 98 11:14:15		Page 0032		5/07/98 13:52:10	
Library : QPFRDATA		System name . . . : ABSYSTEM		Version/Release : 4/ 2.0		Stopped : 05 13 98 12:14:01					
				----- Interactive Waiters -----				----- Non-Interactive Waiters -----			
Type	Library	File	Member	Locks	Avg Sec	Seizes	Avg Sec	Locks	Avg Sec	Seizes	Avg Sec
				Number		Number		Number		Number	
DS	CVTV3R2CAJ	QAPMJOBS								3	.080
DS	CVTV3R2CAJ	QAPMLIOP								2	.001
DS	CVTV3R2CAJ	QAPMPOOL								2	.106
DS	CVTV3R2CAJ	QAPMRESP								2	.087
DS	QUSRSYS	QASNADSQ						1	.406		
DSI	CVTV3R2CAJ	QAPMCONF								2	.006
DSI	CVTV3R2CAJ	QAPMLIOP								2	.013
DSI	CVTV3R2CAJ	QAPMPOOL								1	.015
FILE	QSPL	Q04079N003						14	.428		
JOBQ	QSYS	QNMSVQ						3	.017	1	.062
JOBQ	QSYS	QSYSNOMAX								8	.020
LIB		QRECOVERY								2	.092
LIB		QSPL								8	.046
LIB		QSVMS								14	.038
LIB		QUSRSYS								8	.197
LIB		SOFIACN								1	
MI Q	QUSRSYS	QS2RRAPPN						2	1.263		
MSGQ	QSYS	QHST						7	.038	8	.343
OUTQ	QUSRSYS	QEZJOBLOG								6	.021
SMIDX	QSVMS	QCQJMSMI								2	
SPLCB		QSPSCB						6	2.556		
USRPRF		MORIHE								4	.071
USRPRF		QDBSHR								22	.039
USRPRF		QSVCCS								21	.043
USRPRF		QSYS								1	.038
1E0101										1	.029
* Total Conflicts and Avg Sec/Conflict								36	.847	191	.065
* Total Transactions With Conflicts											
* Averages Per Conflict Transaction											

特殊なシステム情報

一般的に、この情報は、測定期間に発生した例外的な状態および事象を示します。これらの例外を分析することによって、調べる必要があるジョブおよびプログラムを見つけることができます。ジョブ要約報告書の特殊なシステム情報のサンプルについては、以下を参照してください。

- 『優先順位 - ジョブ・タイプ - プール統計』
- 31 ページの『ジョブ統計』
- 32 ページの『対話式プログラム統計』
- 32 ページの『個別トランザクション統計』
- 33 ページの『最長の占有/ロック競合のセクション』
- 34 ページの『占有/ロック競合の最長ホルダー』
- 34 ページの『バッチ・ジョブ分析』
- 35 ページの『並行バッチ・ジョブ統計』
- 35 ページの『選択基準』

優先順位 - ジョブ・タイプ - プール統計: ジョブ要約報告書の「優先順位 - ジョブ・タイプ - プール統計」のセクションは、テスト期間全体にわたって記録された「優先順位 - ジョブ・タイプ」と「プール」

の組み合わせの各カテゴリごとの合計処理装置時間 (秒数) および物理入出力要求数を示します。合計トランザクション数は、ジョブ・タイプ I についてのみ示されます。

報告書のサンプル

Job Summary Report							12/13/00 12:16:05
Priority-Jobtype-Pool Statistics							Page 0016
Report type *SUMMARY							
Member	TRACESVT	Model/Serial . . .	270/10-45WFM	Main storage . . .	2048.0 MB	Started	12/13/00 11:53:31
Library	TRACESVT	System name . . .	:ABSYSTEM	Version/Release :	5/ 1.0	Stopped	12/13/00 11:53:54
Partition ID :	00	Feature Code . . .	:22A8-2252-1519				
Pty	Job Type	Pool	CPU Seconds	--- Disk I/O Sync	Requests Async	Number Tns	
00	L	01	.056	58	102		
00	L	02	.004				
00	L	04	.007				
00	M	02					
00	S	02	.001	2			
01	B	02					
09	S	02					
10	B	02					
10	BJ	02					
11	B	02					
13	B	02					
15	A	02					
16	B	02	.001				
16	S	02					
19	B	02					
20	A	02					
20	B	02					
20	BD	02					
20	BJ	02					
20	I	04	.008			5	
20	L	01					
20	S	02					
25	B	02	.049				
25	BD	02					
25	BJ	02					
35	B	02					
36	L	01					
36	L	04					
40	A	02					
40	B	02					
40	X	02					
49	L	01					
50	A	02					
50	B	02	.002				
50	W	03					
52	L	01					
52	S	02					
60	S	02					
68	L	01	.001				
84	L	01	.007				
98	L	01					

ジョブ統計: ジョブ要約報告書のジョブ統計セクションは、以下の 10 個のジョブを示します。

- トランザクションの最も多いジョブ (以下の報告書サンプルを参照)
- 平均応答時間の最大のジョブ
- トランザクションごとの平均処理装置時間が最大のジョブ
- トランザクションごとの同期ディスク入出力が最大のジョブ
同期ディスク入出力は、プログラムの操作を続行するために完了しなければならないディスク・アクセス操作です。
- トランザクションごとの非同期ディスク入出力が最大のジョブ
非同期ディスク入出力は、プログラムの操作の続行のために完了を前提としないディスク・アクセス操作です。
- 占有競合が最大のジョブ
- レコード・ロック競合が最大のジョブ
- 活動状態から不適格状態への移行の頻度が最高のジョブ
- 待機状態から不適格状態への移行の頻度が最高のジョブ

- 事象待機の頻度が最高のジョブ

報告書のサンプル

Job Summary Report
Page 0017

Job Statistics
Report type *SUMMARY

Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . :12/13/00 11:53:31
 Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . :12/13/00 11:53:54
 Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519

JOBS WITH MOST TRANSACTIONS

Rank	Job Name	User Name/ Thread	Job Number	Pl	T y p e	P r i o r i t y	Nbr Tns	Rsp /Tns	CPU /Tns	CPU Util	Cum CPU Util	Sync DIO /Tns	Async DIO /Tns	Nbr W-I	Nbr A-I	Nbr Evt	Number Conflict Lck	Size	Pct Tns	Cum Pct Tns
1	QPADEV0009	SUSTAITA	013832	04	I	20	43	.035	.018	.2	.2								93.5	93.5
2	QPADEV0026	SOLBERG	013841	04	I	20	3	4.918	.179	.2	.4	154							6.5	100.0
3																				
4																				
5																				
6																				
7																				
8																				
9																				
10																				

JOBS WITH LARGEST AVERAGE RESPONSE TIME

対話式プログラム統計: ジョブ要約報告書の対話式プログラム統計のセクションは、以下についての平均値が高い上位 10 個のプログラムを示す追加の情報を提供します。

- トランザクションごとの処理装置の使用時間
- トランザクションごとの同期ディスク入出力
- トランザクションごとの非同期ディスク入出力
- トランザクションごとの応答時間
- トランザクションごとの同期データベース読み取り
- トランザクションごとの同期データベース書き込み
- トランザクションごとの同期非データベース読み取り
- トランザクションごとの同期非データベース書き込み

報告書のサンプル

Job Summary Report
Interactive Program Statistics
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0022

Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . :12/13/00 11:53:31
 Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . :12/13/00 11:53:54
 Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519

PROGRAMS WITH HIGHEST CPU/TNS

Rank	Number Tns	Program Name	CPU /Tns	CPU Util	Cum CPU Util	---- Read	Sync DB Write	Disk DB Read	I/O NDB Write	Rqs/Tns Sum	---- Sum	Async DIO /Tns	Rsp /Tns	Short Wait /Tns	Seize Wait /Tns	Pct Tns	Cum Pct Tns
1	2	QUIINMGR	.002									.005				33.3	33.3
2	1	*TRACEOFF*	.002									.003				16.7	50.0
3	3	QSCTI1	.001									.007				50.0	100.0
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	

個別トランザクション統計: ジョブ要約報告書の個々のトランザクション統計セクションは、以下について、最小または最大の 10 個のトランザクションをリストします。

- 応答時間 (報告書のサンプルを参照)
- 処理装置サービス時間
- 合計同期ディスク入出力

- 合計非同期ディスク入出力
- 同期データベース読み取り
- 同期データベース書き込み
- 同期非データベース読み取り
- 同期非データベース書き込み
- 非同期データベース読み取り
- 非同期データベース書き込み
- 非同期非データベース読み取り
- 非同期非データベース書き込み
- 拡張短時間待機時間
- 短時間待機時間
- ロック待機時間
- 超過活動レベル待機時間
- 活動時間
- 2 進オーバーフロー例外
- 10 進オーバーフロー例外
- 浮動小数点オーバーフロー例外
- 処理アクセス・グループ不在例外
- 永続書き込み

報告書のサンプル

Job Summary Report										12/13/00 12:16:05
Individual Transaction Statistics										Page 0025
Report type *SUMMARY										
Member	TRACESVT	Model/Serial . .	: 270/10-45WFM	Main storage . .	: 2048.0 MB	Started	:12/13/00 11:53:31			
Library	TRACESVT	System name . .	: ABSYSTEM	Version/Release :	5/ 1.0	Stopped	:12/13/00 11:53:54			
Partition ID :	00	Feature Code . .	: 22A8-2252-1519							
TRANSACTIONS WITH LONGEST RESPONSE TIMES										
Rank	Value	Time	Program	Job Name	User Name	Number	Thread	Pool	Type	Priority
1	.015	11.53.31.746	QSCTI1	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
2	.005	11.53.31.753	QUIINMGR	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
3	.004	11.53.54.633	QSCTI1	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
4	.004	11.53.45.609	QUIINMGR	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
5	.003	11.53.54.636	*TRACEOFF*	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
6	.003	11.53.31.746	QSCTI1	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
7									D	
8									D	
9									D	
10									D	
TRANSACTIONS WITH LONGEST CPU SERVICE TIME										
Rank	Value	Time	Program	Job Name	User Name	Number	Thread	Pool	Type	Priority
1	.002	11.53.54.636	*TRACEOFF*	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
2	.002	11.53.45.609	QUIINMGR	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
3	.001	11.53.54.633	QSCTI1	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
4	.001	11.53.31.753	QUIINMGR	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
5	.001	11.53.31.746	QSCTI1	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
6	.001	11.53.31.746	QSCTI1	QPADEV000P	SUSTAITA	011615		04	ID	20
7									D	
8									D	
9									D	
10									D	

最長の占有/ロック競合のセクション: ジョブ要約報告書の最長の占有/ロック競合のセクションは、追跡期間においてその長さが長い 30 個のロックまたは占有競合を示します。

報告書のサンプル

Longest Seize/Lock Conflicts
Report type *SUMMARY

Rank	Value	Time	Job Name	User Name/ Thread	Job Number	Pl	Typ	Pty	S/L	Holder- Object-	Job Name.. Type..	User Name.. Library...	Number File.....	Pool Member....	Type RRN.....	Pty	
1	20.679	08.00.43.582	QPADEV0017	00000000	023398	04	I	01	L	HOLDER- OBJECT-	QPADEV0016 DS	COOK PFREXP	023399 CSTFIL	04	I	20	000002000
2	15.999	08.00.09.324	QPADEV0017	00000000	023398	04	I	01	L	HOLDER- OBJECT-	QPADEV0016 DS	COOK PFREXP	023399 CSTFIL	04	I	20	000001000
3	14.183	08.01.16.807	QPADEV0017	00000000	023398	04	I	01	L	HOLDER- OBJECT-	QPADEV0016 DS	COOK PFREXP	023399 CSTFIL	04	I	20	000003000
4	.034	08.00.25.331	QPADEV0017	00000000	023398	04	I	01	L	HOLDER- OBJECT-	QPADEV0016 DS	COOK PFREXP	023399 ITMFIL	04	I	20	000001000
5	.023	08.01.04.268	QPADEV0017	00000000	023398	04	I	01	L	HOLDER- OBJECT-	QPADEV0016 DS	COOK PFREXP	023399 ITMFIL	04	I	20	000002000
6	.022	08.01.30.999	QPADEV0017	00000000	023398	04	I	01	L	HOLDER- OBJECT-	QPADEV0016 DS	COOK PFREXP	023399 ITMFIL	04	I	20	000003000

占有/ロック競合の最長ホルダー: ジョブ要約報告書の最長の占有/ロック競合保持者のセクションは、追跡期間中のすべてのジョブ・タイプについて最長のロックまたは占有競合の保持者を示します。

報告書のサンプル

Job Summary Report
Longest Holders of Seize/Lock Conflicts

Report type *SUMMARY

Rank	Value	Time	Job Name	User Name/ Thread	Job Number	Pl	Typ	Pty	S/L	Type	Library	File	Member	RRN
1	20.679	08.00.43.581	QPADEV0016	00000000	023399	04	I	20	L	DS	PFREXP	CSTFIL		000002000
2	15.999	08.00.09.324	QPADEV0016	00000000	023399	04	I	20	L	DS	PFREXP	CSTFIL		000001000
3	14.183	08.01.16.808	QPADEV0016	00000000	023399	04	I	20	L	DS	PFREXP	CSTFIL		000003000
4	.034	08.00.25.332	QPADEV0016	00000000	023399	04	I	20	L	DS	PFREXP	ITMFIL		000001000
5	.023	08.01.04.269	QPADEV0016	00000000	023399	04	I	20	L	DS	PFREXP	ITMFIL		000002000
6	.022	08.01.30.999	QPADEV0016	00000000	023399	04	I	20	L	DS	PFREXP	ITMFIL		000003000

バッチ・ジョブ分析:

注: ジョブ選択 (SLTJOB) パラメーターまたジョブ除外 (OMTJOB) パラメーターにも値を指定すると、バッチ・ジョブ分析のセクションは印刷されません。

ジョブ要約報告書のバッチ・ジョブ分析のセクションは、追跡期間中のバッチ・ジョブ作業負荷の情報を示します。

報告書のサンプル

Job Summary Report
Batch Job Analysis
Report type *SUMMARY

Member	Model/Serial	System name	Feature Code	Main storage	Version/Release	Started	Stopped
Member	TRACESVT	Model/Serial	270/10-45WFM	Main storage	2048.0 MB	Started	12/13/00 11:53:31
Library	TRACESVT	System name	:ABSYSTEM	Version/Release : 5/ 1.0		Stopped	12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00		Feature Code	:22A8-2252-1519				

Job Name	User Name/ Thread	Job Number	Pl	p	y	T	Start	Stop	Elapsed Seconds	CPU Seconds	CPU Util	Disk I/O	Sync Disk I/O	Async BCPU /DIO	--- Synchronous --- Elp Act Ded	Excp Wait Sec
QIWPJT	QUSER	008338	02	BJ	20		11.53.31	11.53.54	22.907							22.90
QZDAINIT	QUSER	008356	02	BJ	20		11.53.31	11.53.54	22.907							22.90
QSYSSCD	QPGMR	008360	02	B	10		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90
QPWFERSV2	QUSER	008366	02	BJ	20		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90
QRROUTER	QSNADS	008364	02	B	40		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90
QPWFERSVSS	QUSER	008369	02	BJ	20		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90
QPWFERSV	QUSER	008375	02	BJ	20		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90
QZDASSINIT	QUSER	008378	02	BJ	20		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90
QNMAPPINGD	QUSER	008379	02	BJ	25		11.53.31	11.53.54	22.906							22.90

並行バッチ・ジョブ統計: ジョブ要約報告書の並行バッチ・ジョブ統計セクションは、追跡期間中のバッチ・ジョブ作業負荷に関する情報をジョブ・セットに基づいて示します。

特定の優先順位の最初の行を見ることによって、追跡期間においてシステムがすべての使用可能なバッチ活動レベルを完全に使用したかどうかを迅速に調べることができます。

収集サービスは、データ収集が開始されると並行ジョブの識別を開始します。現在活動状態のジョブはすべて 1 つのジョブ・セットに割り当てられます。追跡期間に、SNADS の自動開始ジョブなど、継続して活動状態になっているジョブがいくつかあります。

追跡期間中に別のジョブが開始され、オリジナルのジョブがいずれも終了しない場合は、開始されたジョブは新しいジョブ・セットに割り当てられます。ジョブが終了し、同じ優先順位の別のジョブが開始された場合は、新しいジョブは同じジョブ・セットの 2 番目のジョブと見なされます。

たとえば、QBATCH のジョブ待ち行列項目の MAXACT パラメーターが 3 で、追跡期間中に QBATCH に 8 つのジョブが実行依頼された場合は、報告書には 3 つのジョブ・セットとこれらを共用した合計 8 つのジョブが示されることとなります。

ジョブ・セットは、ジョブ優先順位に基づいて分類されます。したがって、上の例で、最初のジョブ・セットが合計 8 分 50 秒実行され、2 番目のジョブ・セットが合計 6 分 55 秒実行されると、報告の順序は、2 番目のジョブ・セットの統計、次に 3 番目、その後最初のジョブ・セットとなり、順序番号が割り当てられます。

報告書のサンプル

Job Summary Report								12/13/00 12:16:05			
Concurrent Batch Job Statistics								Page 0037			
Report type *SUMMARY											
Member	:	TRACESVT	Model/Serial . . .	:	270/10-45WFM	Main storage . . .	:	2048.0 MB	Started	:	12/13/00 11:53:31
Library	:	TRACESVT	System name . . .	:	ABSYSTEM	Version/Release . .	:	5/ 1.0	Stopped	:	12/13/00 11:53:54
Partition ID . .	:	00	Feature Code . . .	:	22A8-2252-1519						
Job Set	Pty	Number Jobs	Elapsed Seconds	CPU Seconds	Excp Wait	Sync Disk I/O	Async Disk I/O				
1	10	1	22.906		22.900						
2	10	1	22.906		22.900						
3	10	1	22.907		22.900						
4	10	1	22.907		22.900						
5	10	1	22.907		22.900						
6	10	1	22.907		22.900						
7	20	1	22.906		22.900						
8	20	1	22.906		22.900						
9	20	1	22.906		22.900						
10	20	1	22.906		22.900						
11	20	1	22.906		22.900						
12	20	1	22.906		22.900						
13	20	1	22.906		22.900						
14	20	1	22.906		22.900						
15	20	1	22.906		22.900						
16	20	1	22.906		22.900						
17	20	1	22.906		22.900						
18	20	1	22.906		22.900						
19	20	1	22.907		22.900						
20	20	1	22.907		22.900						
.											
.											

選択基準: ジョブ要約報告書の報告書選択基準のセクションには、報告書を作成するために選択した選択値が示されます。

報告書選択基準報告書の選択パラメーターを使用して、プール、ジョブ、ユーザー ID、または業務分野を選択してください。または、除外パラメーターを使用して、それらを除外してください。

選択パラメーターを使用しなかった場合は、「選択パラメーターが選択されていませんでした。」というメッセージが表示されます。

除外パラメーターが使用されていない場合は、「除外パラメーターが選択されていませんでした。」というメッセージが表示されます。

選択したオプションも示されます。

報告書のサンプル

```

Job Summary Report
Report Selection Criteria
Report type *SUMMARY
12/13/00 12:16:05
Page 0040
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . :12/13/00 11:53:54
Partition ID : 00 Feature Code . :22A8-2252-1519
Select Parameters
- No Select parameters were chosen.
Omit Parameters
- No Omit parameters were chosen.
Options Selected
- SS INCLUDE SPECIAL SUMMARY REPORTS

```

トランザクション報告書 - トランザクション報告書オプション

トランザクション報告書 (RPTTYPE(*TNSACT)) オプションは、ジョブで発生した各トランザクションについて以下の詳細情報を示します。

- トランザクション応答時間
- トランザクションが開始された時点で活動状態だったプログラムの名前
- 処理装置の使用時間
- 入出力要求の回数

トランザクション報告書の出力には、次の 2 つの部分があります。

- ジョブの各トランザクションのデータを示す詳細
- ジョブ全体の操作に関するデータを示す要約

報告書のサンプル

注: このトランザクション報告書は、スレッド活動を含む収集データについて実行しました。報告書の見出しには、ジョブが 2 次スレッドであるため、スレッド識別コードが示されています。

```

Transaction Report
Report type *TNSACT
12/13/00 12:03:40
Page 0001
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . :12/13/00 11:53:54
Job name . . : QPFRADJ User name . . . : QSYS Job number . . . : 008316 TDE/P1/Pty/Prg . : 01EC/02/00/
Partition ID : 00 Feature Code . :22A8-2252-1519
E T CPU ---- Physical I/O Counts ----- ***** Transaction Response Time (Sec/Tns) ***** -BMPL-
x y Sec ---- Synchronous ---- Async ***** - Activity Level Time - Inel Long C I Seize
c Program p Per DB DB NDB NDB Disk ***** Short Seize Time Wait u n Hold Key/
Time p Name e Tns Read Wrt Read Wrt Sum I/O ** Active Wait Cft A-I/W-I Lck/Oth r l Time Think
-----
11.53.31 QWCPMNR .001 1 1 2 0 .038 .038 1 .0
-----
J O B S U M M A R Y D A T A ( T O T A L S )
-----
Average .001 0 0 1 1 2 0 .038 .038 .000 .000 .000 .000 .0 .0
Count 1 1
Minimum .001 2 .038 .038 .0
Maximum .001 2 .038 .038 .0
Total/Job .001 2 0 22.907 Elapsed .0 Percent CPU Utilization

```

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

トランザクション報告書 - 移行報告書オプション

移行報告書 (RPTTYPE(*TRSIT)) オプションは、トランザクション報告書と同じような情報を提供しますが、ジョブのワークステーションへの入力の待機の際の状態の移行を示すだけでなく、各ジョブの状態の移行についてのデータ (たとえば、処理装置時間、入出力要求) が示されます。この報告書に示される明細により、移行時に実行されたプログラムを判別することや、満たされなかったロック要求がいつ起きたかを判別することができます。

移行報告書は、次の 2 つの部分から構成されます。

- ジョブの各状態の移行 (活動状態から不適格状態への移行など、ある状態から別の状態へ移ることを示す移行の明細)
- トランザクション報告書の要約出力と同じデータを示す要約

報告書のサンプル

注: この移行報告書は、スレッド活動を含む収集データについて実行しました。報告書の見出しには、ジョブが 2 次スレッドであるため、スレッド識別コードが示されています。

```

Transition Report
Report type *TRSIT
12/13/00 12:09:58
Page 0001
Member . . . : TRACESVT Model/Serial . . : 270/10-45WFM Main storage . . : 2048.0 MB Started . . . . :12/13/00 11:53:31
Library . . : TRACESVT System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 5/ 1.0 Stopped . . . . :12/13/00 11:53:54
Job name . . : SCPF User name . . . : QSYS Job number . . . : 000000 TDE/Pl/Pty/Prg . . : 0188/02/40/
Partition ID : 00 Feature Code . . :22A8-2252-1519
Job type . . : X Elapsed Time -- Seconds Sync/Async Phy I/O -MPL-
C I Last 4 Programs in Invocation Stack
Time State Wait Long Active Inel CPU DB DB NDB NDB u n
W A I Code Wait /Rsp* Wait Sec Read Wrt Read Wrt Tot r l Last Second Third Fourth
----- *TRACE ON
11.53.31.739 /OFF
11.53.54.645 *TRACE OFF
----- *TRACEOFF* .000* 0 0 0 0 0*
-----
J O B S U M M A R Y D A T A ( T O T A L S )
-----
CPU ---- Physical I/O Counts ----- ***** Transaction Response Time (Sec/Tns) ***** -BMPL-
Sec ---- Synchronous ----- Async ***** - Activity Level Time - Inel Long C I Seize
Per DB DB NDB NDB Disk **** * Short Seize Time Wait u n Hold Key/
Tns Read Wrt Read Wrt Sum I/O ** Active Wait Cft A-I/W-I Lck/Oth r l Time Think
Average .000 0 0 0 0 0 0 .000 .000 .000 .000 .000 .000 .0 .0
Count
Minimum
Maximum .0
Total/Job .000 0 0 22.907 Elapsed .0 Percent CPU Utilization

```

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

例: ロック報告書

ロック報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 38 ページの『ロック報告書 - 明細』
時刻によって分類された明細リストの例が示されています。13:33:00 と 13:34:00 の間に発生し、少なくとも 2 秒持続したロックだけを含めるように報告書オプションが選択されています。
- 38 ページの『ロック報告書 - 要約』
同じ報告書の要約ジョブ要約セクションの例が示されています。他の要約セクションも類似した形式です。

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

ロック報告書 - 明細

12/14/00 12:46:01 Seize/Lock Wait Statistics by Time of Day Page 1
Report type *ALL

TOD of Wait	Length of Wait	L	Requestor's Job Name	Holder's Job Name	Object Type	Object Name	Record Number
12.05.39	4264	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.41	6866	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.55	7858	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.57	8988	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait							12/14/00 12:46:01

Seize/Lock Wait Statistics by Requesting Job Page 2
Report type *ALL

TOD of Wait	Length of Wait	L	Requestor's Job Name	Holder's Job Name	Object Type	Object Name	Record Number
12.05.41	6866	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.57	8988	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.39	4264	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.55	7858	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait							

12/14/00 12:46:01 Seize/Lock Wait Statistics by Holding Job Page 3
Report type *ALL

TOD of Wait	Length of Wait	L	Requestor's Job Name	Holder's Job Name	Object Type	Object Name	Record Number
12.05.39	4264	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.55	7858	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.41	6866	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.57	8988	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait							

12/14/00 12:46:01 Seize/Lock Wait Statistics by Object Page 4
Report type *ALL

TOD of Wait	Length of Wait	L	Requestor's Job Name	Holder's Job Name	Object Type	Object Name	Record Number
12.05.39	4264	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.41	6866	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.55	7858	L	QPADEV0006 SUSTAITA	012538 QPADEV000R SUSTAITA	012535 PGM	QAVCPP QPFR	
12.05.57	8988	L	QPADEV000S SUSTAITA	012537 QPADEV0006 SUSTAITA	012538 PGM	QAVCPP QPFR	
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait							

ロック報告書 - 要約

12/14/00 12:46:01 Seize/Lock Wait Statistics Summary Page 5
Report type *ALL

Requestor's Job Name	Locks		Seizes	
	Count	Avg Length	Count	Avg Length
QPADEV000S SUSTAITA 012537	2	7,927		
QPADEV0006 SUSTAITA 012538	2	6,061		
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait				

12/14/00 12:46:01 Seize/Lock Wait Statistics Summary Page 6
Report type *ALL

Holder's Job Name	Locks		Seizes	
	Count	Avg Length	Count	Avg Length
QPADEV000R SUSTAITA 012535	2	6,061		
QPADEV0006 SUSTAITA 012538	2	7,927		
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait				

12/14/00 12:46:01 Seize/Lock Wait Statistics Summary Page 7
Report type *ALL

Object Type	Object Name	Locks		Seizes	
		Count	Avg Length	Count	Avg Length
PGM	QAVCPP QPFR	4	6,994		
Member LCKTRC1 Library TRACESVT Period from 00.00.00 through 23.59.59 500 ms minimum wait					

例: バッチ・ジョブ追跡報告書

以下の報告書のサンプルは、バッチ・ジョブ追跡報告書を示します。報告書のこのセクションには、追跡の回数、入出力操作の回数、占有およびロック競合の回数、および各バッチ・ジョブの状態変換の回数が見られます。

報告書のサンプル

```
Batch Job Trace Report                               9/05/98 14:15:10
Job Summary                                         Page 1
Sample Job Trace Report
Member . . . : Q981421246 Model/Serial . . : 500-2142/10-1803D Main storage . . : 128.0 M Started . . . : 05/22/98 12:47:35
Library . . : THREAD1 System name . . : ABSYSTEM Version/Release : 4/ 2.0 Stopped . . . : 05/22/98 12:52:38
Job Name      User      Job      -- Job --   Number CPU      --- Physical ---   Seize  --- State ---
Name          Name      Number  Pool  Type  Pty  Traces  Util      Sync   Async  Conflicts  A-A    A-I
-----
QPFMON      QPGMR      013842  02    B    0    5    11.7      604    235     0        1        0
-- Name of the job
User Name      -- User name
Job Number     -- Job number
Pool           -- Pool in which the job ran
Job Type       -- Job type and subtype
Job Pty        -- Priority of the job
Number Traces  -- Number of traces
CPU Util       -- Percentage of available CPU time used. This is the average of all processors
Physical I/O Count
  Sync         -- Number of synchronous I/O operations
  Async        -- Number of asynchronous I/O operations
Seize and Lock Conflicts -- Number of seize conflicts and lock waits
State Transitions A-A -- Number of active-to-active transitions
State Transitions A-I -- Number of active-to-ineligible transitions
```

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

例: ジョブ間隔報告書

ジョブ間隔報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 『ジョブ間隔報告書 - 対話式ジョブ要約』
- 40 ページの『ジョブ間隔報告書 - 非対話式ジョブ要約』
- 41 ページの『ジョブ間隔報告書 - 対話式ジョブ明細』
- 42 ページの『ジョブ間隔報告書 - 非対話式ジョブ明細』
- 43 ページの『ジョブ間隔報告書 - 選択基準』

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

ジョブ間隔報告書 - 対話式ジョブ要約

▶ ジョブ間隔報告書の対話式ジョブ要約セクションには、選択した各間隔に存在したすべての選択された対話式ジョブごとに 1 行 (間隔当り 1 行の合計) がリストされます。

このセクションに含まれる情報には、CPU 活動がゼロでないか、何らかの入出力活動がある有効な対話式ジョブのみが含まれます。報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- *CPU Util* 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。

報告書のサンプル

```

Job Interval Report
Interactive Job Summary
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
10/02/03 20:11:21
Page 1
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
Itv Act Tns Rsp/ ----- Number of I/O ----- Tns/ CPU PAG Perm Arith
End Jobs Count Tns DDM Sync Async Logical Cmn Hour Util Fault Write Ovrfl
-----
14:00 2 5 .01 0 61 20 1 0 300 .0 0 11 0
14:01 1 0 .00 0 0 0 0 0 0 .0 0 0 0
14:02 1 0 .00 0 29 23 0 0 0 .0 0 7 0
14:03 3 29 77.29 0 779 340 158 0 1,740 .4 0 472 0
14:04 2 9 .44 0 2815 218 3 0 549 2.6 0 379 0
14:05 3 1 .23 0 2227 138 32 0 60 2.2 0 295 0
14:06 1 0 .00 0 1718 551 175 0 0 1.6 0 1052 0
14:07 1 0 .00 0 1989 754 219 0 0 2.3 0 1522 0
14:08 1 0 .00 0 1477 530 177 0 0 1.9 0 1133 0
14:09 1 0 .00 0 1985 756 228 0 0 2.5 0 1512 0
14:10 1 0 .00 0 2225 869 264 0 0 2.1 0 1722 0
14:11 1 0 .00 0 2309 882 269 0 0 2.3 0 1775 0
14:12 1 0 .00 0 2102 747 266 0 0 2.1 0 1586 0
14:13 1 0 .00 0 2276 860 271 0 0 2.4 0 1752 0
14:14 2 10 .06 0 1472 589 68 0 600 1.0 0 955 0
14:15 1 0 .00 0 0 0 0 0 0 .0 0 0 0
14:16 1 0 .00 0 2831 1657 7498 0 0 6.4 0 1669 0
14:17 1 0 .00 0 2567 1982 18192 0 0 11.5 0 2068 0
14:18 1 1 834.44 0 106 24 1 0 60 .0 0 67 0
14:21 1 2 .77 0 65 0 0 0 120 .0 0 0 0
14:25 1 1 .07 0 5 0 0 0 60 .0 0 0 0
14:26 2 78 .03 0 397 262 0 0 4,680 .1 0 0 0
14:27 1 20 .14 0 399 264 0 0 1,200 .0 0 1 0
14:28 2 63 .01 0 24 0 0 0 3,780 .0 0 0 0
14:29 2 3 2.16 0 541 227 0 0 183 .1 0 333 0
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Act Jobs -- Number of active jobs in the interval
Tns Count -- Number of transactions
Rsp/Tns -- Average response time (seconds)
DDM -- Number of logical DB I/O operations for DDM server jobs
Sync -- Number of synchronous disk I/O operations
Async -- Number of asynchronous disk I/O operations
Logical -- Number of logical disk I/O operations
Cmn -- Number of communications I/O operations
Tns/Hour -- Average number of transactions per hour
CPU Util -- Percentage of available CPU time used. This is the average of all processors
PAG Fault -- Number of faults involving the Process Access Group
Perm Write -- Number of permanent writes
Arith Ovrfl -- Number of arithmetic overflow exceptions

```



ジョブ間隔報告書 - 非対話式ジョブ要約

ジョブ間隔報告書の非対話式ジョブ要約セクションには、選択した各間隔に存在したすべての選択された非対話式ジョブごとに 1 行 (間隔当たり 1 行の合計) がリストされます。

このセクションに組み込まれた情報には、CPU 活動がゼロでないか、何らかの入出力活動がある有効な非対話式ジョブのみが含まれます。報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- *CPU Util* 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。

報告書のサンプル

```

Job Interval Report
Non-Interactive Job Summary
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
10/02/03 20:11:21
Page 4
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
Itv Act CPU ----- Number of I/O Per Second ----- -- CPU/ I/O --- Line Page PAG Perm Arith
End Jobs Util Sync Async Logical Cmn Sync Async Count Count Fault Write Ovrfl
-----

```

14:00	1,634	96.2	97.5	74.0	888.5	.0	39	51	522	10	0	5,232	0
14:01	1,618	98.6	192.8	173.9	724.3	.0	20	22	576	11	0	10,615	2
14:02	1,620	98.5	228.7	217.5	867.9	.0	17	18	444	11	0	12,672	0
14:03	1,628	94.0	174.3	177.9	912.4	.0	21	21	726	14	0	9,609	0
14:04	1,616	93.6	123.5	92.1	1250.9	.0	30	40	479	7	0	6,664	0
14:05	1,631	97.0	74.0	51.3	624.4	.0	52	75	522	10	0	3,680	0
14:06	1,604	97.0	87.6	68.4	621.5	.0	44	56	591	13	0	4,740	0
14:07	1,622	93.7	144.7	108.7	997.6	.0	25	34	632	14	0	7,507	0
14:08	1,616	96.3	92.6	87.9	720.2	.0	41	43	523	10	0	5,247	0
14:09	1,631	95.0	388.9	287.8	1014.2	.0	9	13	3,005	76	0	17,536	0
14:10	1,612	95.6	360.4	363.8	849.8	.0	10	10	838	18	0	19,222	0
14:11	1,615	94.9	467.8	498.8	913.2	.0	8	7	522	10	0	25,912	0
14:12	1,619	96.0	303.1	323.3	669.0	.0	12	11	577	9	0	16,788	0
14:13	1,620	94.6	497.3	524.7	903.5	.0	7	7	631	14	0	27,895	0
14:14	1,614	96.0	333.0	368.9	987.9	.0	11	10	524	11	0	18,309	0
14:15	1,627	96.0	258.3	263.8	1042.6	.0	14	14	722	15	0	13,502	0
14:16	1,614	91.5	424.4	456.4	789.8	.0	8	8	485	10	0	23,855	0
14:17	1,578	86.0	460.3	502.1	800.9	.0	7	6	520	10	0	25,618	0
14:18	1,623	94.5	404.5	422.0	1237.5	.0	9	8	586	11	0	22,166	0
14:19	1,617	96.0	63.0	60.9	638.4	.0	60	63	480	9	0	3,461	0
14:20	1,612	98.4	19.5	16.6	315.2	.0	201	236	522	8	0	985	0
14:21	1,619	87.2	48.6	29.8	318.8	.0	71	117	493	10	0	2,020	0
14:22	1,621	96.1	435.5	429.6	1026.5	.0	8	8	586	12	0	22,950	0
14:23	1,620	97.9	337.1	347.5	759.4	.0	11	11	477	9	0	18,888	0
14:24	1,624	91.5	161.4	161.3	769.4	.0	22	22	610	14	0	8,667	0
Itv End	-- Interval end time (hour and minute)												
Act Jobs	-- Number of jobs that were active during the interval												
CPU Util	-- Percentage of available CPU time used. This is the average of all processors												
Sync I/O Per Second	-- Average number of synchronous disk I/O operations per second												
Async I/O Per Second	-- Average number of asynchronous disk I/O operations per second												
Logical I/O Per Second	-- Average number of logical disk I/O operations per second												
Cmn I/O Per Second	-- Average number of communications I/O operations per second												
CPU/ Sync I/O	-- Avg number of CPU milliseconds per synchronous disk I/O operation												
CPU/ Async I/O	-- Avg number of CPU milliseconds per asynchronous disk I/O operation												
Line Count	-- Number of lines printed												
Page Count	-- Number of pages printed												
PAG Fault	-- Number of faults involving the Process Access Group												
Perm Write	-- Number of permanent writes												
Arith Ovrflw	-- Number of arithmetic overflow exceptions												



ジョブ間隔報告書 - 対話式ジョブ明細

ジョブ間隔報告書の対話式ジョブ明細セクションには、間隔およびジョブ別の詳細な情報が示されます。選択した各間隔に存在した選択された各対話式ジョブごとに 1 行 (一般に、間隔ごとに複数行) が印刷されます。報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- *CPU Util* 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。
- 新規の欄として *Current User* が追加され、各間隔の最後でジョブが実行していたユーザーの名前を表示します。

報告書のサンプル

Job Interval Report														10/02/03 20:11:21						
Interactive Job Detail														Page 8						
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min																				
Member	Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F			Main storage . . . : 56.4 GB			Started			10/02/03 14:00:00										
Library	PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM			Version/Release . . : 5/3.0			Stopped			10/02/03 16:00:00										
Partition ID : 003	Feature Code . . : 7427-2498-7427																			
Itv End	Job Name	User Name/ Thread	Job Number	Current User	P	t	TNS	Rsp	CPU	----- Physical I/O Per Transaction -----				SYNC						
					PL	y	/HR	/Tns	/Tns	DBR	DBW	NDBR	NDBW	DBR	DBW	NDBR	NDBW	Util	I/O /Sec	
14:00	QPADEV002W	FRY	955881	FRY	3	20	0	.00	.0000	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	1.0
14:00	QPADEV006S	CHEVURU	955956	CHEVURU	3	20	300	.01	.0040	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
14:01	QPADEV002W	FRY	955881	FRY	3	20	0	.00	.0000	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
14:02	QPADEV002W	FRY	955881	FRY	3	20	0	.00	.0000	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.4
14:03	QPADEV001P	PST	955783	PST	3	01	180	.06	.0600	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0
14:03	QPADEV002W	FRY	955881	FRY	3	20	1260	106.43	.0370	1.0	4.0	7.6	7.3	.2	8.4	.3	6.1	.3	12.0	.9
14:03	QPADEV0031	FRY	956238	FRY	3	20	300	1.21	.0030	.0	.0	.2	7.0	.0	.0	.0	.0	3.8	.0	.9
14:04	QPADEV002W	FRY	955881	FRY	3	20	122	.00	3.1060	155.5	5.0	999.9	108.0	13.0	14.0	.0	29.0	2.6	44.6	.0
14:04	QPADEV0031	FRY	956238	FRY	3	20	427	.56	.0080	.0	.0	4.4	6.0	.0	.0	.0	15.1	.0	3.0	.0
14:05	QPADEV002W	FRY	955881	QNOTES	3	20	0	.00	.0000	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	2.2	36.9
14:04	QPADEV0031	FRY	956238	FRY	3	20	0	.00	.0000	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	3.6
14:05	QPADEV004B	V2KEA524	956014	V2KEA524	3	20	60	.23	.0910	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0	.0

```

14:06 QPADEV002W FRY      955881 QNOTES      3 20  0 .00 .0000 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 1.6 28.6
14:07 QPADEV002W FRY      955881 QNOTES      3 20  0 .00 .0000 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 2.3 33.1
14:08 QPADEV002W FRY      955881 QNOTES      3 20  0 .00 .0000 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 .0 1.9 24.6
Itv End                    -- Interval end time (hour and minute)
Job Name                    -- Job name
User Name/Thread            -- User name or secondary thread identifier
Job Number                  -- Job number
Current User                -- User name under which the job was running at the end of the interval
PL                           -- Pool in which the job ran
Pty                           -- Priority of the job
TNS/HR                      -- Average number of transactions per hour
Rsp/Tns                     -- Average response time (seconds)
CPU/Tns                     -- Average number of CPU seconds per transaction
Physical I/O per Trans      -- Average physical disk I/O per transaction
  Synchronous DBR           -- Average synchronous data base reads per transaction
  Synchronous DBW           -- Average synchronous data base writes per transaction
  Synchronous NDBR         -- Average synchronous non-data base reads per transaction
  Synchronous NDBW         -- Average synchronous non-data base writes per transaction
  Asynchronous DBR         -- Average asynchronous data base reads per transaction
  Asynchronous DBW         -- Average asynchronous data base writes per transaction
  Asynchronous NDBR       -- Average asynchronous non-data base reads per transaction
  Asynchronous NDBW       -- Average asynchronous non-data base writes per transaction
CPU Util                    -- Percentage of available CPU time used. This is the average of all processors
Sync I/O /Sec              -- Average number of synchronous disk I/O operations per second

```



ジョブ間隔報告書 - 非対話式ジョブ明細

ジョブ間隔報告書の非対話式ジョブ明細セクションには、間隔およびジョブ別の詳細な情報が示されます。選択した各間隔に存在した選択された非対話式ジョブごとに 1 行 (一般に、間隔ごとに複数行) が印刷されます。報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- *CPU Util* 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。
- 新規の欄として *Current User* が追加され、各間隔の最後でジョブが実行していたユーザーの名前を表示します。

報告書のサンプル

```

Job Interval Report
Non-Interactive Job Detail
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . : 7427-2498-7427
Itv Job User Name/ Job Current Elapsed CPU --- Nbr I/O /Sec --- -- CPU / I/O --- --- Printer ---
End Name Thread Number User Pool Type Pty Time Util Sync Async Lgl Sync Async Lines Pages
-----
14:00 ADMIN QTMHHTTP 955725 QTMHHTTP 2 B 25 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 ADMIN QTMHHTTP 955727 QTMHHTTP 2 BD 25 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQPCSEA QMQM 955757 QMQM 2 B 35 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQRMPPA QMQM 955773 QMQM 2 B 35 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQRRMFA QMQM 955752 QMQM 2 B 35 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQZDMAA QMQM 955753 QMQM 2 B 35 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQZLAA0 QMQM 955755 QMQM 2 B 20 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQZLAA0 QMQM 955774 QMQM 2 B 20 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 AMQZXMA0 QMQM 955749 QMQM 2 B 20 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953645 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953647 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953648 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953649 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953650 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953651 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953652 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953653 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953654 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953655 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953656 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953657 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953658 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953659 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953660 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
14:00 CPUTEST WLCPU 953662 WLCPU 2 B 51 1:00 .00 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0
Itv End                    -- Interval end time (hour and minute)
Job Name                    -- Job name
User Name/Thread            -- User name or secondary thread identifier
Job Number                  -- Job number
Current User                -- User name under which the job was running at the end of the interval

```



```

Pool          -- Pool in which the job ran
Type         -- Type and subtype of the job
Pty          -- Priority of the job
Elapsed Time  -- Elapsed time for job during interval (minutes and seconds)
CPU Util     -- Percentage of available CPU time used. This is the average of all processors
Sync I/O /Sec -- Average number of synchronous disk I/O operations per second
Async I/O /Sec -- Average number of asynchronous disk I/O operations per second
Lgl I/O /Sec  -- Average number of logical disk I/O operations per second
CPU/ Sync I/O -- Avg number of CPU milliseconds per synchronous disk I/O operation
CPU/ Async I/O -- Avg number of CPU milliseconds per asynchronous disk I/O operation
Printer Lines -- Number of lines printed
Printer Pages -- Number of pages printed

```



ジョブ間隔報告書 - 選択基準

ジョブ間隔報告書の報告書選択基準セクションには、報告書を作成するのに選択する選択項目の値が示されます。

報告書のサンプル

```

Select Parameters

Pools          - 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16

Jobs           - 012345/Useridwxyz/Jobname123 00000005
                987654/Useridabcd/Jobname456 *ALL

User IDs       - User1      User2      User3      User4      User5      User6
                User7      User8      User9      User10     User11     User12

Subsystems     - Subsystem1 Subsystem2 Subsystem3 Subsystem4 Subsystem5 Subsystem6
                Subsystem7 Subsystem8 Subsystem9 Subsystema Subsystemb Subsystemc

Communications Lines - Line1      Line2      Line3      Line4      Line5      Line6
                Line7      Line8      Line9      Line10     Line11     Line12

Control Units  - Ctlr1      Ctlr2      Ctlr3      Ctlr4      Ctlr5      Ctlr6
                Ctlr7      Ctlr8      Ctlr9      Ctlr10     Ctlr11     Ctlr12

Functional Areas - Accounting      Payroll      Research
                Development      ProjectX      MrNolansStaff

- No Select parameters were chosen.

Omit Parameters

Pools          - 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16

Jobs           - 012345/Useridwxyz/Jobname123 00000005
                987654/Useridabcd/Jobname456 *ALL

User IDs       - User1      User2      User3      User4      User5      User6
                nnnnnn     User8      User9      User10     User11     User12

Subsystems     - Subsystem1 Subsystem2 Subsystem3 Subsystem4 Subsystem5 Subsystem6
                Subsystem7 Subsystem8 Subsystem9 Subsystema Subsystemb Subsystemc

Communications Lines - Line1      Line2      Line3      Line4      Line5      Line6
                Line7      Line8      Line9      Line10     Line11     Line12

Control Units  - Ctlr1      Ctlr2      Ctlr3      Ctlr4      Ctlr5      Ctlr6
                Ctlr7      Ctlr8      Ctlr9      Ctlr10     Ctlr11     Ctlr12

Functional Areas - Accounting      Payroll      Research

```

- No Omit parameters were chosen.

例: プール間隔報告書

プール間隔報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 『プール間隔報告書 - サブシステム活動』
- 45 ページの『プール間隔報告書 - プール活動』

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

プール間隔報告書 - サブシステム活動

▶ プール間隔報告書のサブシステム活動セクションには、選択された各間隔のサブシステムのパフォーマンス情報が示されます。選択された各間隔に存在していたサブシステムおよび活動プールの組み合わせごとに、1 行が印刷されます。報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- CPU Util* 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。

報告書のサンプル

```

Pool Interval Report
Subsystem Activity
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
----- Physical I/O per Transaction ----- Job Maximums -----
Itv End Subsystem Name PL CPU Util Tns Synchronous DBR DBW NDBR DBR DBW NDBR DBW Util Phy I/O Tns Rsp A-W W-I A-I
14:00 QEJBAS5 2 .1 0 .1 18 0 .00 1,220 0 0
14:00 QHTTSPVR 2 .0 0 .0 1 0 .00 670 0 0
14:00 QINTER 3 .2 5 .4 1.0 6.6 .4 2.4 .2 3.2 .1 81 5 .01 18,058 0 0
14:00 QMQM 2 .0 0 .0 0 0 .00 272 0 0
14:00 QSYSWRK 2 91.3 0 11.2 295 0 .00 6,500 0 0
14:00 QUSRWRK 2 .1 0 .1 0 0 .00 6 0 0
14:00 SWAMP 2 1.0 0 .0 122 0 .00 8 0 0
14:00 ZCPUSBS 2 3.2 0 .0 0 0 .00 36 0 0
14:01 QBATCH 2 .0 0 .2 32 0 .00 3 0 0
14:01 QEJBAS5 2 4.2 0 4.2 2,118 0 .00 14,179 0 0
14:01 QHTTSPVR 2 .2 0 .1 1 0 .00 752 0 0
14:01 QINTER 3 .2 0 .1 14 0 .00 18,589 0 0
14:01 QMQM 2 .0 0 .0 0 0 .00 277 0 0
14:01 QSYSWRK 2 90.1 0 12.2 1,840 0 .00 2,399 0 0
14:01 QUSRWRK 2 .1 0 .1 0 0 .00 6 0 0
14:01 SWAMP 2 1.0 0 .0 129 0 .00 8 0 0
14:01 ZCPUSBS 2 2.5 0 .0 1 0 .00 29 0 0
14:02 QBATCH 2 .1 0 .4 62 0 .00 81 0 0
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Subsystem Name -- Subsystem name
PL -- Pool in which the jobs in the subsystem ran
CPU Util -- Average CPU utilization by the transactions in the subsystem. This is the average of all processors
Tns -- Number of transactions in the subsystem
Physical I/O per Trans -- Average physical disk I/O operations per transaction
Synchronous DBR -- Average synchronous data base reads per transaction
Synchronous DBW -- Average synchronous data base writes per transaction
Synchronous NDBR -- Average synchronous non-data base reads per transaction
Synchronous NDBW -- Average synchronous non-data base writes per transaction
Asynchronous DBR -- Average asynchronous data base reads per transaction
Asynchronous DBW -- Average asynchronous data base writes per transaction
Asynchronous NDBR -- Average asynchronous non-data base reads per transaction
Asynchronous NDBW -- Average asynchronous non-data base writes per transaction
Job Maximums -- Maximum values by a job in the subsystem
CPU Util -- Highest percentage CPU utilization

```

```

Phy I/O      -- Most physical disk I/O requests
Tns          -- Most transactions
Rsp         -- Highest average response time (seconds)
A-W         -- Most active-to-wait transitions
W-I         -- Most wait-to-ineligible transitions
A-I         -- Most active-to-ineligible transitions

```



プール間隔報告書 - プール活動

▶ プール間隔報告書のプール活動セクションには、さまざまな時間間隔での記憶域プールのパフォーマンス情報が示されます。選択された間隔に存在していた活動プールごとに 1 行が印刷されます。報告書のこのセクションへの変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- *CPU Util* 欄の幅が、99.9 より大きい CPU 使用率の値を表示できるようになりました。

報告書のサンプル

```

Pool Interval Report
Pool Activity
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
----- Physical I/O per Transaction ----- Job Maximums -----
Itv End PL Act Lvl Size (K) CPU Util Tns DBR DBW NDBR NDBW DBR DBW NDBR NDBW Util Phy I/O Tns Rsp A-W W-I A-I
-----
14:00 2 1628 11831140 96.0 0
14:00 3 2639 43332072 .2 5 .4 1.0 6.6 .4 2.4 .2 3.2 11.2 295 0 .00 6,500 0 0
14:01 2 1628 12422700 98.4 0 12.2 2118 0 .00 14,179 0 0
14:01 3 2639 42806568 .2 0 .1 14 0 .00 18,589 0 0
14:02 2 1628 13043840 98.3 0 13.3 1767 0 .00 19,400 0 0
14:02 3 2639 42250164 .2 0 .1 52 0 .00 17,476 0 0
14:03 2 1628 13043844 93.7 0 14.7 803 0 .00 18,515 0 0
14:03 3 2639 42091564 .6 29 .7 2.9 5.5 6.5 .2 6.3 .2 5.1 .3 1045 21 106.43 19,496 0 0
14:04 2 1628 13696040 93.4 0 16.5 695 0 .00 10,208 0 0
14:04 3 2639 41505980 2.8 9 34.5 1.1 227.2 28.6 2.8 4.1 18.2 2.6 2748 7 .56 19,809 0 0
14:05 2 1628 12326440 96.8 0 11.6 1233 0 .00 2,081 0 0
14:05 3 2639 42940860 2.4 1 33.0 20.0 999.9 189.0 6.0 50.0 91.0 2.2 2353 1 .23 17,395 0 0
14:06 2 1628 12326440 96.8 0 12.5 429 0 .00 1,693 0 0
14:06 3 2639 42940860 1.8 0 1.6 2269 0 .00 16,989 0 0
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
PL -- Pool identifier
Act Lvl -- Activity level of the pool
Size (K) -- Size of the pool (kilobytes)
CPU Util -- Average CPU utilization by the transactions in the pool. This is the average of all processors
Tns -- Number of transactions in the pool
Physical I/O per Trans -- Average physical disk I/O operations per transaction in the pool
Synchronous DBR -- Average synchronous data base reads per transaction
Synchronous DBW -- Average synchronous data base writes per transaction
Synchronous NDBR -- Average synchronous non-data base reads per transaction
Synchronous NDBW -- Average synchronous non-data base writes per transaction
Asynchronous DBR -- Average asynchronous data base reads per transaction
Asynchronous DBW -- Average asynchronous data base writes per transaction
Asynchronous NDBR -- Average asynchronous non-data base reads per transaction
Asynchronous NDBW -- Average asynchronous non-data base writes per transaction
Job Maximums -- Maximum values by a job in the pool
CPU Util -- Highest percentage CPU utilization
Phy I/O -- Most physical disk I/O requests
Tns -- Most transactions
Rsp -- Highest average response time (seconds)
A-W -- Most active-to-wait transitions
W-I -- Most wait-to-ineligible transitions
A-I -- Most active-to-ineligible transitions

```



例: リソース間隔報告書

ジョブ間隔報告書の各セクションのサンプルを見るには、以下を参照してください。

- 『リソース間隔報告書 - ディスク使用率要約』
- 47 ページの『リソース間隔報告書: - ディスク使用率明細』
- 48 ページの『リソース間隔報告書 - 通信回線明細』
- 54 ページの『リソース間隔報告書 - IOP 使用率』
- 55 ページの『リソース間隔報告書 - ローカル・ワークステーション応答時間』
- 56 ページの『リソース間隔報告書 - 遠隔ワークステーション応答時間』

関連情報

- 56 ページの『パフォーマンス報告書の見出し』のページでは、報告書の見出し情報の定義を示します。
- 58 ページの『パフォーマンス報告書の欄』のページでは、報告書中の各列見出しの定義をアルファベット順でリストします。

リソース間隔報告書 - ディスク使用率要約

リソース間隔報告書のディスク使用率要約セクションには、時間間隔別の詳細なディスク情報が示されます。

情報は、システムに構成されたすべてのディスク・アームに対して示されます。また、各時間間隔ごとに使用率が最大のディスク・アームおよび平均シーク時間が最大のディスク・アームが示されます。ディスク・アーム使用率が一貫してしきい値以上である場合は、システム・パフォーマンスに影響が生じ、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。このリリースでは、ヘッダーの *Partition ID* フィールドが 255 まで数を表示できるようになりました。

報告書のサンプル

Resource Interval Report											10/03/03 12:42:33
Disk Utilization Summary											Page 1
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min											
Member	Q275140000	Model/Serial . . .	890/10-3907F	Main storage . . .	56.4 GB	Started	10/02/03 14:00:00				
Library	PTLIBV5R3	System name . . .	ABSYSTEM	Version/Release . . .	5/3.0	Stopped	10/02/03 16:00:00				
Partition ID : 003		Feature Code . . .	7427-2498-7427								
Itv	Average	Average	Average	Average	Avg	High	High	High	High	Disk	
End	I/O /Sec	Reads /Sec	Writes /Sec	K Per I/O	Util	Util	Unit	Srv Time	Unit	Space Used	
14:00	191.2	7.4	183.7	6.9	.6	1.8	0011	.0046	0010	370,827	
14:05	202.4	24.9	177.4	8.3	1.0	2.6	0030	.0059	0010	370,958	
14:10	286.9	41.4	245.4	9.0	1.9	3.5	0006	.0060	0019	371,064	
14:15	526.0	44.2	481.7	25.8	14.0	21.6	0033	.0324	0032	372,792	
14:20	344.7	15.0	329.6	5.8	1.0	2.1	0033	.0051	0032	372,875	
14:25	285.1	18.4	266.6	5.8	.9	2.8	0019	.0035	0021	372,943	
14:30	131.8	29.4	102.4	13.0	.8	1.6	0011	.0065	0014	373,014	
14:35	561.9	11.6	550.2	5.3	1.0	2.5	0009	.0023	0013	373,026	
14:40	583.1	34.7	548.4	5.6	1.4	3.1	0027	.0031	0013	373,095	
14:45	257.0	9.0	248.0	6.6	.6	1.5	0005	.0035	0031	373,351	
14:50	216.9	9.1	207.7	7.2	.7	1.8	0027	.0052	0031	373,355	
14:55	155.8	7.9	147.8	7.9	.4	1.1	0027	.0040	0007	373,347	
15:00	238.0	13.0	224.9	7.0	.7	1.5	0012	.0049	0032	373,355	
15:05	187.2	3.7	183.4	6.4	.5	1.5	0024	.0068	0036	373,458	
15:10	127.1	23.0	104.0	7.9	.4	2.0	0024	.0050	0036	373,505	
15:15	107.6	6.2	101.4	8.4	.3	1.5	0006	.0072	0036	373,613	
15:20	329.5	6.7	322.7	5.5	.6	2.5	0023	.0034	0032	373,564	
15:25	259.3	6.3	252.9	6.3	.7	1.8	0030	.0050	0031	373,634	
15:30	457.7	6.7	450.9	5.3	.9	2.6	0025	.0054	0001	373,757	
15:35	286.2	6.6	279.5	6.3	.6	1.5	0010	.0019	0017	373,725	
15:40	536.7	7.7	529.0	5.2	1.2	3.2	0014	.0043	0032	373,785	
15:45	273.8	5.0	268.7	5.8	.6	1.5	0030	.0062	0032	373,843	
15:50	145.9	4.0	141.9	7.6	.4	1.3	0021	.0057	0026	373,875	
15:55	611.2	10.2	600.9	5.1	1.1	4.3	0014	.0032	0037	373,880	
16:00	273.0	4.0	269.0	5.9	.6	1.6	0014	.0050	0037	373,844	
Average:	303.1	14.3	288.8	7.6	1.3						
Itv End											

```

Average Phys I/O /Sec -- Average number of physical I/O operations per second
Average Reads / Sec  -- Average number of physical reads per second
Average Writes /Sec  -- Average number of physical writes per second
Average K Per I/O    -- Average number of kilobytes (1024) per I/O operation
Avg Util             -- Average percent utilization of all disk arms
High Util            -- Highest percent utilization for a disk arm
High Util Unit       -- Disk arm with the highest utilization percent
High Srv Time        -- Highest average service time in seconds
High Srv Unit        -- Disk arm with the highest service time
Disk Space Used      -- Total disk space used in millions of bytes

```



リソース間隔報告書： - ディスク使用率明細

リソース間隔報告書のディスク使用率明細セクションには、選択された時間間隔の詳細なディスク情報が示されます。

情報は、システムに構成されたディスク・アームごとに示されます。ディスク・アーム使用率が一貫してしきい値以上である場合は、システム・パフォーマンスに影響が生じ、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。報告書への変更には、以下のものがあります。

- ヘッダーの *Partition ID* フィールドは、255 まで数を表示できるようになりました。
- *Unit* 欄の隣に正符号 (+) が表示されている場合、マルチパス・ディスク装置を示します。
- 新規の欄 *ASP Rsc Name* が追加され、収集時にディスク装置が割り振られた先の *ASP* 資源名を識別します。

報告書のサンプル

```

Resource Interval Report
Disk Utilization Detail
Multipath disk data
10/03/03 15:24:49
Page 3
Member . . . : Q119115948 Model/Serial . . : 840/10-3AGHM Main storage . . : 1024.0 GB Started . . . : 04/29/03 11:59:48
Library . . : MPLIB System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 04/30/03 00:00:00
Partition ID : 001 Feature Code . . : 23FE-2420-1546
IOP Name/ ASP Rsc ASP Itv ----- I/O Per Second ----- K Per Dsk CPU Queue Avg Time Per I/O
Unit (Model) Name Id End Total Reads Writes I/O Util Util Length Service Wait
-----
+ 0004 CMB08 (2105) 5 12:15 .000 .000 .000 .0 11.4 .0 .00 .0000 .0000
12:15 .000 .000 .000 .0 9.0 .0 .00 .0000 .0000
12:15 .000 .000 .000 .0 21.0 .0 .00 .0000 .0000
12:30 .000 .000 .000 .0 6.7 .0 .00 .0000 .0000
12:30 .000 .000 .000 .0 6.7 .0 .00 .0000 .0000
12:30 .000 .000 .000 .0 6.7 .0 .00 .0000 .0000
12:45 .000 .000 .000 .0 9.0 .0 .00 .0000 .0000
12:45 .000 .000 .000 .0 9.0 .0 .00 .0000 .0000
12:45 .000 .000 .000 .0 6.6 .1 .00 .0000 .0000
13:00 .000 .000 .000 .0 16.2 .0 .00 .0000 .0000
13:00 .000 .000 .000 .0 13.8 .0 .00 .0000 .0000
13:00 .000 .000 .000 .0 9.0 .1 .00 .0000 .0000
13:15 .000 .000 .000 .0 11.4 .0 .00 .0000 .0000
13:15 .000 .000 .000 .0 9.0 .0 .00 .0000 .0000
13:15 .000 .000 .000 .0 6.6 .0 .00 .0000 .0000
13:30 .000 .000 .000 .0 9.2 .0 .00 .0000 .0000
13:30 .000 .000 .000 .0 6.8 .0 .00 .0000 .0000
Unit -- Disk arm identifier
IOP Name/ -- Input/Output processor resource name and
(Model) -- model number of the attached device
ASP Rsc Name -- ASP resource name to which the disk unit was
allocated at collection time
ASP ID -- Auxiliary storage pool number
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
I/O /Sec -- Average number of I/O operations per second
Reads Per Second -- Average number of reads per second
Writes Per Sec -- Average number of writes per second
K Per I/O -- Average number of kilobytes (1024) per I/O operation
Dsk CPU Util -- Percentage of Disk CPU Utilization
Util -- Average percent of time disk was used (busy)
Queue Length -- Average length of waiting queue
Average Service Time -- Average disk service time per I/O operation
Average Wait Time -- Average disk wait time per I/O operation
+ Multipath disk unit.

```



リソース間隔報告書 - 通信回線明細

リソース間隔報告書の通信回線明細セクションには、指定のメンバーにパフォーマンス・データが収集された時点の回線活動に関する情報が含まれます。明細セクションは、データが収集された回線で使用されていた各プロトコルごとに作成されます。これらの通信プロトコルについては、以下に示す詳細なセクションのサンプルを参照してください。

注: 該当する特定のプロトコルを使用する通信回線がある場合にのみ、該当のセクションが示されます。

- 『SDLC プロトコル』
- 『X.25 プロトコル』
- 49 ページの『TRLAN プロトコル』
- 50 ページの『ELAN プロトコル』
- 50 ページの『DDI プロトコル』
- 51 ページの『FRLY プロトコル』
- 51 ページの『ASYNC プロトコル』
- 52 ページの『BSC プロトコル』
- 52 ページの『ISDN ネットワーク・インターフェース』
- 53 ページの『ISDN のネットワーク・インターフェース・メンテナンス・チャンネル』
- 53 ページの『IDLC プロトコル』

SDLC プロトコル

同期データ・リンク制御 (SDLC) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。この例では、データがデータ収集間隔終了時刻によって分類されています。

報告書のサンプル

```
Resource Interval Report                                09/18/98 14:06:00
Communications Line Detail                             Page 3
Sample Resource Interval Report
Member . . . : PMISTGA1 Model/Serial . . : 500-2142/10-1803D Main storage . . : 128.0 M Started . . . : 08/11/98 13:09:04
Library . . . : PM42CRT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 4/2.0 Stopped . . . : 08/11/98 13:38:40
PROTOCOL = SDLC (SORT BY INTERVAL)
```

Itr End	IOP Name/ Line	Line Speed	Line Util	Bytes Trnsmitd Per Sec	Total I Frames Trnsmitd	Percent	Bytes Recd Per Sec	Total Frames Recd	Percent	Pct Poll Retry Time	-- Congestion --	
						I Frames Trnsmitd in Error			Frames Received in Error		Local Not Ready	Remote Not Ready
CC09 (2609)												
13:14	PMSD1	19.2	4.6	49	322	0	62	2,909	0	0	0	0
13:19	PMSD1	19.2	4.4	47	301	0	60	2,943	0	0	0	0
13:24	PMSD1	19.2	5.4	56	399	0	73	2,889	0	0	0	0
13:29	PMSD1	19.2	4.0	52	159	0	45	3,029	0	0	0	0
13:34	PMSD1	19.2	4.1	54	131	0	43	3,074	0	0	0	0
13:38	PMSD1	19.2	5.9	81	206	0	61	2,762	0	0	0	0
CC13 (2609)												
13:14	PMSD2	19.2	4.6	63	160	0	49	3,044	0	0	0	0
13:19	PMSD2	19.2	4.4	60	151	0	47	3,072	0	0	0	0
13:24	PMSD2	19.2	5.4	73	200	0	56	3,055	0	0	0	0
13:29	PMSD2	19.2	4.0	45	226	0	52	2,971	0	0	0	0
13:34	PMSD2	19.2	4.1	43	263	0	55	2,966	0	0	0	0
13:38	PMSD2	19.2	5.9	61	411	0	80	2,587	0	0	0	0

X.25 プロトコル

X.25 プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

```
Resource Interval Report                                10/03/03 12:42:33
Communications Line Detail                             Page 28
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
```

Partition ID : 003 Feature Code . : 7427-2498-7427
 PROTOCOL = X.25 (SORT BY INTERVAL)

Itv End	IOP Name/Line	Line Speed	Transmit/Receive/Average Line Util	Bytes Trnsmitd Per Sec	Total I Frames Trnsmitd	Percent I Frames Trnsmitd In Error	Bytes Recd Per Sec	Total Frames Recd	Percent Frames Recd In Err	-----Reset----- -----Packets----- Trnsmitd Recd
CMB07 (2742)										
14:00	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:00	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:01	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:01	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:02	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:02	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:03	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:03	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:04	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:04	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:05	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:05	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:06	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:06	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:07	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:07	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:08	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	20	0	0 0
14:08	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:09	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:09	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:10	DPNX25C	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
14:10	DPNX25B	64.0	00/00/00	0	0	0	1	19	0	0 0
Itv End	-- End time of the data collection interval or time vary off occurred									
IOP Name/Line	-- IOP resource name and model number, Line ID									
Line Speed	-- Line speed (1000 bits per second)									
Transmit/Receive/Average Line Util	-- In full duplex mode, the percent of transmit line capacity used, the percent of receive line capacity used, and the average of transmit/receive capacity									
Bytes Trnsmitd Per Sec	-- Average number of bytes transmitted per second									
Total I Frames	-- Number of I frames transmitted									
Percent I Frames Trnsmitd In Error	-- Percent I frames transmitted in error									
Bytes Recd Per Sec	-- Average number of bytes received per second									
Total Frames Recd	-- Number of frames received									
Percent Frames Recd in Error	-- Percent frames received in error									
Reset Packets Trnsmitd	-- Number of reset packets transmitted									
Reset Packets Recd	-- Number of reset packets received									

TRLAN プロトコル

トークンリング・ローカル・エリア・ネットワーク (TRLAN) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

Resource Interval Report 10/03/03 12:42:33
 Communications Line Detail Page 56
 Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min

Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
 Library . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
 Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
 PROTOCOL = TRLAN/H (SORT BY INTERVAL)

Itv End	IOP Name/Line	Line Speed	Line Util	I Frames Trnsmitd Per Sec	I Frames Recd Per Sec	----- Congestion -----				Rsp Timer Ended	Remote LAN		MAC Errors	
						-- Local -- Ready	-- Seq Error	-- Remote -- Ready	-- Seq Error		-- Pct Frames Trnsmitd	-- Recd		
CMB07 (2744)														
14:00	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	97	6
14:01	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	98	5
14:02	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	99	6
14:03	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	93	6
14:04	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	95	6
14:05	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	98	6
14:06	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	96	6
14:07	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	100	6
14:08	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	97	5
14:09	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	99	6
14:10	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	97	6
14:11	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	97	6
14:12	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	94	6
14:13	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	90	6
14:14	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	98	6
14:15	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	95	6
14:16	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	99	5
14:17	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	98	6
14:18	NTRN64BA	16000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	100	98	6

```

14:19 NTRN64BA 16000.0 .0 0 0 0 0 0 0 0 0 100 97 6
Itv End -- End time of the data collection interval or time vary off occurred
IOP Name/Line -- IOP resource name and model number, Line ID
Line Speed -- Line speed (1000 bits per second)
Line Util -- Percent of available line capacity used in this interval
I Frames Trans /Sec -- Number of I frames transmitted per second
I Frames Recd /Sec -- Number of I frames received per second
Local Not Ready -- Percent of the interval that the system could not process incoming data
Local Seq Error -- Percent of the interval that the system received frames out of sequence
Remote Not Ready -- Percent of the interval that the remote system or device could not process incoming data
Remote Seq Error -- Percent of the interval that the remote system or device received frames out of sequence
Frame Retry -- The number of attempts to retransmit a frame to a remote controller
Rsp Timer Ended -- The number of times the response timer ended waiting for a response from a remote device
Remote LAN Frames Trans -- Percent of frames transmitted to a LAN connected to the locally attached LAN
Remote LAN Frames Recd -- Percent of frames received from a LAN connected to the locally attached LAN
MAC Errors -- The number of medium access control errors

```

ELAN プロトコル

イーサネット・ローカル・ネットワーク (ELAN) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

報告書のサンプル

```

Resource Interval Report 10/03/03 12:42:33
Communications Line Detail Page 71
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
PROTOCOL = ELAN/H (SORT BY INTERVAL)

```

Itv End	IOP Name/Line	Line Speed	Line Util	I Frames Trnsmitd Per Sec	I Frames Recd Per Sec	Congestion		Remote		Frame Retry	Rsp Timer Ended
						Local Not Ready	Seq Error	Not Ready	Seq Error		
CMB02 (268C)											
14:00	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:01	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:02	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:03	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:04	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:05	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:06	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:07	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:08	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:09	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:10	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:11	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:12	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:13	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:14	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:15	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:16	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:17	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:18	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:19	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:20	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:21	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0
14:22	VGIBETH0	1000000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0

```

Itv End -- End time of the data collection interval or time vary off occurred
IOP Name/Line -- IOP resource name and model number, Line ID
Line Speed -- Line speed (1000 bits per second)
Line Util -- Percent of available line capacity used in this interval
I Frames Trans /Sec -- Number of I frames transmitted per second
I Frames Recd /Sec -- Number of I frames received per second
Local Not Ready -- Percent of the interval that the system could not process incoming data
Local Seq Error -- Percent of the interval that the system received frames out of sequence
Remote Not Ready -- Percent of the interval that the remote system or device could not process incoming data
Remote Seq Error -- Percent of the interval that the remote system or device received frames out of sequence
Frame Retry -- The number of attempts to retransmit a frame to a remote controller
Rsp Timer Ended -- The number of times the response timer ended waiting for a response from a remote device

```

DDI プロトコル

分散データ・インターフェース (DDI) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

報告書のサンプル

Resource Interval Report 09/18/98 14:06:00
 Communications Line Detail Page 12
 Sample Resource Interval Report

Member . . . : PMISTGA1 Model/Serial . . : 500-2142/10-1803D Main storage . . : 128.0 M Started . . . : 08/11/98 13:09:04
 Library . . : PM42CRT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 4/2.0 Stopped . . . : 08/11/98 13:38:40
 PROTOCOL = DDI (SORT BY INTERVAL)

Itv End	IOP Name/Line	Line Speed	Line Util	I Frames Trnsmitd Per Sec	I Frames Recd Per Sec	----- Congestion -----				Frame Retry	Rsp Timer Ended	MAC Errors
						Local Ready	Seq Error	Remote Ready	Seq Error			
CC01 (2618)												
13:14	PMDD1	100000.0	.0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
13:19	PMDD1	100000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:24	PMDD1	100000.0	.0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
13:29	PMDD1	100000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:34	PMDD1	100000.0	.0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
13:38	PMDD1	100000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CC02 (2618)												
13:14	PMDD2	100000.0	.0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
13:19	PMDD2	100000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:24	PMDD2	100000.0	.0	2	2	0	0	0	0	0	0	0
13:29	PMDD2	100000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:34	PMDD2	100000.0	.0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
13:38	PMDD2	100000.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

FRLY プロトコル

フレーム・リレー (FRLY) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

報告書のサンプル

Resource Interval Report 09/18/98 14:06:00
 Communications Line Detail Page 14
 Sample Resource Interval Report

Member . . . : PMISTGA1 Model/Serial . . : 500-2142/10-1803D Main storage . . : 128.0 M Started . . . : 08/11/98 13:09:04
 Library . . : PM42CRT System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 4/2.0 Stopped . . . : 08/11/98 13:38:40
 PROTOCOL = FRLY (SORT BY INTERVAL)

Itv End	IOP Name/Line	Line Speed	Line Util	I Frames Trnsmitd Per Sec	I Frames Recd Per Sec	----- Congestion -----				Frame Retry	Rsp Timer Ended	MAC Errors
						Local Ready	Seq Error	Remote Ready	Seq Error			
CC10 (2666)												
13:14	PMFR1	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:19	PMFR1	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:24	PMFR1	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:29	PMFR1	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:34	PMFR1	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:38	PMFR1	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
CC11 (2666)												
13:14	PMFR2	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:19	PMFR2	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:24	PMFR2	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:29	PMFR2	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:34	PMFR2	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13:38	PMFR2	56.0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

ASYNCR プロトコル

非同期 (ASYNCR) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

注: 非同期通信のプロトコル・データ単位 (PDU) は、終わりがプロトコル制御文字またはバッファのサイズになる可変長データ単位です。

報告書のサンプル

Resource Interval Report 10/03/03 12:42:33
 Communications Line Detail Page 99
 Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min

Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
 Library . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
 Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
 PROTOCOL = ASYNCR (SORT BY INTERVAL)

Itv	IOP Name/Line	Line	Line	Bytes Transmitted	Bytes Received	Total PDU	Pct PDU Received
-----	---------------	------	------	-------------------	----------------	-----------	------------------

End	Line	Speed	Util	Per Sec	Per Sec	Received	in Error
CMB11 (2805)							
14:00	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
14:00	FAXLINT13	115.2	.0	0	0	0	0
14:00	FAXLINT12	115.2	.0	0	0	0	0
14:00	FAXLINT11	115.2	.0	0	0	0	0
14:01	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
14:01	FAXLINT13	115.2	.0	0	0	0	0
14:01	FAXLINT12	115.2	.0	0	0	0	0
14:01	FAXLINT11	115.2	.0	0	0	0	0
14:02	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
14:02	FAXLINT13	115.2	.0	0	0	0	0
14:02	FAXLINT12	115.2	.0	0	0	0	0
14:02	FAXLINT11	115.2	.0	0	0	0	0
14:03	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
14:03	FAXLINT13	115.2	.0	0	0	0	0
14:03	FAXLINT12	115.2	.0	0	0	0	0
14:03	FAXLINT11	115.2	.0	0	0	0	0
14:04	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
14:04	FAXLINT13	115.2	.0	0	0	0	0
14:04	FAXLINT12	115.2	.0	0	0	0	0
14:04	FAXLINT11	115.2	.0	0	0	0	0
14:05	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
14:05	FAXLINT13	115.2	.0	0	0	0	0
14:05	FAXLINT12	115.2	.0	0	0	0	0
14:05	FAXLINT11	115.2	.0	0	0	0	0
14:06	FAXLINT14	115.2	.0	0	0	0	0
Itv End	-- End time of the data collection interval or time vary off occurred						
IOP Name/Line	-- IOP resource name and model number, Line ID						
Line Speed	-- Line speed (1000 bits per second)						
Line Util	-- Percent of available line capacity used in this interval						
Bytes Trans /Sec	-- Average number of bytes transmitted per second						
Total PDUs Received	-- Number of protocol data units received						
Pct PDUs Received in Error	-- Percent of protocol data units received with errors						

BSC プロトコル

2 進データ同期通信 (BSC) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

報告書のサンプル

Resource Interval Report											09/18/98 14:06:00
Communications Line Detail											Page 18
Sample Resource Interval Report											
Member	PMISTGA1	Model/Serial . . .	500-2142/10-1803D	Main storage . . .	128.0 M	Started	08/11/98 13:09:04				
Library	PM42CRT	System name . . .	ABSYSTEM	Version/Release . . .	4/2.0	Stopped	08/11/98 13:38:40				
PROTOCOL = BSC (SORT BY INTERVAL)											
Itv End	IOP Name/Line	Line Speed	Line Util	Bytes Transmitted Per Sec	Total Data Characters Transmitted	Pct Data Characters Transmitted in Error	Bytes Received Per Sec	Total Data Characters Received	Pct Data Characters Received in Error	Line Errors	
CC13 (2609)											
13:14	PMBS1	19.2	.9	7	2,360	0	13	4,124	0	0	
13:14	PMBS2	19.2	.9	13	4,124	0	7	2,360	0	0	
13:19	PMBS1	19.2	1.1	9	2,990	0	17	5,226	0	0	
13:19	PMBS2	19.2	1.1	17	5,226	0	9	2,990	0	0	
13:24	PMBS1	19.2	.9	8	2,568	0	15	4,488	0	0	
13:24	PMBS2	19.2	.9	15	4,488	0	8	2,568	0	0	
13:29	PMBS1	19.2	1.1	10	3,103	0	18	5,423	0	0	
13:29	PMBS2	19.2	1.1	18	5,423	0	10	3,103	0	0	
13:34	PMBS1	19.2	1.2	11	3,424	0	19	5,984	0	0	
13:34	PMBS2	19.2	1.2	19	5,984	0	11	3,424	0	0	
13:38	PMBS1	19.2	1.0	9	2,463	0	15	4,302	0	0	
13:38	PMBS2	19.2	1.0	15	4,302	0	9	2,463	0	0	

ISDN ネットワーク・インターフェース

統合サービス・デジタル網 (ISDN) ネットワーク・インターフェースの報告書セクションの例を以下に示します。

報告書のサンプル

Resource Interval Report											09/23/98 06:14:04
Communications Line Detail											Page 15
Sample Resource Interval Report											

```

Member . . . : ISDNDATA Model/Serial . . : 500-2142/10-10DFD Main storage . . : 320.0 M Started . . . : 08/14/98 13:30:23
Library . . . : ISDNDDATA System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 4/2.0 Stopped . . . : 08/14/98 13:45:27
PROTOCOL = ISDN NETWORK INTERFACE (SORT BY INTERVAL)
IOP
Name/
Network Interface
Line Speed
Outgoing Calls Total
Outgoing Calls
Pct Retry
Incoming Calls Total
Incoming Calls
Pct Reject
LAPD Total Frames
Trnsmitd
LAPD Pct Frames
Trnsmitd Again
LAPD Total Frames
Recd
LAPD Pct Frames
Recd in Error
Loss of Frame
Alignment
Local End Code
Violation
Collision Detect

---Outgoing--- ---Incoming--- LAPD LAPD Pct LAPD LAPD Pct
---Calls--- ---Calls--- Total Frames Total Frames
Frames Frames
Frames Frames
Loss of Local
Frame End Code
Alignment Violation
Collision
Detect

-----
Itv Network Line Pct Pct Total Pct Total Total Frames Loss of Local Collision
End Interface Speed Total Retry Total Reject Trnsmitd Again Recd Recd in Error Alignment Violation Detect
-----

CC05
(2605)
13:35 X31N00 16.3 0 0 0 0 60 0 60 0 0 0 0
13:35 X31N01 16.3 0 0 0 0 60 0 60 0 0 0 0
13:40 X31N00 16.3 0 0 0 0 60 0 60 0 0 0 0
13:40 X31N01 16.3 0 0 0 0 60 0 60 0 0 0 0
13:45 X31N00 16.3 0 0 0 0 60 0 60 0 0 0 0
13:45 X31N01 16.3 0 0 0 0 60 0 60 0 0 0 0
Itv End -- End time of the data collection interval or time that vary
off occurred
IOP Name/ -- IOP resource name and model number, Network interface description
Network Interface
Line Speed -- Line speed (1000 bits per second)
Outgoing Calls Total -- Number of outgoing call attempts
Outgoing Calls -- Percent of outgoing calls that were rejected by the network
Pct Retry
Incoming Calls Total -- Number of incoming call attempts
Incoming Calls -- Percent of incoming calls that were rejected
Pct Reject
LAPD Total Frames -- Number of frames transmitted (applies to D-channel only)
Trnsmitd
LAPD Pct Frames -- Percent frames re-transmitted due to error (applies to
Trnsmitd Again D-channel only)
LAPD Total Frames -- Number of frames received (applies to D-channel only)
Recd
LAPD Pct Frames -- Percent frames received in error (applies to D-channel only)
Recd in Error
Loss of Frame -- Number of times a time period equivalent to two 48 bit frames
Alignment elapsed without detecting valid pairs of line code violations
Local End Code -- Number of unintended code violations detected by the TE
Violation for frames received on the T interface
Collision Detect -- Number of times that a transmitted frame corrupted by
another frame was detected

```

ISDN のネットワーク・インターフェース・メンテナンス・チャネル

ISDN プロトコルのネットワーク・インターフェース・メンテナンス・チャネルの通信回線の報告書セクションの例を以下に示します。

報告書のサンプル

```

Resource Interval Report 11/10/95 08:00:33
Communications Line Detail Page 13
User-Selected Report Title

```

```

Member . . . : MONDAY Model/Serial . . : 200-2050/10-1500500 Main storage . . : 160.0 M Started . . . : 11/02/95 14:31:23
Library . . . : QPFRDATA System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 3/ 6.0 Stopped . . . : 11/02/95 16:26:12

```

PROTOCOL = NWI MAINTENANCE CHANNEL (SORT BY INTERVAL)

IOP Name/Network Interface	Line Speed	Percent Errored Seconds	Percent Severely Errored Seconds	-----Detected Access----- In	Out	Far End Code Violation
CC11 (2623)						
14:46 ISDNSS_A	16.3	50	36	734	83	32
15:01 ISDNSS_A	16.3	6	24	32	14	52
15:16 ISDNSS_A	16.3	0	0	0	0	0

IDLC プロトコル

ISDN データ・リンク制御 (IDLC) プロトコルを使用している通信回線の報告書セクションの 2 つの例を以下に示します。2 番目の報告書は、その IDLC 回線が間隔においてどの B チャネルを使用していたかを示します。

報告書のサンプル

```

Resource Interval Report 05/22/96 10:29:40
Communications Line Detail Page 15
Member . . . : ECL Model/Serial . . : 500-2142/10-10DFD Main storage . . : 320.0 M Started . . . : 04/15/96 10:35:30

```

```

Library . . . : PM37CT      System name . . . :      ABSYSTEM Version/Release . . : 3/7.0 Stopped . . . : 04/15/96 12:35:32
PROTOCOL = IDLC (SORT BY INTERVAL)
IOP
Name/
Itv Network Line Line Transmit/
End Interface Descriptn Speed Average Bytes ---Frames--- Bytes ---Frames--- Receive Short
          Per Sec Total Pct Recd ---Received--- Pct CRC Aborts Sequence Frame
          Per Sec Total Err Per Sec Total Err Errors Recd Error Error
-----
CC05
(2605)
11:43 ISDNA IDLCA01 64.0 00/00/00 42 49 4 33 47 2 0 0 0 0
11:43 ISDNB IDLCB01 64.0 00/00/00 2 1 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

Resource Interval Report
Communications Line Detail
05/22/96 10:29:40
Page 17
Member . . . : ECL      Model/Serial . . : 500-2142/10-10DFD Main storage . . : 320.0 M Started . . . : 04/15/96 10:35:30
Library . . . : PM37CT  System name . . . :      ABSYSTEM Version/Release . . : 3/7.0 Stopped . . . : 04/15/96 12:35:32
PROTOCOL = IDLC (SORT BY INTERVAL)
IOP
Name/
Itv Network Line
End Interface Description Channel
-----
CC05
(2605)
11:43 ISDNA IDLCA01 B1
11:43 ISDNB IDLCB01 B1

```

リソース間隔報告書 - IOP 使用率

リソース間隔報告書の IOP 使用率セクションには、次の入出力処理装置 (IOP) 使用率の組み合わせが示されます。

ディスク IOP 使用率

直接アクセス記憶装置 (DASD) の入出力処理装置 (IOP) の使用率が示されます。ディスク IOP 使用率が一貫してしきい値以上である場合は、システム・パフォーマンスに影響を生じ、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。

多機能 IOP 使用率

DASD、通信、およびローカル・ワークステーション装置の入出力処理装置 (IOP) の使用率が示されます。使用率が一貫してしきい値以上である場合は、システム・パフォーマンスに影響を生じ、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。

通信 IOP 使用率

通信入出力処理装置 (IOP) の使用率が示されます。

ローカル・ワークステーション IOP 使用率

ローカル・ワークステーション装置の入出力処理装置 (IOP) の使用率が示されます。

報告書のサンプル

注: 入出力処理装置使用率の合計は、3 つの欄 (IOP Processor Util Comm、IOP Processor Util LWSC、および IOP Processor Util DASD) の合計と一致しないことがよくあります。この不一致は、システム時刻など、他の小さい構成要素の使用率によって起こります。

```

Resource Interval Report
IOP Utilizations
10/03/03 12:42:33
Page 127
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427
IOP Name/
(Model) Itv - IOP Processor Util - DASD Ops per sec - KB per I/O - KBytes Transmitted Avail Local
          End Total Comm LWSC DASD Reads Writes Read Write IOP System Storage (K) Util 2
-----
CMB05 (2843) 14:00 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0
          14:05 .4 .0 .0 .0 3 0 63,513 .0
          14:10 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0
          14:15 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0
          14:20 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0
          14:25 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0
          14:30 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0
          14:35 .4 .0 .0 .0 2 0 63,513 .0

```

14:40	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
14:45	.4	.0	.0	.0	3	0	63,513	.0
14:50	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
14:55	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:00	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:05	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:10	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:15	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:20	.4	.0	.0	.0	3	0	63,513	.0
15:25	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:30	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:35	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:40	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:45	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:50	.4	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
15:55	.5	.0	.0	.0	2	0	63,513	.0
16:00	.5	.0	.0	.0	3	0	63,513	.0

IOP Name/ (Model) -- Input/Output processor resource name and model number of the attached device
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
IOP Processor Util Total -- Total utilization for IOP
IOP Processor Util Comm -- Utilization of IOP due to communications activity
IOP Processor Util LWSC -- Utilization of IOP due to local workstation activity
IOP Processor Util DASD -- Utilization of IOP due to DASD activity
DASD Ops per sec Reads -- Number of reads per second
DASD Ops per sec Writes -- Number of writes per second
K Per Read -- Average number of kilobytes (1024) per read operation
K Per Write -- Average number of kilobytes (1024) per write operation
IOP KBytes Transmitted -- Number of Kbytes transmitted from the IOP to the system across the bus
System KBytes Transmitted -- Number of Kbytes transmitted from the system to the IOP cross the bus
Avail Local Storage (K) -- Number of kilobytes (1024) of local storage that is free
Util 2 -- Utilization of co-processor



リソース間隔報告書 - ローカル・ワークステーション応答時間

ローカル・ワークステーション応答時間セクションには、各データ収集間隔ごとに以下の情報が示されます。

- ローカル・ワークステーション IOP 使用率
- 各制御装置で活動状態のワークステーションの数
- ワークステーションの応答時間の範囲
- ワークステーションの平均応答時間

応答時間間隔の値は、使用した値によって変わります。

報告書のサンプル

```

Resource Interval Report
Local Work Station Response Times
Perf data from 14:00 to 16:00 at 1 min
10/03/03 12:42:33
Page 132
Member . . . : Q275140000 Model/Serial . . : 890/10-3907F Main storage . . : 56.4 GB Started . . . : 10/02/03 14:00:00
Library . . . : PTLIBV5R3 System name . . : ABSYSTEM Version/Release . . : 5/3.0 Stopped . . . : 10/02/03 16:00:00
Partition ID : 003 Feature Code . . : 7427-2498-7427

IOP Name/ (Model) Work Station Controller Itv End Util Active Wrk Stn 0.0- .0 .0- .0 .0- .0 .0- .0 > .0 Rsp Time
-----
Total Responses: 0 0 0 0 .00
IOP Name/ (Model) -- Input/Output processor resource name and model number of the attached device
Work Station Controller -- Work station controller description name
Itv End -- Interval end time (hour and minute)
Util -- Percentage of utilization for each IOP
Active Wrk Stn -- Number of work stations with activity
0.0- .0 -- Number of response times between 0.0 and .0 seconds
.0- .0 -- Number of response times between .0 and .0 seconds
.0- .0 -- Number of response times between .0 and .0 seconds
.0- .0 -- Number of response times between .0 and .0 seconds
> .0 -- Number of response times > .0 seconds
Rsp Time -- Average external response time (in seconds) for work stations on this controller

```



リソース間隔報告書 - 遠隔ワークステーション応答時間

遠隔ワークステーション応答時間セクションには、各データ収集間隔ごとに以下の情報が示されます。

- 各制御装置で活動状態のワークステーションの数
- ワークステーションの応答時間の範囲
- ワークステーションの平均応答時間

応答時間間隔の値は、使用した値によって変わります。

注: このセクションが表示されるのは、5494 遠隔制御装置がデータ収集に含まれている場合だけです。収集サービスが、遠隔ワークステーション用にデータを生成することはありません (ファイル QAPMRWS)。このセクションは、V5R1 より前のリリースの STRPFRMON コマンドによって生成され、パフォーマンス・データ変換 (CVTPFRDTA) コマンドを用いて V5R1 に変換されたパフォーマンス・データにのみ適用されます。

報告書のサンプル

```
Resource Interval Report                                09/24/98 07:40:58
Remote Work Station Response Times                    Page 9
Sample Resource Interval Report
Member . . . : TEST20      Model/Serial . . : 500-2142/10-317CD  Main storage . . : 128.0 M  Started . . . : 09/19/98 16:47:34
Library . . . : RWSDATA    System name . . : ABSYSTEM      Version/Release . . : 4/2.0  Stopped . . . : 09/19/98 17:12:36
IOP Name/    Work Station  Itv      Active
(Model)      Controller    End      Wrk Stn
-----
CC02 ( )     ABSYSTEM    16:52    1      162    0      0      0      0      .02
              16:57    1      174    0      0      0      0      0      .02
              17:02    1      195    0      0      0      0      0      .03
              17:07    2      314    0      0      0      0      0      .02
-----
Total Responses:                                845    0      0      0      0      0      .02
IOP Name/    -- Input/output processor resource name and
(Model)      -- model number of the attached device
Work Station Controller -- Work station controller description name
Itv End      -- Interval end time (hour and minute)
Active Wrk Stn -- Number of work stations with activity
0.0- 1.0    -- Number of response times between 0.0 and 1.0 seconds
1.0- 2.0    -- Number of response times between 1.0 and 2.0 seconds
2.0- 4.0    -- Number of response times between 2.0 and 4.0 seconds
4.0- 8.0    -- Number of response times between 4.0 and 8.0 seconds
> 8.0      -- Number of response times > 8.0 seconds
Rsp Time     -- Average external response time (in seconds) for
              work stations on this controller
```

パフォーマンス報告書の見出し

各報告書には、その報告書のタイプやセクションには関係なく、データの特徴を示す情報が報告書の見出しに含まれます。

報告書のタイトル

最初の行ではパフォーマンス報告のタイプを識別します。2行目は、報告書のセクションを示しています。

Current date and time (現在の日付と時刻)

この報告書が印刷された日付と時刻を示します。

Report page number (報告書のページ番号)

報告書のページを示しています。

Perf data from time to time at interval (「間隔」での「時間」から「時間」までのパフォーマンス)

データが収集された時間および間隔を示します。

User-selected report title (ユーザー選択の報告書タイトル)

ユーザーにより指定されたこの報告書の名前を示します。

Member (メンバー)

この報告書で使用されたパフォーマンス・データ・メンバーを示します。この名前は、パフォーマンス・データ作成 (CRTPFRDTA) コマンドの MBR パラメーターに指定した名前に対応していません。

Library (ライブラリー)

特定の報告書で使用されるパフォーマンス・データが入っているライブラリーを示します。

Model/Serial (モデル/シリアル)

報告書用のパフォーマンス・データが収集されたサーバーのモデルおよびシリアル番号です。シリアル番号は 10 文字で示されます。

Main storage size (主記憶域サイズ)

パフォーマンス・データが収集されたサーバーの主記憶域のサイズを示します。

Started (開始)

収集サービスが、報告書のパフォーマンス・データの収集を開始した日付と時刻を示します。特定の間隔または特定の開始時刻を選択するか否かによって、以下が示されます。

- 報告書作成を実行する間隔を指定しなかった場合、開始日付と時刻は、データが収集された日付と時刻になります。
- 報告書作成を実行する特定の間隔を指定した場合、開始日付と時刻は、データが収集された日付と時刻になります。

注: システム報告書の場合に限り、報告書選択基準セクションを調べて、選択されている間隔を調べる必要があります。

Stopped (停止)

収集サービスが、報告書のパフォーマンス・データの収集を停止した日付と時刻を示します。特定の間隔または特定の停止時刻を選択するか否かによって、以下が示されます。

- 報告書を実行する間隔を指定しなかった場合、停止日付と時刻は、データが収集された日付と時刻になります。
- 報告書を実行する特定の間隔を指定した場合、停止日付と時刻は、データが収集された日付と時刻になります。

注: システム報告書の場合に限り、報告書選択基準セクションを調べて、選択されている間隔を調べる必要があります。

System name (システム名)

報告書で使用されたパフォーマンス・データが収集されたサーバーの名前を示します。

Version/Release level (バージョン/リリース・レベル)

x/ x.0 は、サーバーがパフォーマンス・データの収集時に稼働していたオペレーティング・システムのバージョンおよびリリース・レベルを示しています。

Partition ID (区画 ID)

収集が実行された区画の ID を識別します。この変更によって、論理区画を取り扱えるようになりました。表示される値は、次のとおりです。

- 使用中のシステムが区画に分割されていない場合 (これがデフォルトの解釈です)、または収集サービスを使用して論理区画システムの 1 次区画のパフォーマンス・データを収集して印刷した場合は、この値は 00 です。
- 前のリリースにおいてパフォーマンス・モニター開始 (STRPFRMON) コマンドを用いてデータを収集した場合は、区画 ID の値は 00 です。

- 収集サービスを使用して論理区画システムの任意の 2 次区画のパフォーマンス・データを収集して印刷した場合は、この値は、サービス・ツール開始 (STRSST) コマンドの下で「システム区画処理」画面上に表示される区画 ID と同じです。

Feature Code (フィーチャー・コード)

サーバーの対話式フィーチャー・コード値を識別します。

» Int Threshold (間隔しきい値)

収集期間に使用された対話式作業に使用された、システム CPU 合計のパーセントを示します。値は QAPMCONF ファイル (GKEY IT) から取得され、収集開始時に獲得される構成メトリックを反映します。この値が、論理区画構成での動的変更のために、収集期間内に各間隔ごとに変更することがあるということに注意する必要があります。◀

» Virtual Processors (仮想プロセッサ)

区画用に構成された仮想プロセッサの数。値は QAPMCONF ファイル (GKEY 13) から取得され、収集開始時に獲得される構成メトリックを反映します。この値が、論理区画構成での動的変更のために、収集期間内に各間隔ごとに変更することがあるということに注意する必要があります。

◀

» Processor Units (処理装置)

区画に割り振られた処理装置の数。値は QAPMCONF ファイル (GKEY PU) から取得され、収集開始時に獲得される構成メトリックを反映します。この値が、論理区画構成での動的変更のために、収集期間内に各間隔ごとに変更することがあるということに注意する必要があります。

処理装置は、1 つ以上の仮想プロセッサすべてにおける、共用処理能力の計測単位です。1 つの仮想プロセッサ上の 1 つの共用処理装置は、専用プロセッサとほぼ同じ作業を実行します。2 つの仮想プロセッサ上の 1 つの共用処理装置は、2 つの専用プロセッサの作業のほぼ半分を実行します。◀

Column headings (欄の見出し)

各報告書には、その報告書の情報を構成する多くの欄が示されます。特定の報告書に特有の欄もあれば、どの報告書にも共通する欄もあります。これらの欄の簡単な説明については、『パフォーマンス報告書の欄』のページを参照してください。

パフォーマンス報告書の欄

>8.0 (構成要素) 応答時間が 8 秒を超えた回数

» %Write Cache Overruns

(構成要素) 収集間隔中の書き込みキャッシュ・オーバーランのパーセント。◀

----- (pgmname (プログラム名))

(トランザクション) トランザクション合計の記録。たとえば、----- QUYLIST。この報告書の行は、ジョブが活動状態から待機状態へのトランザクションを持つ度に示されます。合計は、トランザクションの RSP* (応答時間)、CPU 秒数、および入出力カウントについて作成されます。

A-I WAIT /TNS (A-I 待機/TNS)

(トランザクション) トランザクション当たりの活動状態から不適格状態への待ちの平均時間 (秒数)。この値が高い場合は、多くの対話式ジョブのタイム・スライス値の設定が低すぎるのが原因と考えられます。タイム・スライス値を大きくすることを考慮してください。

ABORTS RECD (打ち切り受信数)

(リソース間隔) 受信したフレームに HDLC 打ち切り標識が含まれていたフレームの数。これは、フレームが完了する前に遠隔装置がフレームを終了したことを示します。

ACT JOBS (活動ジョブ数)

(ジョブ間隔) 選択されたジョブ (報告書のセクションに応じて対話式または非対話式) で間隔中に活動状態だったジョブの数

ACT LEVEL (活動レベル)

(構成要素) 開始プールの活動レベル

ACT LVL (活動レベル)

(システム、プール間隔) 活動レベル。プール間隔報告書のプール活動セクションの場合、間隔でのプールの活動レベル。システム報告書の記憶域プール利用率セクションの場合、最初のサンプル間隔時の活動レベル。

ACT-INEL (活動 - 不適合)

(システム、構成要素) 活動状態から不適合状態へのジョブの状態の移行の 1 分当りの平均回数

ACT-WAIT (活動 - 待機)

(システム、構成要素) このプールに割り当てられた処理による活動状態から待機状態への 1 分当りの移行回数

ACTIVE DEVICES (活動装置)

(システム) 回線上の活動装置の平均数

ACTIVE DISPLAY STATIONS (LOCAL OR REMOTE) (活動表示装置数 (ローカルまたは遠隔))

(システム) 測定期間においてトランザクションを入力するローカルまたは遠隔表示装置の数

ACTIVE JOBS (活動ジョブ数)

(トランザクション) 間隔において活動状態だった対話式ジョブの数

ACTIVE JOBS PER INTERVAL (間隔当り活動ジョブ数)

(システム) サンプル間隔に活動状態であったこのタイプのジョブの平均数

ACTIVE K/T /TNS (活動 K/T /TNS)

(トランザクション) 活動ワークステーション (AWS の推定値のところで説明) の平均考慮時間および入力時間 (または 1 つのトランザクションの終了と次のトランザクションの開始との間の遅延時間) の秒数。活動 K/T /TNS 遅延時間は、600 秒を超える遅延時間がすべて 600 秒に丸められるという点が入力/思考 /TNS 遅延時間と異なります。この手法は、偶発的ユーザー (断続的に作業を行うか、長期間ワークステーションを離れるユーザー) が活動ワークステーション数の推定値に及ぼす影響を軽減するために使用されます。

ACTIVE WRK STN (活動ワークステーション)

(リソース間隔) 活動状態のワークステーションの数

ACTIVE/RSP (活動/応答)

(トランザクション) トランザクション処理中に、活動レベルを保持していたジョブが (待機または活動状態で) 費やす時間

ACTIVITY LEVEL (活動レベル)

(システム) 対話式ジョブ活動が実行されていたすべての対話式プールの活動レベルの合計

ACTIVITY LEVEL TIME (活動レベル時間)

(トランザクション) 活動、短時間待機 での待機、および占有/競合 (占有競合) での待機に費やされたトランザクション時間の内訳。短時間待機 および占有競合 時間は、活動レベル時間 に含ま

れます。活動レベル・スロットはこれらの時間においても活動しているためです。占有競合時間は活動レベル時間に含まれ、待機時間のようにトランザクション/応答時間を得るために加算されることはありません。

ARITH OVRFLW (算術オーバーフロー)

(構成要素、ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブで起こった算術オーバーフロー例外の数

ASP ID (補助記憶域プール識別コード)

(システム、リソース間隔) 補助記憶域プール識別コード

▶ ASP RSC NAME (補助記憶域プール資源名)

(システム、資源) 収集時にディスク装置が割り振られた先の ASP 資源名を識別します。 ◀

ASYNCR (非同期)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブによって開始された非同期ディスク入出力操作の回数。入出力操作を開始したジョブは、入出力操作が完了するのを待たずに、処理を継続することができます。入出力操作は、背景のシステムのテストによって完了します。

ASYNCR DIO /TNS (非同期 DIO /TNS)

(トランザクション) 非同期 DB 読み取り、DB 書き込み、NDB 読み取り、および NDB 書き込み要求の平均回数の合計 (ジョブに関するトランザクションごとの非同期入出力要求の平均回数)

ASYNCR DISK I/O (非同期ディスク入出力)

(システム、構成要素、トランザクション) トランザクションごとの非同期ディスク入出力操作の回数

ASYNCR DISK I/O PER SECOND (非同期ディスク入出力/秒)

(構成要素) 1 秒当りの非同期ディスク入出力操作の平均回数

ASYNCR DISK I/O REQUESTS (非同期ディスク入出力要求)

(トランザクション) 優先順位、ジョブ・タイプ、およびプールの所定の組み合わせに関する非同期ディスク入出力要求の合計回数

ASYNCR I/O /SEC (非同期入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中にジョブによって開始された非同期ディスク入出力操作の 1 秒当りの平均回数。非同期ディスク入出力カウントを経過時間で割って算出されます。

ASYNCR I/O PER SECOND (非同期入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された非対話式ジョブによって開始された 1 秒当りの非同期ディスク入出力操作の平均回数

ASYNCR MAX (非同期最大)

(トランザクション) 平均 DIO/トランザクションの下にリストされる、単一のトランザクションについてそのジョブによって発生した非同期 DBR、NDBR、および WRT 入出力要求の最大数。ジョブが対話式または自動開始のジョブ・タイプでなければ、ジョブに対する合計ディスク入出力がここにリストされます。

ASYNCR SUM (非同期合計)

(トランザクション) 平均 DIO/トランザクションの下にリストされ、非同期 DBR、NDBR、および WRT 要求の平均の合計 (ジョブのトランザクションごとの非同期入出力要求の平均数)

ASYNCR DBR (非同期 DBR)

(システム、ジョブ間隔、プール間隔) 間隔中のジョブのトランザクションごとのディスクに対する非同期データベース読み取り操作の平均回数。非同期データベースの読み取りカウントを処理されたトランザクション数で割って算出されます。このフィールドは、システム中のジョブがトランザ

クシオンを処理しなかった場合は、印刷されません。システム報告書のリソース使用率セクションでは、1 秒当りの非同期データベース読み取り操作の回数です。

注: 非同期入出力操作はシステムの非同期入出力タスクによって実行されます。

ASync DBW (非同期 DBW)

(システム、ジョブ間隔) 間隔中の選択されたジョブのトランザクションごとのディスクに対する非同期データベース書き込み操作の平均回数。非同期データベースの書き込みカウントを処理されたトランザクション数で割って算出されます。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。システム報告書のリソース使用率セクションでは、1 秒当りの非同期データベース読み取り操作の回数です。

注: 非同期入出力操作はシステムの非同期入出力タスクによって実行されます。

ASYNCHRONOUS DISK I/O PER TRANSACTION (非同期ディスク入出力/トランザクション)

(システム) 対話式トランザクションごとの非同期物理ディスク入出力操作の平均回数

ASYNCHRONOUS NDBR (非同期 NDBR)

(システム、ジョブ間隔、プール間隔) 間隔中のシステム内ジョブのトランザクションごとの非同期非データベース読み取り操作の平均回数。非同期非データベース読み取りカウントを処理されたトランザクション数で割って算出されます。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。システム報告書のリソース使用率セクションでは、1 秒当りの非同期非データベース読み取り操作の回数です。

注: 非同期入出力操作はシステムの非同期入出力タスクによって実行されます。

ASYNCHRONOUS NDBW (非同期 NDBW)

(システム、ジョブ間隔、プール間隔) 間隔中のシステム内ジョブのトランザクションごとの非同期非データベース書き込み操作の平均回数。非同期非データベース書き込みカウントを処理されたトランザクション数で割って算出されます。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。システム報告書のリソース使用率セクションでは、1 秒当りの非同期非データベース書き込み操作の回数です。

注: 非同期入出力操作はシステムの非同期入出力タスクによって実行されます。

AVAIL LOCAL STORAGE (K) (使用可能ローカル記憶域 (K))

(リソース間隔) IOP の空きローカル記憶域のキロバイト数

AVAILABLE STORAGE (使用可能記憶域)

(構成要素) 使用可能なローカル記憶域 (バイト数)。IOP で使用可能な主記憶装置の平均バイト数。空きローカル記憶域は、小さい部分に分割されているため、結合されていないと考えられます。

AVERAGE (平均)

(トランザクション) すべてのトランザクションについて欄に記載されている項目の平均値

AVERAGE DISK ACTIVITY PER HOUR (平均ディスク活動/時)

(構成要素) ディスク・アームのシーク距離を参照

AVERAGE DIO/TRANSACTION (平均 DIO/トランザクション)

(トランザクション) 物理ディスク入出力カウントに関する 7 つの情報欄。物理入出力は、これら

の報告書の他の部分に示されている論理入出力と対比されます。論理入出力はプログラム・レベルで送られる要求で、結果として補助記憶域 (DASD) へのアクセスを起こさせることになります。物理入出力は、実際に補助記憶域へのアクセスが起こる要求を指します。

- SYNCHRONOUS DBR (同期 DBR)
- SYNCHRONOUS NDBR (同期 NDBR)
- SYNCHRONOUS WRT (同期書き込み)
- SYNCHRONOUS SUM (同期合計)
- SYNCHRONOUS MAX (同期最大)
- ASYNC SUM (非同期合計)
- ASYNC MAX (非同期最大)

AVERAGE K PER I/O (平均 K/入出力)

(リソース間隔) 各ディスク読み取りまたは書き込み操作で転送された平均キロバイト数

AVERAGE PHYS I/O /SEC (平均物理入出力/秒)

(リソース間隔) システムのすべてのディスクに対して行われた物理ディスク読み取りおよび書き込み操作の 1 秒当りの平均数

AVERAGE READS/SEC (平均読み取り/秒)

(リソース間隔) システムのすべてのディスクに対して行われた物理ディスク読み取り操作の 1 秒当りの平均数

AVERAGE RESPONSE (平均応答)

(システム) 対話式トランザクションの平均応答時間 (秒数)。合計/平均対話式応答時間には、DDM サーバーのジョブのトランザクションは含まれていません。

AVERAGE RESPONSE TIME (平均応答時間)

(システム) 入出力操作ごとのディスクの平均応答時間

AVERAGE RESPONSE TIME (SECONDS) (平均応答時間 (秒))

(システム) 平均対話式応答時間

AVERAGE SERVICE TIME (平均サービス時間)

(システム) 入出力操作当りの平均ディスク・サービス時間。競合がない場合に要求にかかる時間です。

AVERAGE WAIT TIME (平均待機時間)

(システム) 入出力操作当りの平均ディスク待ち時間。通常は、競合のため。

AVERAGE WRITE/SEC (平均書き込み/秒)

(リソース間隔) システムのすべてのディスクに対して行われた物理ディスク書き込み操作の 1 秒当りの平均数

AVG CPU /TNS (平均 CPU /TNS)

(トランザクション) 所定のカテゴリーに区分されたトランザクションごとの処理装置の平均秒数

AVG K/T /TNS (平均 K/T /TNS)

(トランザクション) 対話式ジョブの平均の考慮時間と入力時間、またはトランザクション境界間の遅延時間 (秒数)

AVG LENGTH (平均長さ)

(ロック) ロックまたは占有が保持された平均ミリ秒数

AVG RSP (SEC) (平均応答 (秒数))

(トランザクション) 平均トランザクション応答時間 (秒数)

AVG RSP /TNS (平均応答/TNS)

(トランザクション) 所定のcategorieに区分されたトランザクションのトランザクションごとの平均応答時間 (秒数)

AVG RSP TIME (平均応答時間)

(構成要素) 平均トランザクション応答時間

AVG SEC LOCKS (ロックの平均秒数)

(トランザクション) 対話式または非対話式待機側に帰されるロックの平均長さ (秒数)

AVG SEC SEIZES (占有の平均秒数)

(トランザクション) 対話式または非対話式待機側に帰される占有の平均長さ (秒数)

AVG TIME PER SERVICE (サービス当り平均時間)

(リソース間隔) 所定の要求を処理するためにディスク・アームが使用する時間の量

AVG UTIL (平均使用率)

(システム、リソース間隔) リソース報告書のディスク使用率要約において、ディスクが使用中だった使用可能時間の平均パーセント。これは、システムのすべてのディスクの複合平均です。システム報告書の通信要約では、測定時間間隔中に使用された回線容量の平均パーセント。

BATCH ASYNCHRONOUS I/O PER SECOND (バッチ非同期入出力/秒)

(システム) バッチ処理における非同期物理ディスク入出力操作の 1 秒当りの平均回数

BATCH CPU SECONDS PER I/O (バッチ CPU 秒/入出力)

(システム) すべてのバッチ・ジョブが使用したシステム処理装置秒数を、1 つのバッチ・ジョブの入出力 1 回当りの値に平均した秒数

BATCH CPU UTILIZATION (バッチ CPU 使用率)

(構成要素) 次のタイプのジョブが使用した使用可能な CPU 時間のパーセント

- バッチ
- 自動開始
- 呼び出し
- SCPF (CPF 開始)、スプール読み取りプログラム/書き込みプログラム

注: 複数処理装置システムの場合、これはすべての処理装置を通算した平均使用率です。

BATCH IMPACT FACTOR (バッチ影響係数)

(システム) モデル化の目的によるバッチ作業負荷調整

BATCH PERMANENT WRITES PER SECOND (バッチ永続書き込み/秒)

(システム) バッチ処理における永続書き込み操作の 1 秒当り平均回数

BATCH SYNCHRONOUS I/O PER SECOND (バッチ同期入出力/秒)

(システム) バッチ処理における同期物理ディスク入出力操作の 1 秒当りの平均回数

BCPU / SYNCHRONOUS DIO (BCPU/同期 DIO)

(トランザクション) 同期ディスク入出力操作ごとのバッチ処理装置の平均秒数

BIN (トランザクション) 2 進オーバーフロー例外の数**BINARY OVERFLOW (2 進オーバーフロー)**

(構成要素) 1 秒当りの 2 進オーバーフローの回数

BMPL - CUR AND INL (BMPL - CUR および INL)

(トランザクション) 現在活動レベルにあるジョブの数 (現行のマルチプログラミング・レベルの開

始)、およびジョブが待機状態でなくなった (トランザクションの開始) ときにジョブが実行していた記憶域プールの不適格待ち行列にあるジョブの数 (不適格のマルチプログラミング・レベルの開始)

注: マルチプログラミング・レベル (MPL) は活動レベルと互換的に使用されます。

» BUNDLE WAIT COUNT (バンドル待機カウント)

(構成要素) ジャーナル・バンドルがディスクに書き込まれるのを待機するタスクおよびジョブの合計数 ◀

» BUNDLE WAIT PCT (バンドル待機パーセント)

(構成要素) ジャーナル・バンドルがディスクに書き込まれるのを待機する際にかかる時間のパーセンテージ (間隔経過時間と比較した) ◀

BUNDLE WRITES SYSTEM (バンドル書き込みシステム)

(構成要素) 内部システム・ジャーナルに対するバンドル書き込みの数。バンドル書き込みは、システムによって共に保管されるジャーナル項目のグループです。

BUNDLE WRITES USER (バンドル書き込みユーザー)

(構成要素) ユーザー作成ジャーナルに対するバンドル書き込みの数。バンドル書き込みは、システムによって共に保管されるジャーナル項目のグループです。

BYTES PER SECOND RECEIVED (受信バイト/秒)

(システム) 1 秒当りの平均受信バイト数

BYTES PER SECOND TRANSMITTED (送信バイト/秒)

(システム) 1 秒当りの平均送信バイト数

BYTES PER SECOND TRANSMITTED (送信バイト/秒)

(リソース間隔) 1 秒当りの平均受信バイト数

BYTES TRNSMITD PER SEC (秒当り送信バイト数)

(リソース間隔) 1 秒当りの平均送信バイト数

CATEGORY (カテゴリー)

(トランザクション) 分類されたトランザクションのグループ。対話式トランザクション・カテゴリーによる分析では、トランザクションは処理装置モデルによって分類されます。トランザクションの区切りに使用される境界値は *AVG CPU /TNS* (平均 CPU/TNS) の欄に示されます。対話式応答時間による分析では、トランザクションはその応答時間によって分類されます。対話式入力/考慮時間による分析では、トランザクションは入力/考慮時間によって分類されます。

CACHE HIT STATISTICS (キャッシュ・ヒット統計)

(構成要素) 次の項目を含むキャッシュ使用状況に関する統計データ

- アームごとの装置キャッシュ読み取りヒットのパーセント
- アームごとの制御装置キャッシュ読み取りヒットのパーセント
- 書き込みキャッシュの効率を表すパーセント

DEVICE READ (装置読み取り)

装置読み取りは、装置キャッシュ読み取りヒット (DSDCRH) 数を装置読み取り操作 (DSDROP) 数で割った値をパーセントで示します。

CONTROLLER READ (制御装置読み取り)

制御装置読み取りは、制御装置キャッシュ読み取りヒット (DSCCRH) 数を読み取りコマンド (DSRDS) 数で割った値をパーセントで示します。

WRITE EFFICIENCY (書き込み効率)

書き込み効率は、書き込みコマンド (DSWRTS) 数と装置書き込み操作 (DSDWOP) 数の差を書き込みコマンド (DSWRTS) 数で割った値をパーセントで示します。

EACS READ (EACS 読み取り)

拡張キャッシュ・シミュレーターによる読み取りヒットのパーセント

EACS RESP (EACS 応答)

拡張キャッシュ・シミュレーターによる応答時間短縮のパーセント

CHANNEL (チャンネル)

(リソース間隔) IDLC 回線によって使用される B チャンネル (特殊条件)

CMN (通信)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブによって実行された通信入出力操作の回数

CMN I/O (通信入出力)

(構成要素) 通信操作 (GET、PUT) の数

CMN I/O PER SECOND (通信入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された非対話式ジョブによって実行された通信入出力操作の 1 秒当りの平均回数

COLLISION DETECT (衝突検出)

(リソース間隔) 端末装置 (TE) が、同じバスを使用しようと試みた別の TE によって壊された送信フレームを検出した回数

» COMMIT OPS (コミット操作)

(構成要素) 実行されるコミット操作。アプリケーションおよびシステムによって提供された参照保全コミットも含まれます。 «

COMMUNICATIONS I/O COUNT (通信入出力カウント)

(システム) 通信入出力操作の回数

COMMUNICATIONS I/O GET (通信入出力 GET)

(システム) トランザクションごとの通信 GET 操作の回数

COMMUNICATIONS I/O PUT (通信入出力 PUT)

(システム) トランザクションごとの通信 PUT 操作の回数

COMMUNICATIONS LINES (通信回線)

(システム、構成要素、ジョブ間隔、プール間隔) 報告書選択基準では、含める (SLTLINE パラメーター) または除外する (OMTLIN パラメーター) ために選択された通信回線のリスト。これらは、ユーザーが指定する通信回線名です。

CONTROL UNITS (制御装置)

(システム、構成要素、ジョブ間隔、プール間隔) 含める (SLTCTL パラメーター) または除外する (OMTCTL パラメーター) ことにより選択された制御装置のリスト。これらは、ユーザーが指定する制御装置名です。

COUNT (カウント)

(トランザクション、ロック) の欄の項目の発生数。たとえば、ロック報告書では、発生したロックまたは占有の数

CPU (トランザクション) 所定の優先順位でジョブが使用した処理装置合計秒数

CPU /TNS

(トランザクション、ジョブ間隔) トランザクションごとの処理装置の使用可能時間の長さ (秒数)

CPU MODEL (CPU モデル)

(システム) 処理装置のモデル番号

CPU PER I/O ASYNC (非同期入出力当り CPU)

(システム) 非同期入出力当りの CPU 使用

CPU PER I/O SYNC (同期入出力当り CPU)

(システム) 同期入出力当りの CPU 使用

CPU PER LOGICAL I/O (論理入出力当り CPU)

(システム) 各論理ディスク入出力操作で使用された処理装置時間

CPU QM

(トランザクション) 単純な処理装置のキューイング乗数

CPU SEC (CPU 秒数)

(トランザクション) この状態でジョブが使用した処理装置時間

CPU SEC /SYNC DIO (CPU 秒数/同期 DIO)

(トランザクション) ジョブの各タイプごとの CPU 秒数を同期ディスク入出力要求の数で割った率

CPU SEC AVG AND MAX (CPU 秒数 - 平均および最大)

(トランザクション) ジョブのトランザクションごとの平均処理装置時間、およびジョブでトランザクションに使用した最大処理装置時間。ジョブが対話式または自動開始のジョブ・タイプでない場合、ジョブに対する合計の処理装置時間だけが MAX の欄の見出しの下にリストされます。

CPU SEC PER TNS (CPU 秒数/TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの処理装置時間

CPU SECONDS (CPU 秒数)

(システム、トランザクション、構成要素) トランザクションごとに使用された処理装置平均秒数。システム要約データでは、追跡期間中にジョブによって使用された使用可能な処理装置合計秒数です。優先順位 - ジョブ・タイプ - プール統計では、優先順位、ジョブ・タイプ、およびプールの所定の組み合わせでジョブが使用した処理装置合計秒数です。バッチ・ジョブ分析では、ジョブが使用した処理装置の使用可能時間の長さ (秒数) です。並行バッチ・ジョブ統計では、ジョブ・セット中のジョブが使用した処理装置の使用可能時間の長さ (秒数) です。

CPU SECONDS PER TRANSACTION (CPU 秒/トランザクション)

(システム) トランザクションごとの処理装置の平均秒数

CPU UTIL (CPU 使用率)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔、バッチ・ジョブ・トレース) 使用された使用可能な処理装置時間のパーセント。複数処理装置システムの場合、これは合計使用率を処理装置数で割った値です。

CPU UTIL PER TRANSACTION (CPU 使用率/トランザクション)

(構成要素) CPU 使用率をジョブのトランザクション総数で割った値です。

CPU UTILIZATION (BATCH) (CPU 使用率 (バッチ))

バッチ・ジョブによって使用される使用可能な CPU 時間のパーセント。これは、すべてのプロセッサの平均です。

CPU UTILIZATION (INTERACTIVE) (CPU 使用率 (対話式))

対話式ジョブによって使用される使用可能な CPU 時間のパーセント。これは、すべてのプロセッサの平均です。

CPU UTILIZATION (TOTAL) (CPU 使用率 (合計))

対話式ジョブおよびバッチ・ジョブによって使用される使用可能な CPU 時間のパーセント。これは、すべてのプロセッサの平均です。

CPU/ASYNC I/O (CPU/非同期入出力)

(ジョブ間隔) 各非同期ディスク入出力操作に要した処理装置時間の平均ミリ秒数。これは、ジョブが使用した処理装置時間 (ミリ秒数) を非同期ディスク入出力カウントで割って算出されます。

CPU/SYNC I/O (CPU/同期入出力)

(ジョブ間隔) 各同期ディスク入出力操作に要した処理装置時間の平均ミリ秒数。これは、ジョブが使用した処理装置時間 (ミリ秒数) を同期ディスク入出力カウントで割って算出されます。

CPU/TNS

(トランザクション) 間隔中のジョブのトランザクションごとの平均処理秒数。これは、使用された処理装置時間の合計を、処理されたトランザクションの数で割って算出されます。

CPU/TNS (SEC) (CPU/TNS (秒数))

(トランザクション) トランザクションごとの処理装置の秒数

CTL (構成要素) 制御装置識別コード**CUM CPU UTIL (累積 CPU 使用率)**

(トランザクション) 所定のカテゴリより小さいか等しいトランザクションごとの平均応答時間をもつトランザクションが使用した、処理装置の使用可能時間の累積パーセント。たとえば、合計追跡期間の全ジョブ優先順位別 CPU (システム要約データ) では、所定の優先順位より高いか等しい優先順位でジョブが使用した処理装置時間です。

CUM PCT TNS (累積 PCT TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの累積 CPU パーセント。システム要約データでは、所定のカテゴリより小さいか等しいトランザクションごとの平均応答時間をもつすべてのトランザクションの累積 CPU パーセントです。対話式プログラム・トランザクション統計では、リストされたプログラムによるすべてのトランザクションの累積 CPU パーセントです。ジョブ統計セクションでは、リストされたジョブによる合計トランザクションの累計 CPU パーセントです。対話式プログラム統計セクションでは、リストされたプログラムによるすべてのトランザクションの累積 CPU パーセントです。

CUM UTIL (累計使用率)

(システム) 累積 CPU 使用率 (現在高)

注: これは個々のジョブから取られ、作業負荷ページの処理装置使用率の合計とわずかに異なる場合があります。

CUR INL MPL (現行不適合 MPL)

(トランザクション) 記憶域プール内で活動レベルを待機している (不適合) ジョブの数

CUR MPL (現行 MPL)

(トランザクション) 記憶域プールで活動レベルを保持しているジョブの数

» CURRENT USER (現行ユーザー)

(ジョブ) 各間隔の最後でジョブが実行していたユーザーの名前 «

DASD OPS/SEC (DASD 操作回数/秒)

(構成要素) 1 秒当りのディスク操作回数

DASD OPS PER SEC READS (DASD 読み取り操作回数/秒)

(リソース) 1 秒当りの読み取り回数

DASD OPS PER SEC WRITES (DASD 書き込み操作回数/秒)

(リソース) 1 秒当りの書き込み回数

DATAGRAMS RECEIVED (受信データグラム)

(構成要素) インターフェースから受信された入力データグラムの合計数。この数には、誤って受信されたものも含まれています。

DB CPB UTIL (DB CPB 使用率)

(構成要素) データベース処理の実行に使用されるデータベース機能のパーセント

DB FAULT (DB 不在)

(システム、構成要素) データベースのページ不在の 1 秒当りの平均回数

DB PAGES (DB ページ)

(システム、構成要素) 読み取られたデータベース・ページの 1 秒当りの平均数

DB READ (DB 読み取り)

(トランザクション) 物理入出力カウント欄にリストされている場合は、ジョブがその状態にあった間のデータベース読み取り要求の数。同期ディスク入出力要求 /TNSの欄にリストされている場合は、トランザクションごとの同期データベース読み取り要求の平均数。

DB WRITE (DB 書き込み)

(トランザクション) 同期ディスク入出力要求 /TNSの欄にリストされている場合は、トランザクションごとの同期データベース書き込み要求の平均回数

DB WRT (DB 書き込み)

(トランザクション) 物理入出力カウント欄にリストされている場合は、ジョブがその状態にあった間のデータベース書き込み要求の回数。同期ディスク入出力カウント欄にリストされている場合は、トランザクションごとの同期データベース書き込み要求の回数。

DDM I/O (DDM 入出力)

(構成要素、ジョブ間隔) 分散データ管理 (DDM) サーバー・ジョブの論理データベース入出力操作の数

DDM SVR WAIT /TNS (DDM SVR 待機 /TNS)

(トランザクション) トランザクションごとに、ターゲット・システムがデータの要求に対して応答するのを待つために、ソースの分散データ管理 (DDM) サーバー・ジョブが費やした平均時間 (秒数)。この値には、回線時間およびターゲット・システムがデータの要求に応答するのに費やした時間が含まれます。

DEC (トランザクション) 10 進オーバーフロー例外の数**DECIMAL DATA (10 進データ)**

(構成要素) 1 秒当りのデータ例外カウント。データ例外は、無効なデータが演算命令によって検出された場合に起こります。10 進命令での無効な符号または数字コード、または乗算命令での左端のゼロの不足などがその例です。

▶▶ DECOMMIT OPS (コミット解除操作)

(構成要素) 実行されるコミット解除操作。アプリケーションおよびシステムによって提供された参照保全コミット解除も含まれます。◀◀

DECIMAL OVERFLOW (10 進オーバーフロー)

(構成要素) 1 秒当りの 10 進オーバーフローの数

DESCRIPTION (説明)

(構成要素) 例外タイプの詳細な説明

DETECTED ACCESS TRANSMISSION ERROR (DTSE) IN (検出済みアクセス伝送エラー (DTSE) イン) (リソース間隔) ネットワーク終端装置 1 (NT1) 終点が、端末装置 (TE) に対して、回線伝送終端装置 (LT) から NT1 終点への ISDN U インターフェースを通るデータのエラーを通知した回数。NT1 終点は、保守チャンネル S1 を介して TE へエラーを報告します。

DETECTED ACCESS TRANSMISSION ERROR (DTSE) OUT (検出済みアクセス伝送エラー (DTSE) アウト) (リソース間隔) ネットワーク終端装置 1 (NT1) 終点が、端末装置 (TE) に対して、NT1 終点から LT への ISDN U インターフェースを通るデータのエラーを通知した回数。NT1 終点は、保守チャンネル S1 を介して TE へエラーを報告します。

DEVICE (装置)

(構成要素) 装置識別コード

DIO/SEC ASYNC (DIO/秒 - 非同期)

(システム) 1 秒当り非同期入出力操作の回数

DIO/SEC SYNC (DIO/秒 - 同期)

(システム) 1 秒当り同期入出力操作の回数

DISK ARM SEEK DISTANCE (ディスク・アームのシーク距離)

(構成要素) 1 時間当りの平均シーク距離の分布

- 0** シーク距離がゼロの回数
- 1/12** シーク数がディスクの 0 から 1/12 の回数
- 1/6** シーク数がディスクの 1/12 から 1/6 の回数
- 1/3** シーク数がディスクの 1/6 から 1/3 の回数
- 2/3** シーク数がディスクの 1/3 から 2/3 の回数
- >2/3** シーク数がディスクの 2/3 を超えた回数

DISK ARMS (ディスク・アーム)

(システム) この IOP のディスク・アームの数

DISK CAPACITY (ディスクの容量)

(構成要素) 使用済みまたは使用可能な平均ディスク・スペース量

MB ディスクで使用可能な 100 万バイト単位のスペース

PERCENT (パーセント)

ディスクで使用可能なスペースのパーセント

DISK CONTROLLERS (ディスク制御装置)

(システム) この IOP のディスク装置制御装置の数

DISK FEATURE (ディスク機構)

(システム) ディスクのタイプ (9332、9335 など)

DISK I/O ASYNC (ディスク入出力 - 非同期)

(システム、構成要素) 非同期ディスク入出力操作の合計回数

DISK I/O LOGICAL (ディスク入出力論理)

(構成要素) GET や PUT のような論理ディスク操作の回数

DISK I/O PER SECOND (ディスク入出力/秒)

(システム) 1 秒当りの平均物理ディスク入出力操作回数

DISK I/O READS /SEC (ディスク入出力読み取り/秒)

(リソース間隔) ディスク IOP による 1 秒当りのディスク読み取り操作の平均回数

DISK I/O REQUESTS (ディスク入出力要求)

(トランザクション) 追跡期間中にジョブによって出された同期および非同期ディスク入出力要求の合計回数

DISK I/O SYNC (ディスク入出力 - 同期)

(システム、構成要素) 同期ディスク入出力操作の合計回数

DISK I/O WRITES /SEC (ディスク入出力書き込み/秒)

(リソース間隔) ディスク IOP による 1 秒当りのディスク書き込み操作の平均回数

DISK IOP (ディスク IOP)

(システム) ディスク IOP 制御装置の数

DISK MIRRORING (ディスク・ミラーリング)

(システム) ディスク・ミラーリングが活動状態であるかどうかを示します。

DISK SPACE USED (使用ディスク・スペース)

(リソース間隔) システム全体で使用された合計ディスク・スペース (メガバイト数)

DISK TRANSFER SIZE (KB) (ディスク転送サイズ (KB))

(システム) ディスク操作ごとに転送された平均キロバイト数

DISK UTILIZATION (ディスク使用率)

(システム) ディスク・アームが入出力操作を行っていた時間間隔の比率

DISK CPU UTIL (ディスク CPU 使用率)

(システム、リソース間隔) ディスク装置によって使用された CPU 使用率

DTGM REQ TRANSM DSCRD (データグラム要求送信廃棄)

(構成要素) 次の理由によって廃棄される IP データグラムのパーセント

- データグラムを宛先に送信するための経路が検出されなかった
- バッファ・スペースの不足

DTGM REQ FOR TRANSM TOT (送信されるデータグラム要求の合計)

(構成要素) ローカル IP ユーザー・プロトコルが送信を要求する際に IP に提供した IP データグラムの合計数

ELAPSED SECONDS (経過秒数)

(トランザクション、構成要素) 経過時間 (秒数)。トランザクション報告書のバッチ・ジョブ分析セクションでは、ジョブの開始時から終了時まで経過した秒数。トランザクション報告書の並行バッチ・ジョブ統計では、ジョブ・セット内のすべてのジョブの合計経過時間。

ELAPSED TIME (経過時間)

(ジョブ間隔) 間隔中にジョブが存在していた時間の長さ (分および秒)。これは間隔の長さと同じですが、ジョブが間隔中に開始または終了した場合は、間隔の長さより短くなります。

ELAPSED TIME - SECONDS (経過時間 (秒))

(トランザクション) 以下の欄でジョブによって費やされた時間を示します。

LONG WAIT (長時間待機)

次のトランザクションの待機またはロック待機時間などの状態で費やした経過時間

ACTIVE/RSP (活動/応答)

トランザクション処理中に活動レベルを保持し (待機または活動状態で)、ジョブが費やした時間。これは、トランザクション終了時 (トランザクション合計行) に、ロックによって起こった長期待機と不適格状態において活動レベルでのトランザクションの処理でジョブが費やした時間です。

INEL WAIT (不適格待機)

ジョブが活動レベルを待機していて不適格待機状態で費やした時間

EM3270 WAIT /TNS (EM3270 待機/TNS)

(トランザクション) トランザクションごとに、システム・ネットワーク体系 (SNA) ホスト・システム通信および 2 進データ同期通信 (BSC) 3270DE を待機して費やした時間の平均 (秒数)。エミュレーション・プログラムが表示装置またはホスト処理装置と通信しているかどうかを判別するためには、プログラム論理が必要になります。事象待機処理にも要件があるために、移行のすべての組み合わせを検出できるとは限りません。

EORn (トランザクション) 待機欄にリストされ、トランザクション n の応答時間の終わりを示します。これらのコードは、待機コード欄に示されますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。

EOTn (トランザクション) 待機欄にリストされ、タイプ n のトランザクションの移行の終わりを示します。これらのコードは、待機コード欄に示されますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。

ESTIMATED EXPOSR AP NOT JRNLD (アクセス・パスが未処理の場合の見積時間)

(構成要素) アクセス・パスがシステムによってジャーナル処理されていない場合、システムが見積もったアクセス・パス回復にかかる時間 (分)

ESTIMATED EXPOSR CURR SYSTEM (現行システムによる見積時間)

(構成要素) システムが見積もったアクセス・パスの回復にかかる時間 (分)

EST OF AWS (AWS の推定値)

(トランザクション) 追跡期間または間隔中の活動ワークステーション数の推定値。600 秒を超える遅延時間は、600 秒に丸められます。この手法は、偶発的ユーザー (断続的に作業を行うか、長期間ワークステーションを離れるユーザー) が活動ワークステーション数の推定値に及ぼす影響を軽減するために使用されます。

EVENT WAIT /TNS (事象待機/TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの事象待機時間の平均時間 (秒数) システムで実行されているジョブが行う要求は多くの場合、非同期ジョブになります。これらの非同期ジョブは、事象を用いて要求の完了を要求側に知らせます。事象待機時間は、要求側ジョブがこの信号を待つ時間です。

EVT (トランザクション) Wait Code (待機コード) の欄にリストされる事象待機。メッセージ・キューでの待機時に起こる長時間待機です。

EXCEPTION TYPE (例外タイプ)

(構成要素) 内部マイクロプログラム命令手順で実行中の内部マイクロプログラム命令の結果であるプログラム例外のタイプ。これらの例外はシステムの低レベルでモニターされるため、これを特定のエンド・ユーザー操作と関連付けることは困難です。このカウントは、それらの処理に要する処理装置時間がシステムのパフォーマンスに影響を与える場合に意味をもちます。このカウントに変動がある場合は、パフォーマンスに影響を与えるシステム変更を意味します。たとえば、占有カウ

ントまたはロック・カウントに大きな変動があれば、ジョブ・スケジューリングに問題があるか、または同じリソースを使用する古いアプリケーションと新しいアプリケーションの間に競合があることを示します。

注: 占有カウントおよびロック・カウントを知るには、パフォーマンス追跡開始 (STRPFRTRC) コマンドを使用して追跡データを収集する必要があります。トランザクション報告書印刷 (PRTNSRPT) を実行して、ロックを保持しているオブジェクトおよびジョブをリストします。

EXCEPTIONAL WAIT (例外的待機)

(システム) トランザクションごとの例外待機時間の平均秒数。例外的待機 は、内部応答時間の中で、処理装置およびディスクの使用によるものではない部分です。例外的待機は、システムの内部リソースの競合、たとえばデータベース・レコードのロックの待機などによって起こります。

CONSTANT (固定)

例外待機時間でスループットが向上しても一定の部分

VARIABLE (変動)

例外待機時間でスループットが向上すると変動する部分

EXCP (例外)

(構成要素、トランザクション) 構成要素報告書では、起こったプログラム例外の合計数です。トランザクション報告書では、この欄の Y はトランザクションに例外があったことを意味します。含まれる例外のタイプは、処理アクセス・グループ例外、および 10 進数、2 進数、ならびに浮動小数点数のオーバーフローです。トランザクションにあった例外を調べるには、37 ページの『トランザクション報告書 - 移行報告書オプション』を参照してください。

EXCP WAIT (例外的待機)

(トランザクション) ジョブ・セット内のジョブの例外的待機時間の合計 (秒数)

EXCP WAIT /TNS (例外的待機/TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの例外的待機の平均時間 (秒数)。この値は、ジョブ・タイプ別の例外的待機内訳にリストされた待機の合計です。

EXCP WAIT SEC (例外的待機秒数)

(トランザクション) ジョブの例外的待機時間の合計量 (秒数)

EXCS ACTM /TNS (超過 ACTM /TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの超過活動レベル時間 (たとえば、活動状態だが処理装置を使用していない場合に費やされる時間) の平均時間 (秒数)。使用可能な活動レベルが十分で、優先順位が高い対話式作業を多く行わなければならない場合は、ジョブは処理装置のサイクルの順番になるまでさらに長く待つこととなります。値が 0.3 より大きい場合は、詳細について、特定のアプリケーションに対応するジョブを見てください。これらのジョブを調べることによって、どのアプリケーションのジョブがこの値に最も関連しているか判別することができます。詳細については、これらのジョブのトランザクション報告書および移行報告書を使用してください。超過活動レベル時間の計算式を以下に示します。

活動時間 - [
(乗数 X CPU X 開始活動レベル) +
(同期ディスク入出力操作回数 X .010)]

注: 開始活動レベルが 1 より大きい場合、乗数は 0.5 になります。開始活動レベルが 1 以外の値の場合は、乗数は 1 になります。

EXPERT CACHE (エキスパート・キャッシュ)

(システム、構成要素) システムに対し、オブジェクト内のデータの参照パターンに基づいて、どのオブジェクトまたはオブジェクトの部分を共用主記憶域プールに残すべきかを判別してシステムに指示します。エキスパート・キャッシュは、システムの動的チューナーとは独立して実行される記憶管理チューナーを使用して、全体的なページング特性およびプールのヒストリーを調べます。この欄に現れる値の中には、共用プールの処理 (WRKSHRPOOL) コマンドと次のような関係があるものがあります。

- 0=*FIXED。システムが記憶域プールのページング特性を動的には調整しないことを示しています。システムはデフォルトを使用します。
- 3=*CALC。システムが、最適パフォーマンスのために記憶域プールのページング特性を動的に調整することを示しています。

EXPOSED AP SYSTEM JOURNALED (システムでジャーナル処理されているアクセス・パス)

(構成要素) 現在システムによってジャーナル処理されているアクセス・パスの数

EXPOSED AP SYSTEM NOT JOURNALED (システムでジャーナル処理されていないアクセス・パス)

(構成要素) 現在システムによってジャーナル処理されていない関係するアクセス・パスの数

/F (システム、リソース間隔) 全二重として報告されたプロトコルの回線速度。この標識は、イーサネット (ELAN)、トークンリング (TRLAN) 回線、または非同期転送モード回線に適用されます。

FAR END CODE VIOLATION (終端端末コード違反)

(リソース間隔) T 参照点のインターフェースでネットワーク終端装置 1 (NT1) 終点に伝送されたフレームについて、NT1 終点が検出した意図しないコード違反の数。NT1 終点は、保守チャンネル S1 を介して終端装置 (TE) に違反を報告します。

FAULTS (不在)

(システム) 収集中に各ジョブ・タイプまたはジョブ優先順位ごとに発生したページ不在の合計を表す値。これは、QAPMJOBS または QAPMJOB L ファイルの JBTFLT フィールドで示されている値と同じです。

FILE (ファイル)

(トランザクション) オブジェクトが入っているファイル

FLP (トランザクション) 浮動小数点オーバーフロー例外の数

FLP OVERFLOW (FLP オーバーフロー)

(構成要素) 1 秒当りの浮動小数点オーバーフローの回数

FRAME RETRY (フレーム再試行)

(リソース間隔) 遠隔制御装置にフレームの再送信を試みた回数

FRAMES RECEIVED PCT ERR (受信フレーム・エラー %)

(リソース間隔) 受信エラーのあったフレームのパーセント。ホスト・システムにエラーがあるか、あるいは十分に速く受信データを処理できない場合に、エラーが起こる可能性があります。

FRAMES RECEIVED TOTAL (受信フレーム合計)

(リソース間隔) 受信したフレームの合計数。エラーのあったフレームおよび有効でないフレームも含まれます。

FRAMES TRANSMITTED PCT ERR (伝送フレーム・エラー %)

(リソース間隔) エラーのために再送信されたフレームのパーセント

FRAMES TRANSMITTED TOTAL (伝送フレーム合計)

(リソース間隔) 送信されたフレームの合計数

FUNCTIONAL AREAS (業務分野)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 報告書選択基準では、含める (SLTFCNARA パラメーター) または除外する (OMTFCNARA パラメーター) ことにより選択された業務分野のリスト

/H (システム、リソース間隔) 半二重として報告されたプロトコルの回線速度。この標識は、イーサネット (ELAN)、トークンリング (TRLAN) 回線、または非同期転送モード回線に適用されます。

HDW (トランザクション) 待機コード欄にリストされる保留待機 (延期されたジョブまたはシステム要求)。ジョブは、報告書の次の明細行 (OBJECT ー) に示されたオブジェクトに対して持っていたロックを解放しました。オブジェクトを待機していたジョブは、この行 (WAITER ー) に名前が示され、そのジョブがロックの解放の待機に費やされた時間も同時に示されます。

HIGH SRV TIME (高サービス時間)

(リソース間隔) システムのディスク・アームの最高平均サービス時間 (秒数)

HIGH SRV UNIT (高サービス装置)

最高サービス時間のディスク・アーム

HIGH UTIL (高使用率)

(リソース間隔) 最高使用率のディスク・アームの使用パーセント

HIGH UTIL UNIT (高使用率装置)

(構成要素、リソース間隔) 使用率が最高のディスク・アーム

HIGH UTILIZATION DISK (高使用率ディスク)

(構成要素) この間隔中に最も使用率が高かったディスク・アームの使用率のパーセント

HIGH UTILIZATION UNIT (高使用率装置)

(構成要素) この間隔中に最も使用率の高かったディスク・アーム

HOLDER JOB NAME (保持ジョブ名)

(トランザクション) オブジェクトを保持していたジョブの名前

HOLDER NUMBER (保持番号)

(トランザクション) オブジェクトを保持していたジョブの番号

HOLDER POOL (保持プール)

(トランザクション) ジョブの実行中にそのジョブが入っていたプール

HOLDER PTY (保持優先順位)

(トランザクション) 保持ジョブの優先順位

HOLDER TYPE (保持タイプ)

(トランザクション) 保持ジョブのタイプおよびサブタイプ

HOLDER USER NAME (保持ユーザー名)

(トランザクション) オブジェクトを保持していたユーザーの名前

HOLDER'S JOB NAME (保持ジョブ名)

(ロック) ロックを保持しているジョブの名前

I FRAMES RECD PER SEC (受信 I フレーム/秒)

(リソース間隔) 受信された 1 秒当りの情報フレーム数

I FRAMES TRNSMITD PER SEC (送信 I フレーム/秒)

(リソース間隔) 送信された 1 秒当りの情報フレーム数

I/O WAIT (入出力待機)

(リソース間隔) 入出力要求が処理可能な状態にありながら、ディスク・アームがまだその要求を実行できない状態にある時間の量

ICMP MESSAGES ERROR (ICMP メッセージ・エラー)

(構成要素) エンティティが受信したものの、メッセージにエラーがあることを判別したか、問題があるためにエンティティが送信しなかった Internet Control Message Protocol (ICMP) メッセージの数

ICMP MESSAGES RECEIVED (受信 ICMP メッセージ)

(構成要素) エンティティが受信した Internet Control Message Protocol (ICMP) メッセージの合計数

ICMP MESSAGES SENT (送信 ICMP メッセージ)

(構成要素) エンティティが送信した Internet Control Message Protocol (ICMP) メッセージの合計数

INCOMING CALLS PCT RETRY (着呼再試行 %)

(リソース間隔) ネットワークに拒否された着呼のパーセント

INCOMING CALLS TOTAL (着呼の合計)

(リソース間隔) 着呼を試みた合計回数

INEL TIME A-I/W-I (INEL 時間 A-I/W-I)

(トランザクション) タイム・スライス終了から (活動状態から不適格状態へ) または待機状態から (待機状態から不適格状態へ) の不適格状態でジョブが費やした時間の量

INEL WAIT (不適格待機)

(トランザクション) 「経過時間 - 秒数」の欄にリストされ、ジョブが不適格状態で活動レベルの待機に費やした時間

INT FEAT UTIL (対話式機能使用率)

(構成要素) 全ジョブによって使用される対話式機能のパーセント

INTER CPU UTILIZATION (INTER CPU 使用率)

(構成要素) 次のタイプのジョブが使用した使用可能な処理装置時間のパーセント

- 対話式
- 複数要求端末 (MRT)
- システム/36^(TM) 環境対話式
- パススルー
- ターゲット分散データ管理 (DDM) サーバー
- サーバー

注: 複数処理装置システムの場合、これはすべての処理装置を通算した平均使用率です。

IOP (構成要素) 通信 IOP、DASD IOP、ローカル・ワークステーション IOP、および多機能 IOP のそれぞれについての、入出力処理装置 (IOP) のリソース名およびモデル番号。通信 IOP は、その IOP で使用された CPU のパーセント。パーセントは、必ずしも IOP がデータ転送を行っていることを意味するものではありません。パーセントの一部は、活動回線のオーバーヘッドによることがあります。

IOP NAME/LINE (IOP 名前/行)

(システム、リソース間隔) 入出力 (IOP) 処理装置のリソース名およびモデル番号行

IOP NAME(MODEL) (IOP 名前 (モデル))

(リソース間隔) 入出力処理装置 (IOP) の識別コードおよびモデル番号 (括弧内)

IOP NAME (IOP 名)

(システム、構成要素) 入出力処理装置 (IOP) のリソース名

IOP NAME NETWORK INTERFACE (IOP 名ネットワーク・インターフェース)

(リソース間隔) ネットワーク・インターフェースの IOP 名

IOP PROCESSOR UTIL COMM (通信 IOP 処理装置使用率)

(構成要素、リソース) 通信活動による IOP の使用率

IOP PROCESSOR UTIL LWSC (LWSC IOP 処理装置使用率)

(構成要素、リソース) ローカル・ワークステーション活動による IOP の使用率

IOP PROCESSOR UTIL DASD (DASD IOP 処理装置使用率)

(構成要素、リソース) DASD 活動による IOP の使用率

IOP PROCESSOR UTIL TOTAL (合計 IOP 処理装置使用率)

(構成要素、リソース間隔) 各ローカル・ワークステーション、ディスク、および通信 IOP の使用率の合計パーセント

IOP UTIL (IOP 使用率)

(システム) システム報告書のディスク使用率セクションでは、各入出力処理装置 (IOP) の使用率のパーセント

注: 多機能入出力処理装置の場合、この使用率はディスク活動だけによるもので、通信活動によるものではありません。システム・モデル・パラメーターのセクションでは、ディスク IOP が入出力操作を行っていた時間間隔の比率です。

ITV END (間隔終了)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔、リソース間隔) データが収集された時刻 (時および分)。構成要素報告書の例外発生要約および間隔カウントでは、収集サービスが例外を記録したサンプル間隔の終了時刻です。

JOB MAXIMUM A-I (ジョブ 最大 A-I)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによる活動状態から不適格状態への移行の最大数

JOB MAXIMUM A-W (ジョブ 最大 A-W)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによる活動状態から待機状態への移行の最大数

JOB MAXIMUM CPU UTIL (ジョブ 最大 CPU 使用率)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによって使用された使用可能な処理装置時間の最大パーセント

JOB MAXIMUM PHY I/O (ジョブ 最大物理入出力)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによる物理ディスク入出力操作の最大回数

JOB MAXIMUM RSP (ジョブ 最大応答時間)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによるトランザクションごとの最大応答時間 (秒数)。応答時間は、リソースの待機および使用に費やした時間の合計を、トランザクション数で割ったものです。

JOB MAXIMUM TNS (ジョブ 最大トランザクション)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによるトランザクションの最大数

JOB MAXIMUM W-I (ジョブ 最大 W-I)

(プール間隔) プールまたはサブシステムで選択されたジョブによる待機状態から不適格状態への移行の最大数

JOB NAME (ジョブ名)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、バッチ・ジョブ追跡) ジョブの名前。トランザクション報告書のジョブ要約報告書では、ジョブがシステムのジョブ再経路指定 (RRTJOB) コマンドを使用している場合、そのジョブ (同一のジョブ名、ユーザー名、およびジョブ番号) がこのリストに複数回示されます。

JOB NUMBER (ジョブ番号)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、バッチ・ジョブ追跡) 要約行に示されるジョブの番号。トランザクション報告書では、ジョブ番号の前のアスタリスク (*) は、そのジョブが測定期間中にサインオンされたことを示します。ジョブ番号の後のアスタリスク (*) は、そのジョブが測定期間中にサインオフされたことを示します。

JOB PTY (ジョブ PTY)

(バッチ・ジョブ追跡) ジョブの優先順位

JOB SET (ジョブ・セット)

(トランザクション) ジョブ・セットの数とは、追跡期間の任意の時点で活動状態になっていたバッチ・ジョブの数のことです。2 つのジョブが順次実行される場合は、同じジョブ・セット中の 2 つのジョブとして示されます。2 つのジョブが並行して実行される場合は、別のジョブ・セット中にあるものとして示されます。

JOB TYPE (ジョブ・タイプ)

(トランザクション報告書に関する注釈がある場所を除き、全報告書) ジョブ・タイプおよびサブタイプ。ジョブ・タイプの値は、次のとおりです。

A 自動開始

B バッチ

BD バッチ即時 (トランザクションのみ)

注: バッチ即時値は、「活動ジョブの処理」画面では BCI として、また「サブシステム・ジョブの処理」画面では BATCHI として表示されます。

BE バッチ呼び出し (トランザクションのみ)

BJ バッチ事前開始ジョブ (トランザクションのみ)

C APPC 上の 5250 エミュレーション、および APPC または TCP/IP のいずれかを実行している iSeries^(TM) アクセス・ホスト・サーバーを含む、プログラム式ワークステーションのアプリケーション・サーバー。次の事項のいずれかが真である場合、ジョブは iSeries アクセス・サーバーとして報告されます。

- 着信 APPC 呼び出しが、サーバー・プログラム名のいずれかを要求している場合。これは、指定のプログラムをすでに待機している、QSERVER、QCMN、および QSYSWRK サブシステムの事前開始ジョブに対しても適用されます。
- 着信 IP ポート番号が、サービスの名前 - 記述 - ポート - 番号のいずれかに対応する場合。これは、割り当てられた IP ポート番号をすでに待機している、QSERVER、QCMN、および QSYSWRK サブシステムの事前開始ジョブに対しても適用されます。

- 着信 IPX ソケット番号が、サービスの名前 - 記述 - ポート - 番号のいずれかに対応する場合。これは、割り当てられた IPX ポート番号をすでに待機している、QSERVER、QCMN、および QSYSWRK サブシステムの事前開始ジョブに対しても適用されます。
- OS/2 コミュニケーション・マネージャーまたは OS/2^(R) 同等機能のもとでの 5250 エミュレーションによって送信された APPC データ・ストリームに由来する、着信 5250 表示装置エミュレーション・ジョブ

- D** ターゲット分散データ管理 (DDM) サーバー
- I** 対話式。対話式には、平衡型データ・リンク制御 (TDLC)、5250 遠隔ワークステーション、および 3270 遠隔ワークステーションを含みます。トランザクション報告書の場合、これには平衡型データ・リンク制御 (TDLC)、5250 遠隔ワークステーション、3270 遠隔ワークステーション、SNA パススルー、および 5250 Telnet を含みます。
- L** ライセンス内部コード・タスク
- M** サブシステム・モニター
- P** SNA パススルーおよび 5250 Telnet パススルー。トランザクション報告書では、これらのジョブは I (対話式) として表示されます。
- R** スプール読み取りプログラム
- S** システム
- W** スプール書き出しジョブ、および高機能印刷 (AFP^(TM)) が指定されている場合は印刷ドライバー・ジョブを含む、スプール書き出しプログラム
- WP** スプール印刷ドライバー (トランザクションのみ)
- X** システム開始ジョブ

ジョブのサブタイプの値は、次のとおりです。

- D** 即時のバッチ・ジョブ
- E** 呼び出し (通信バッチ)
- J** 事前開始ジョブ
- P** 印刷ドライバー・ジョブ
- T** 複数要求端末 (MRT) (システム/36 環境のみ)
- 3** システム/36

非対話式ジョブは、次のとおりです。

- 自動開始
- バッチ
- 呼び出し
- **》 iSeries アクセス・バッチ《**
- **》 サーバー《**
- スプール
- **》 分散データ管理 (DDM) サーバー《**

特殊な対話式ジョブ・カテゴリーには、以下が含まれます。

- 対話式

- 複数要求端末 (MRT)
- パススルー
- システム/36

JOBS (ジョブ)

(システム、構成要素、トランザクション、プール間隔、ジョブ間隔) 指定するジョブ。項目の形式は、ジョブ番号/ユーザー名/ジョブ名です。報告書選択基準報告書では、含める (SLTJOB パラメーター) または除外する (OMTJOB パラメーター) ことにより選択されたジョブのリストです。これには、SLTFCNARA または OMTFCNARA パラメーターを使用して選択されたジョブは含まれません。

K PER I/O (K/入出力)

(システム、リソース間隔) 各ディスク入出力操作で読み取りまたは書き込みされたキロバイト (1024 バイト) の平均数

K/T /TNS SEC (K/T /TNS 秒)

(トランザクション) 秒単位の平均遅延時間、またはジョブのトランザクション間で入力および考慮に費やされた時間。この値は、ジョブの活動状態から待機状態への移行、待機状態から活動状態への移行、または待機状態から不適格状態への移行の時間間隔を示します。

KB PER I/O READ (KB/入出力読み取り)

(リソース間隔) 読み取り操作当りの転送された平均キロバイト数 (1KB は 1024 バイト)

KB PER I/O WRITE (KB/入出力書き込み)

(リソース間隔) 書き込み操作当りの転送された平均キロバイト数 (1KB は 1024 バイト)

KB RECEIVED/SECOND (受信 KB/秒)

(システム、構成要素) 選択された間隔中に指定されたインターフェースが活動状態だった場合に、そのインターフェース上で 1 秒当りに受信されたキロバイト (1024) の合計数。ただし、フレーム文字を含みます。

KB TRANSMITTED/SECOND (送信 KB/秒)

(システム、構成要素) 選択された間隔中に指定されたインターフェースが活動状態だった場合に、そのインターフェースから 1 秒当りに送信されたキロバイト (1024) の合計数。ただし、フレーム文字を含みます。

KBYTE TRANSMITTED IOP (IOP 送信キロバイト)

(構成要素、リソース間隔) バスを介して IOP からシステムに送信された合計キロバイト数

KBYTE TRANSMITTED SYSTEM (システム送信キロバイト)

(構成要素、リソース間隔) バスを介してシステムから IOP に送信された合計キロバイト数

KEY/THINK (入力/思考)

(トランザクション) プログラムがワークステーション・ユーザーを待機するのに費やした時間の量

KEY/THINK /TNS (入力/思考 /TNS)

(トランザクション) 対話式ジョブの平均の考慮時間と入力時間、またはトランザクション境界間の遅延時間 (秒数)

L

(ロック) ロック競合と占有競合のどちらであるかを示します。この欄には、ロックの場合は L、占有の場合はブランクが入ります。

LAPD PCT FRAMES RECD IN ERROR (エラーで受信した LAPD フレーム %)

(リソース間隔) エラーで受信したフレームのパーセント (D チャンネルだけに適用)。ホスト・システムにエラーがあるか、あるいは十分に速く受信データを処理できない場合に、エラーが起こる可能性があります。

LAPD PCT FRAMES TRNSMITD AGAIN (再送信 LAPD フレーム %)

(リソース間隔) エラーにより再送信されたフレームのパーセント (D チャンネルにだけ適用)

LAPD TOTAL FRAMES RECD (受信 LAPD フレーム合計)

(リソース間隔) エラーのあるフレームおよび正しくないフレームを含む受信フレームの合計数 (D チャンネルにだけ適用)

LAPD TOTAL FRAMES TRNSMITD (送信 LAPD フレーム合計)

(リソース間隔) 送信されたフレームの合計数 (D チャンネルにだけ適用)

LAST 4 PROGRAMS IN INVOCATION STACK (呼び出しスタックの最後の 4 つのプログラム)

(トランザクション) プログラム・スタックの最後の 4 つのプログラム。たとえば、トランザクションの開始時 (ワークステーションの操作員が実行キーを押した場合など) には、名前が QT3REQIO、QWSGET のプログラム、および読み取り操作を行ったプログラムが示されます。またトランザクションの終了時 (プログラムが画面に書き込みを行う場合など) は、QT3REQIO、QWSPUT、および画面に書き込みを行ったプログラムが示されます。通常、スタックの 3 番目または 4 番目のプログラムがトランザクション要約の PGMNAME データに示されるプログラムです。ただし、待機コード の欄に値が示されている場合は、最終 のラベルがある欄のプログラムが追跡レコードの原因となったプログラムです。欄にプログラム名がない場合は、その欄の前のプログラム名と同じで、名前が省略されています。

LENGTH OF WAIT (待機の長さ)

(ロック) 要求元がロック・オブジェクトを待機していたミリ秒数

LGL I/O /SEC (論理入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中にジョブによって実行された論理ディスク入出力操作の 1 秒当たり平均回数。これは、論理ディスク入出力カウントを経過時間で割って算出されます。

LIBRARY (ライブラリー)

(システム、トランザクション) オブジェクトが入っているライブラリー

LINE COUNT (行カウント)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された非対話式ジョブによって印刷された行数

LINE DESCRIPTN (回線記述)

(リソース間隔) 回線記述名

LINE ERRORS (回線エラー)

(リソース間隔) 検出されたすべてのエラーの合計。この値が長時間にわたって増加する場合は、回線の状態を検査してください。

LINE SPEED (回線速度)

(システム、リソース間隔) K ビット (Kb) (1 K ビット (Kb) = 1000 ビット) 単位での 1 秒当たりの回線速度

LINE TYPE/LINE NAME (回線タイプ/回線名)

(構成要素、システム) インターフェースによって使用される回線記述のタイプおよび名前。回線記述を使用しないインターフェースの場合、回線名フィールドは *LOOPBACK、*OPC、または *VIRTUALIP と表示され、回線タイプは指定されません。

LINE UTIL (回線使用率)

(リソース間隔) 送受信操作で使用された使用可能な回線容量のパーセント

LKRL (トランザクション) ロック解放。ジョブは、報告書の次の明細行 (OBJECT 一) に示されたオブジェクトに対して持っていたロックを解放しました。オブジェクトを待機していたジョブは、この行 (WAITER 一) に名前が示され、そのジョブがロックの解放の待機に費やされた時間も同時に示されます。

LKW (トランザクション) 待機コード欄にリストされるロック待機。これが多数ある場合、または ACTIVE/RSP* の欄に時間の非常に長い項目がある場合は、追加の分析が必要です。この LKW 報告書行の前の LKWT 報告書行が、待機の対象のオブジェクトおよびそのオブジェクトの所有者を示します。

LKWT

(トランザクション) 待機コード欄にリストされるロック競合待機。ジョブはロック競合で待機しています。時間 (* / time /*) は、ロック競合の期間で、LKW 時間と同じではないにしても、これに非常に近いはずで、ロックの保持者は、報告書行の右に示されます (HOLDER 一)。ロックされたオブジェクトは、次の報告書行に示されます (OBJECT 一)。

LOCAL END CODE VIOLATION (ローカル端末コード違反)

(リソース間隔) ISDN S/T 参照点のインターフェースで受信したフレームについて、端末装置 (TE) が検出した、意図しないコード違反の回数

LOCAL NOT READY (ローカル作動不能)

(リソース間隔) ホスト・システムから送信されたすべての受信不可フレームのパーセント。このパーセントが高いのは、多くの場合、ホストが十分に速くデータを処理できないこと (輻輳 (ふくそう)) を意味しています。

LOCAL WORK STATION IOP UTILIZATION (ローカル・ワークステーション IOP 使用率)

ワークステーション入出力処理装置が使用中である時間間隔の比率

LOCAL WORK STATION IOPS (ローカル・ワークステーション IOP)

(システム) 各ローカル・ワークステーション IOP のリソース名およびモデル番号

LOCK CONFLICT (ロック競合)

(構成要素) 1 秒当りのロック例外の回数。データベース・レコードの競合がこのカウントに反映されます。詳しくは、パフォーマンス追跡開始 (STRPFTRC) コマンドを出して、PRTTNSRPT および PRTLCKRPT コマンドを使用します。このカウントは、通常のシステム操作の場合でも非常に高くなる場合があります。このカウントをモニターとして使用してください。大きな変動または変化があった場合は、これを詳細に調べてください。

LOCK WAIT /TNS (ロック待機/TNS)

(トランザクション) トランザクションごとのロック待機時間の平均時間 (秒数)。この値が高い場合は、トランザクション明細計算と PRTLCKRPT コマンドで調べてください。

LOGICAL (論理)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブによって実行された論理ディスク入出力操作の回数

LOGICAL DATABASE I/O OTHER (論理データベース入出力その他)

(システム) トランザクションごとのその他の論理データベース操作の回数。これには、更新や削除などの操作が含まれます。

LOGICAL DATABASE I/O READ (論理データベース入出力読み取り)

(システム) トランザクションごとの論理データベース読み取り操作回数

LOGICAL DATABASE I/O WRITE (論理データベース入出力書き込み)

(システム) トランザクションごとの論理データベース書き込み操作回数

LOGICAL DB I/O (論理 DB 入出力)

(システム) トランザクションごとの論理入出力操作の平均回数

LOGICAL DB I/O COUNT (論理 DB 入出力カウント)

(システム) 内部データベース入出力読み取り、書き込み、または各種の機能が呼び出された回数。この回数には、読取装置、書込装置への入出力操作、またはスプール・ファイル・コピー (CPYSPLF) コマンドまたはスプール・ファイル表示 (DSPSPLF) コマンドによって引き起こされる入出力操作は含まれません。SEQONLY(*YES) を指定すると、読み書きされた個々のレコード数ではなくて、読み書きされたレコードの各ブロックを示す数が表示されます。各種機能には、更新、削除、データの強制終了、および解放が含まれます。

LOGICAL DISK I/O (論理ディスク入出力)

(構成要素) 論理ディスク操作 (GET、PUT、更新、その他) の回数

LOGICAL I/O /SECOND (論理入出力/秒)

(システム) 1 秒当りの論理ディスク入出力操作の平均回数

LOGICAL I/O PER SECOND (論理入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された非対話式ジョブによって実行された論理ディスク入出力操作の 1 秒当り平均回数

LONG WAIT (長時間待機)

(トランザクション) ジョブがシステム・リソースの待機に費やした時間。長時間待機の例としては、レコード・ロック競合があります。「経過時間 - 秒」の欄にもリストされている通り、これは次のトランザクションの待機またはロック待機時間などの状態で費やした経過時間のことです。

LONG WAIT LCK/OTH (長時間待機 LCK/OTH)

(トランザクション) ジョブがシステム・リソースの待機に費やした時間の量。長時間待機の例としては、レコード・ロック競合があります。

LOSS OF FRAME ALIGNMENT (フレーム位置合せの消失)

(リソース間隔) 2 つの 48 ビット・フレームに相当する期間が経過する間に有効な回線コード違反の対を検出しない回数

MAC ERROR (MAC エラー)

(リソース間隔) 媒体アクセス制御 (MAC) エラーの数

MAIN STORAGE (MB) (主記憶装置 (MB))

(システム) メガバイト単位の主記憶装置の合計サイズ。これらのコードは待機コード欄に入っていますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。

MAX UTIL (最大使用率)

(システム) 所定の限界値以上で一貫して使用している場合は、システムのパフォーマンスに影響を生じ、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。

MAXIMUM (最大)

(トランザクション) この欄の項目の最大値

MEMBER (メンバー)

(システム、トランザクション) システム報告書の場合は、CRTPFRTA コマンドの TOMBR パラメーターで指定されたパフォーマンス・データ・メンバーの名前。トランザクション報告書の場合は、競合に関与したメンバー。

MINIMUM (最小)

(トランザクション) この欄の項目の最小値

MRT MAX TIME (MRT 最大時間)

(システム) MRTMAX に到達した後、複数要求端末の 1 つに経路指定されたジョブによって待機に費やされた時間

注: ジョブ・タイプが MRT 以外の場合、この欄には値は示されません。

MTU SIZE (BYTE) (MTU サイズ (バイト))

(システム) インターフェース上で送受信できる最大のデータグラムのサイズ。サイズは、オクテット (バイト) で指定されます。ネットワーク・データグラムの送信に使用されるインターフェースの場合、これは、インターフェース上で送信できる最大のネットワーク・データグラムのサイズです。

NBR A-I (A-I 数)

(トランザクション) ジョブ別の活動状態から不適格状態への移行の回数。この欄は、システムがトランザクションの処理を開始できるようになる前に、ジョブが割り当てられたタイム・スライスの値を超え、活動レベル・スロットを待機しなければならなかった回数を示します。この欄に値が表示された場合は、ジョブが実行中の作業を調べて、タイム・スライス値の変更が必要かどうかを判断してください。

NBR EVT (事象数)

(トランザクション) ジョブ処理中に起こった事象待機の数

NBR JOBS (ジョブ数)

(トランザクション) ジョブの数

NBR SIGN OFFS (サインオフ数)

(トランザクション) 間隔中にサインオフしたジョブの数

NBR SIGN ONS (サインオン数)

(トランザクション) 間隔中にサインオンしたジョブの数

NBR TNS (トランザクション数)

(トランザクション) 所定のカテゴリー内のトランザクションの数

注: PRTTNSRPT コマンドを用いて作成する報告書に示されるトランザクション・カウントの値およびその他のトランザクション関連情報は、PRTSYSRPT および PRTCPTRPT コマンドを用いて作成する報告書に示される値と異なる場合があります。この相違の原因は、PRTTNSRPT コマンドでは追跡データを入力として使用するのに対し、PRTSYSRPT および PRTCPTRPT コマンドではサンプル・データを入力として使用することにあります。

これらの報告書で示されたトランザクション関連情報の値に著しい相違がある場合は、この相違の原因を調べるまではこのデータを使用しないでください。

NBR W-I (W-I 数)

(トランザクション) ジョブ別の待機状態から不適格状態への移行の数。この欄には、ジョブがトランザクションを待機しなければならなかった回数が示されます。

NDB READ (NDB 読み取り)

(トランザクション) 物理入出力カウント欄にリストされている場合は、ジョブがその状態にあった

間の非データベース読み取り要求の数。同期ディスク入出力要求 /TNS の欄にリストされている場合は、トランザクションごとの同期非データベース読み取り要求の平均回数。

NDB WRITE (NDB 書き込み)

(トランザクション) 同期ディスク入出力要求 /TNS の欄にリストされ、トランザクションごとの同期非データベース書き込み要求の平均回数

NDB WRT (NDB 書き込み)

(トランザクション) 物理入出力カウント欄にリストされている場合は、ジョブがその状態にあった間の非データベース書き込み要求の数。同期ディスク入出力カウント欄にリストされている場合は、トランザクションごとの非同期データベース書き込み要求の数。

NON-DB FAULT (非 DB 不在)

(システム、構成要素) 非データベースのページ不在の 1 秒当りの平均回数

NON-DB PAGE (非 DB ページ)

(システム、構成要素) 読み取られた非データベース・ページの 1 秒当りの平均数

» NON SMAPP (非 SMAPP)

(構成要素) 直接 SMAPP (System Managed Access Path Protection) に関連しないジャーナル・デボジット。 <<

» NON-SSL INBOUND CONNECT (SSL 以外のインバウンド接続)

(システム) サーバーによって受け入れられた SSL 以外のインバウンド接続の数。 <<

NON-UNICAST PACKETS RECEIVED (受信非ユニキャスト・パケット)

(システム) 指定されたインターフェース上で受信されたパケット用に高位層プロトコルに配信される非ユニキャスト・パケットの合計数

NON-UNICAST PACKETS SENT (送信非ユニキャスト・パケット)

(システム) 高水準プロトコルが、非ユニキャスト・アドレスに送信するように要求したパケットの合計数。したがって、この数には、送信されたパケットだけでなく、廃棄されたパケットまたは送信されなかったパケットも含まれています。

NUMBER (番号)

(トランザクション) トランザクションが関連するジョブの番号

NUMBER I/O PER SECOND (秒当り入出力数)

(システム) この特定の IOP の 1 秒当りの入出力の数

NUMBER JOBS (ジョブ数)

(トランザクション) ジョブ・セット内のバッチ・ジョブの数

NUMBER LCK CFT (ロック競合の数)

(トランザクション) ジョブ処理中に起こったロック待機 (データベース・レコード・ロックを含む) 状態競合の数。この欄の値が高い場合は、ジョブのトランザクション報告書および移行報告書で、ロック待機状態競合が継続した時間を調べてください。さらに、PRTLCKRPT コマンドを用いて作成される報告書により、さらに詳しく調べることができます。

NUMBER LCK CONFLICT (ロック競合の数)

(トランザクション) ジョブがロック競合を持った回数

NUMBER LOCKS (ロックの数)

(トランザクション) 対話式または非対話式待機側に帰されるロックの数

NUMBER OF BATCH JOBS (バッチ・ジョブの数)

(システム) 活動バッチ・ジョブの平均数。平均して 5 分間に最低 1 回の入出力を行うバッチ・ジョブは、活動状態にあると見なされます。

NUMBER OF JOBS (ジョブ数)

(システム) ジョブの数

NUMBER OF PACKETS RECEIVED WITH ERRORS (エラー受信パケット数)

(システム) 受信エラーがあったり、その他の理由で廃棄されるパケットの合計数。たとえば、バッファ・スペースを解放するためにパケットが廃棄される場合があります。

NUMBER SEIZES (占有の数)

(トランザクション) 対話式または非対話式待機側に帰される占有の数

NUMBER SIZE CFT (占有競合の数)

(トランザクション) ジョブ処理中に発生した占有/ロック競合の数。この値が高い場合は、ジョブのトランザクション報告書および移行報告書を参照して、競合の継続時間、オブジェクトを保留していたジョブの修飾名、保留されていたオブジェクトの名前とタイプ、およびジョブが何を待機していたかを調べてください。

NUMBER SIZE CONFLICT (占有競合の数) の欄

(トランザクション) ジョブが占有競合を持った回数

NUMBER TNS (TNS 数)

(システム、トランザクション) 処理されたトランザクションの合計数。たとえば、システム報告書では、このプール中のジョブによって処理されたトランザクションの合計数です。トランザクション報告書では、プログラムに関連したトランザクションの数です。

NUMBER TRACES (追跡数)

(バッチ・ジョブ追跡) 追跡の数

NUMBER TRANSACTIONS (トランザクション数)

(システム) 処理されたトランザクションの合計数

OBJECT FILE (オブジェクト・ファイル)

(トランザクション) オブジェクトが入っているファイル

OBJECT LIBRARY (オブジェクト・ライブラリー)

(トランザクション) オブジェクトが入っているライブラリー

OBJECT MEMBER (オブジェクト・メンバー)

(トランザクション) 競合に関与したメンバー

Object Name (オブジェクト名)

(ロック) ロックされたオブジェクトの名前

OBJECT RRN (オブジェクト RRN)

(トランザクション) 競合に関与したレコードの相対レコード番号

OBJECT TYPE (オブジェクト・タイプ)

(トランザクション、ロック) ロックされたオブジェクトのタイプ。オブジェクト・タイプは、次のとおりです。

AG アクセス・グループ

CB コミット・ブロック

CBLK コミット・ブロック

CD 制御装置記述

CLS クラス

CMD コマンド

CTLD 制御装置記述
CTX コンテキスト
CUD 制御装置記述
CUR カーソル
DEVD 装置記述
DS データ・スペース
DSI データ・スペース索引
DTAARA
 データ域
EDTD 編集記述
FILE ファイル
JOB ジョブ記述
JOBQ ジョブ待ち行列
JP ジャーナル・ポート
JRN ジャーナル
JRNRCV
 ジャーナル・レシーバー
JS ジャーナル・スペース
LIB ライブラリー
LIND 回線記述
LUD 論理装置記述
MBR メンバー
MEM データベース・ファイル・メンバー
MSGF メッセージ・ファイル
MSGQ
 メッセージ・キュー
ND ネットワーク記述
OCUR データベース操作カーソル
OUTQ 出力待ち行列
PGM Program (プログラム)
PROG Program (プログラム)
PRTIMG
 印刷イメージ
QDAG 複合体 - アクセス・グループ
QDDS 複合体 - データ・スペース
QDDSI
 複合体 - データ・スペース索引

QTAG 一時 - アクセス・グループ
QTDS 一時 - データ・スペース
QTDSI
一時 - データ・スペース索引
SBSD サブシステム記述
TBL テーブル

OMIT PARAMETERS (除外パラメーター)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 報告書から除外するデータ・レコードの選択に使用された基準。基準は、一般的に、コマンドの **OMTxxx** パラメーターを使用して指定します。デフォルト以外の値 (*NONE 以外のもの) だけが印刷されます。パラメーターが指定されなかった場合は、報告書には示されません。

OP PER SECOND (秒当り操作数)

(システム) 1 秒当りの平均ディスク操作回数

OTHER WAIT /TNS (その他の待機 /TNS)

(トランザクション) トランザクションごとに、以前のカテゴリのいずれにも含まれなかった待機に費やされた平均時間 (秒数)。たとえば、システムが新しい媒体 (テープまたはディスク) を要求した場合に、保管/復元操作中に待機で費やされた時間。

OUTGOING CALLS PCT RETRY (発呼再試行 %)

(リソース間隔) ネットワークに拒否された呼び出しのパーセント

OUTGOING CALLS TOTAL (呼び出しの合計)

(リソース間隔) 呼び出しを試みた合計回数

OVER COMMITMENT RATIO (オーバー・コミットメント率)

(システム) 主記憶装置のオーバー・コミットメント率

PAG (トランザクション) 処理アクセス・グループ不在の回数

PAG Fault (PAG 不在)

(構成要素、ジョブ間隔) 構成要素報告書の例外発生の要約では、プログラム・アクセス・グループ (PAG) が参照されたが主記憶装置になかった合計回数。ライセンス内部コードでは、データをキャッシュに入れるための処理アクセス・グループは使用しなくなりました。このインプリメンテーションのために、現行リリース以降では、この値は常に 0 です。構成要素報告書の例外発生の要約では、処理アクセス・グループと関連した 1 秒当りの不在回数。

PAGE COUNT (ページ・カウント)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された非対話式ジョブによって印刷されたページ数

PCT CPU BY CATEGORIES (カテゴリー別 CPU パーセント)

(トランザクション) さまざまなカテゴリーに分類されるトランザクションによって使用された使用可能な処理装置時間のパーセント。カテゴリーの説明については、システム要約データ・セクションの対話式トランザクション・カテゴリー別分析の部分を参照してください。

PCT DATA CHARACTERS RECEIVED IN ERROR (エラーのあった受信データ文字 %)

(リソース間隔) 受信エラーのあったデータ文字のパーセント

PCT DATA CHARACTERS TRANSMITTED IN ERROR (エラーのあった送信データ文字 %)

(リソース間隔) 送信エラーのあったデータ文字のパーセント

PCT DATAGRAMS ERROR (データグラム・エラー %)

(構成要素) 次のエラーによって廃棄されたデータグラムのパーセント

- IP 見出しの宛先フィールドの IP アドレスが、このエンティティーで受信される有効なアドレスではない
- プロトコルが不明またはサポートされていない
- バッファ・スペース不足

▶ PCT ERROR RESPONSES (エラー応答 %)

(構成要素) エラーのあった応答のパーセント ◀

PCT EX-WT /RSP (例外的待機 /RSP %)

(トランザクション) 例外的待機による応答時間のパーセント

PCT ICMP MESSAGES ERROR (ICMP メッセージ・エラー %)

(構成要素) エンティティーが受信したものの、メッセージにエラーがあることを判別したか、問題があるためにエンティティーが送信しなかった Internet Control Message Protocol (ICMP) メッセージの数

PCT OF TNS CATEGORIES (TNS カテゴリーのパーセント)

(トランザクション) 種々のカテゴリーに区別されたすべてのトランザクションのパーセント。カテゴリーの説明については、システム要約データ・セクションの対話式トランザクション・カテゴリー別分析の部分を参照してください。

PCT PACKETS RECEIVED ERROR (エラーのあった受信パケット %)

(システム) 受信エラーがあったり、その他の理由で廃棄されるパケットのパーセント。たとえば、バッファ・スペースを解放するためにパケットが廃棄される場合があります。

PCT PACKETS SENT ERROR (エラーのあった送信パケット %)

(システム) 受信エラーがあったり、その他の理由で送信されないパケットのパーセント。たとえば、バッファ・スペースを解放するためにパケットが廃棄される場合があります。

PCT PDUS RECEIVED IN ERROR (エラーで受信した PDU %)

(リソース間隔) 時間間隔中に受信エラーのあったプロトコル・データ単位 (PDU) のパーセント。ホスト・システムにエラーがある場合、または十分に速くデータを受信できない場合 (輻輳) に、これらのエラーが起こる可能性があります。

注: 非同期通信のプロトコル・データ単位 (PDU) は、終わりがプロトコル制御文字またはバッファのサイズになる可変長データ単位です。

PCT POLL RETRY TIME (ポーリング再試行時間 %)

(リソース間隔) 切断モードにあったワークステーション制御装置 (または遠隔システム) からの応答を IOP が待っていて、回線が使用不能であった時間間隔のパーセント

注: この時間損失を最小限にするには、以下のことを行います。

- 電源がオンになっている制御装置だけをオンに構成変更する。
- すべての制御装置の電源をオンにする。
- 回線記述変更 (SDLC) (CHGLNSDLC) コマンドを使用してポーリング接続タイマーを小さい値に設定する (待機時間を減らす)。
- 制御装置記述変更 (CHGCTLxxxx) コマンド (xxxx は、APPC、FNC、RWS、または RTL) を使用して NDMPOLLTMR の値を大きい値に設定する (ポーリングとポーリングの間の時間を増やす)。

PCT TNS (トランザクション %)

(トランザクション) 合計トランザクションのパーセント。ジョブ要約報告書のシステム要約セクションでは、トランザクションは所定の除去属性をもつ所定の追跡期間内にあります。ジョブ要約報告書の対話式プログラム・トランザクション統計セクションでは、プログラムに関連したトランザクションのパーセントです。ジョブ統計セクションでは、このジョブによる合計トランザクション数のパーセントです。対話式プログラム統計セクションでは、プログラムに関連したすべてのトランザクションです。

PCT UDP DATAGRAMS ERROR (UDP データグラム・エラー %)

(構成要素) 宛先ポートにアプリケーションがない、または他の理由で配信できなかった User Datagram Protocol (UDP) データグラムのパーセント

PERCENT ERRORED SECONDS (エラー秒数 %)

(リソース間隔) 少なくとも 1 つのインまたはアウトの検出アクセス伝送 (DTSE) エラーが起こった秒数のパーセント

PERCENT FRAMES RECEIVED IN ERROR (エラー受信フレーム %)

(リソース間隔) 受信エラーのあったすべての受信フレームのパーセント。ホスト・システムにエラーがあるか、十分に速く受信データを処理できない場合 (輻輳) に、エラーが起こる可能性があります。

PERCENT FULL (% FULL)

(システム) 使用されているディスク・スペース容量のパーセント

PERCENT I FRAMES TRNSMITD IN ERROR (エラー送信 I フレーム %)

(リソース間隔) 再送信を必要とした送信情報フレームのパーセント。再送信は、遠隔装置にエラーがあるか、十分に速く受信データを処理できない (輻輳) 場合に起こる可能性があります。

PERCENT SEVERELY ERRORED SECONDS (重大エラー秒数 %)

(リソース間隔) 少なくとも 3 つのインまたはアウトの検出アクセス伝送 (DTSE) エラーが起こった秒数のパーセント

PERCENT TRANSACTIONS (DYNAMIC NO) (トランザクション % (DYNAMIC NO))

(システム) システム主記憶装置利用率の尺度。除去属性 DYNAMIC NO のすべての対話式トランザクションのパーセント。

PERCENT TRANSACTIONS (PURGE NO) (トランザクション % (PURGE NO))

(システム) システム主記憶装置利用率の尺度。除去属性 PURGE NO のすべての対話式トランザクションのパーセント。

PERCENT TRANSACTIONS (PURGE YES) (トランザクション % (PURGE YES))

(システム) システム主記憶装置利用率の尺度。除去属性 PURGE YES のすべての対話式トランザクションのパーセント。

PERCENT UTIL (使用率 %)

(システム) 平均ディスク・アーム使用率 (使用中)。使用率が常に、ディスク・アーム使用率として示されたしきい値になっているかこれを超えていると、システムのパフォーマンスに影響があり、応答時間の遅れや、スループットの低下の原因になります。

注: 使用中のパーセントの値は、入出力処理装置で測定されたデータから算出されます。この値をディスク状況の処理 (WRKDSKSTS) コマンドで報告された使用パーセントと比較すると、相違がある場合があります。WRKDSKSTS コマンドは、入出力要求数、転送されたデータの量、およびディスク装置のタイプに基づいて使用パーセントを推定します。

システム全体の平均使用率には、測定間隔におけるミラー保護のアームのデータは含まれません。ミラー保護アームの場合、それらの間隔は再開状況か、中断状況のいずれかにあります。

▶ PERM SIZE (永続サイズ)

(構成要素) 永続領域内に配置されるキロバイト。これらは、検索および表示が可能な従来のジャーナル項目です。 ◀

PERM WRITE (永続書き込み)

(構成要素、ジョブ間隔) 間隔中に選択されたジョブで実行された永続書き込み操作の回数

PERMANENT WRITES PER TRANSACTION (永続書き込み/トランザクション)

(システム) 対話式トランザクションごとの永続書き込み操作の平均回数

PHYSICAL I/O COUNT (物理入出力カウント)

(トランザクション、バッチ・ジョブ追跡) バッチ・ジョブ追跡報告書のジョブ要約セクションでは、同期および非同期ディスク操作 (読み取りおよび書き込み) の回数。移行報告書では、次の 5 つの欄が、ジョブの所定の状態にあった場合の同期および非同期ディスク入出力要求の数についての情報を示します。最初の行は同期ディスク入出力要求で、2 番目の行は非同期ディスク入出力要求です。

DB READ (DB 読み取り)

ジョブがこの状態であったときのデータベース読み取り要求の数

DB WRT (DB 書き込み)

ジョブがこの状態であったときのデータベース書き込み要求の数

NDB READ (NDB 読み取り)

ジョブがこの状態であったときの非データベース読み取り要求の数

NDB WRT (NDB 書き込み)

ジョブがこの状態であったときの非データベース書き込み要求の数

TOT (合計)

データベース読み取り、データベース書き込み、非データベース読み取り、および非データベース書き込み要求の合計数

▶ PHYSICAL WRITES (物理書き込み)

(構成要素) ディスクへの物理ジャーナル書き込み操作。 ◀

PL (プール)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) サブシステムまたはジョブが実行されたプールの番号

POOL (プール)

(トランザクション、ジョブ間隔、バッチ・ジョブ追跡) トランザクションが入っているプール (たとえば、その中でジョブが実行された) の番号

POOL ID (プール ID)

(システム) プール識別コード

POOL ID FAULTS (プール ID 不在)

(構成要素) ページ不在率が最も高かったユーザー・プール

POOL MCH FAULTS/SEC (プール MCH 不在/秒)

(構成要素) プール・マシン・ページ不在の 1 秒当りの平均数

POOL SIZE (KB) (プール・サイズ (KB))

(システム、構成要素) 構成要素報告書の記憶域プール活動セクションでは、キロバイト (1024 バイト) 単位の初期プール・サイズ。システム報告書のシステム・モデル・パラメーター・セクションでは、対話式ジョブ活動を生じたすべてのプールのキロバイト単位の合計サイズ。

POOL USER FAULTS/SEC (プール・ユーザー不在/秒)

(構成要素) この間隔中に不在率が最も高かったユーザー・プールのユーザー・プール・ページ不在の 1 秒当りの平均数

POOLS (プール)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 報告書選択基準セクションで、組み込み (SLTPOOLS パラメーター) または除外 (OMTPOOLS パラメーター) により選択されたプールのリスト。それ以外の場合は、指定するプール。値は、1 から 64 までの範囲です。

PRG (トランザクション) ジョブの除外属性**PRINTER LINES (印刷装置行数)**

(システム、ジョブ間隔) 間隔中にジョブによって印刷された行数

PRINTER PAGES (印刷装置ページ)

(システム、ジョブ間隔) 間隔中にジョブによって印刷されたページ数

PRIORITY (優先順位)

(システム、トランザクション) ジョブの優先順位

PROGRAM (プログラム)

(トランザクション) トランザクションが関連するプログラムの名前

PROGRAM NAME (プログラム名)

(トランザクション) トランザクション報告書のジョブ要約セクションでは、トランザクションの開始時に制御状態にあるプログラムの名前。そのトランザクションの処理時には、他のプログラムが使用されている可能性もあります。トランザクション報告書セクションでは、トランザクションの開始時に活動状態にあるプログラムの名前。ADR=UNKNWN (アドレス不明) が欄に示されている場合は、追跡データがデータベース・ファイルにダンプされる前にそのプログラムは削除されています。ADR=000000 が欄に示されている場合は、プログラム名を判別するための十分な追跡データがなかったか、または追跡レコードの作成時にジョブ内でそのレベルで活動状態のプログラムがなかったことを示します。

PROTOCOL (プロトコル)

(システム) 回線プロトコル

- SDLC
- ASYNC
- BSC
- X25
- TRLAN
- ELAN (イーサネット)
- IDLC
- DDI
- FRLY

PTY (構成要素、トランザクション、ジョブ間隔) ジョブの優先順位。トランザクション報告書の並行バッチ・ジョブ統計では、ジョブ・セット内のジョブの優先順位。

PURGE (除去)

(トランザクション) ジョブの除外属性

PWRT (トランザクション) 永続書き込み入出力操作の回数

QUEUE LENGTH (待ち行列長さ)

(リソース間隔) この装置の待ち行列で待機しなければならなかった入出力要求の平均数

RANK (順位)

(トランザクション) 順序。ジョブ要約セクションでは、トランザクション数によるプログラムの順序。ジョブ統計セクションでは、ジョブの順序。対話式プログラム統計セクションでは、プログラムの順序。個別トランザクション統計セクションでは、重要度の順に置かれているデータによるトランザクションの順序。最長の占有/ロック競合のセクションでは、占有またはロック競合の順序。

RATIO OF WRITE DISK I/O TO TOTAL DISK I/O (書き込みと合計ディスク入出力の比)

(システム) ディスクへのデータの書き込みによる合計ディスク活動の比率

READS PER SECOND (秒当り読み取り)

(リソース間隔) ディスク・アームによって行われた 1 秒当りのディスク読み取り操作の平均回数

RECEIVE CRC ERRORS (受信 CRC エラー)

(リソース間隔) サイクル冗長検査 (CRC) エラーがあった受信フレームの数。これは、データがエラーなしで受信されなかったことを示します。

RECORD NUMBER (レコード番号)

(ロック) データベース・ファイル・メンバーでは、データベース・ファイル・メンバー内のレコードの相対レコード番号

REMOTE LAN PCT FRAMES RECD (遠隔 LAN 受信フレーム %)

(リソース間隔) ローカル接続 LAN に接続されたローカル・エリア・ネットワーク (LAN) から受信したフレームの数

REMOTE LAN PCT FRAMES TRNSMITD (遠隔 LAN 送信フレーム %)

(リソース間隔) ローカル接続 LAN に接続されたローカル・エリア・ネットワーク (LAN) に送信したフレームの数

REMOTE NOT READY (遠隔作動不能)

(リソース間隔) ホスト・システムが受信したすべての受信不可フレームのパーセント。このパーセントが高いのは、多くの場合、遠隔装置が十分に速くデータを処理できないこと (輻輳) を意味しています。

REMOTE SEQ ERROR (遠隔順序エラー)

(リソース間隔) 遠隔装置またはシステムが正しい順序で受信できなかったフレームのパーセント。これは、遠隔装置またはシステムが十分に速くデータを処理できない場合に発生します。

» REQ TYPE (要求タイプ)

(構成要素) 報告される要求のタイプ «

» REQUESTS RECEIVED (受信された要求)

(システム、構成要素) サーバーが受信した、すべてのタイプの要求の数 «

REQUESTOR'S JOB NAME (要求元ジョブ名)

(ロック) ロックされたオブジェクト (明細リスト内と同じ) を要求しているジョブの名前

RESET PACKETS RECD (受信リセット・パケット数)

(リソース間隔) ネットワークが受信したリセット・パケットの数。リセット・パケットは、エラーが起り、再送信されたパケットです。

RESET PACKETS TRNSMITD (送信リセット・パケット数)

(リソース間隔) ネットワークから送信されたリセット・パケットの数

RESPONSE (応答)

(システム) 平均システム応答 (サービス) 時間

RESPONSE SEC AVG AND MAX (応答秒数 - 平均および最大)

(トランザクション) ジョブの秒単位の平均 (AVG) および最大 (MAX) トランザクション応答時間。平均応答時間は、待機状態から活動状態への移行および活動状態から待機状態への移行の各対の間の時間の合計を、ジョブで発生した移行の対の数で割って算出されます。MAX 応答時間は、ジョブの最大応答時間です。

RESPONSE SECONDS (応答秒数)

トランザクションごとの平均応答時間 (秒数)

▶▶ RESPONSE SENT (送信された応答)

(システム、構成要素) サーバーが送信した、すべてのタイプの応答の数 ◀◀

RSP (構成要素) 対話式トランザクション平均応答時間 (秒数)**RSP TIME (応答時間)**

(構成要素、リソース間隔) 平均外部応答時間 (秒数)。リソース間隔報告書のローカル・ワークステーション IOP 使用率セクションでは、この制御装置のワークステーションの応答時間。構成要素報告書の遠隔ワークステーション・セクションでは、このワークステーションの応答時間。

RSP TIMER ENDED (応答タイマー終了)

(リソース間隔) 応答タイマーが遠隔装置からの応答を待つのを終了した回数

RSP/TNS (応答 /TNS)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔) トランザクションごとの平均応答時間 (秒数)。ジョブ間隔報告書のジョブ要約セクションでは、間隔中に選択された対話式ジョブのトランザクションごとの応答時間 (システム・リソースを待機または使用するのに費やした時間の量を、処理されたトランザクションの数で割った値)。この数は、少なくとも数秒がトランザクションの処理に費やされていない場合は、正確ではありません。

S/L (トランザクション) 競合が占有 (S) 競合またはロック (L) 競合のいずれだったかを示します。

SEGMENTS PCT RTRNS (再送セグメント %)

(構成要素) 再送されるセグメントのパーセント。この数値は、送信され、以前送信されたオクテット (バイト) を 1 つまたは複数含む、TCP セグメントです。

SEGMENTS RCVD PER SECOND (秒当り受信されるセグメント)

(構成要素) 1 秒当りに受信されるセグメント数。この数には、受信エラーのあったセグメントや現在、設定されている接続上で受信されたセグメントが含まれています。

SEGMENTS SENT PER SECOND (秒当り送信されるセグメント)

(構成要素) 1 秒当りに送信されるセグメント数。この数には、現在、設定されている接続上で送信されたセグメントは含まれていますが、再送されたオクテット (バイト) のみを含むセグメントは除外されています。

SEIZE AND LOCK CONFLICTS (占有およびロック競合)

(バッチ・ジョブ追跡) 占有競合およびロック待機の数

SEIZE CONFLICT (占有競合)

(構成要素) 1 秒当りの占有例外の数。詳しくは、パフォーマンス追跡開始 (STRPFRTRC) コマンドを発行して、PRTTNSRPT または PRTLCKRPT コマンドを使用します。このカウントは、通常の

システム操作の場合でも非常に高くなることがあります。このカウントをモニターとして使用してください。大きな変動または変化があった場合は、これを詳細に調べてください。

SEIZE HOLD TIME (占有保留時間)

(トランザクション) オブジェクトに対する占有またはロックによってトランザクションがシステムの他のジョブを保留していた時間の長さ

SEIZE WAIT /TNS (占有待機/TNS)

(トランザクション) 平均トランザクション中に発生したすべての占有ロック競合の平均時間 (秒数)。同じジョブの 1 つのトランザクションで複数の占有ロック競合が起こる可能性があります。この値が高い場合は、占有競合のあるジョブを調べてください。トランザクション報告書には、発生したそれぞれの競合、保持者の名前、および保留されたオブジェクトの名前がリストされています。ジョブ要約報告書の 5 分間隔ごとのトランザクション・セクションでは、トランザクションごとの平均占有待機時間 (秒数) です。これは、トランザクションが占有/ロック競合で費やした平均時間です。この数が大きい場合は、待機時間が大きくなる原因となっているジョブのトランザクション報告書および移行報告書を調べてください。

SELECT PARAMETERS (選択パラメーター)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 報告書に組み込むデータ・レコードの選択に使用された基準。基準は、一般的に、コマンドの SLTxxx パラメーターを使用して指定します。デフォルト以外の値 (*ALL 以外のもの) だけが印刷されます。パラメーターが指定されない場合は、報告書には表示されません。

SEQUENCE ERROR (シーケンス・エラー)

(リソース間隔) フレームが失われたことを示す順序番号が入った受信フレームの数

» SERVER JOB NAME (サーバー・ジョブ名)

(システム) サーバー・ジョブ番号。サーバーの子ジョブを識別します。 «

» SERVER JOB USER (サーバー・ジョブ・ユーザー)

(システム) サーバー・ジョブ・ユーザー。サーバーの子ジョブを識別します。 «

» SERVER NAME (サーバー名)

(システム) サーバー・ジョブ名。サーバーの子ジョブを識別します。 «

» SERVER START DATE/TIME (サーバー開始日)

(システム) フォーマット mm/dd/yy または hh:mm:ss の、最新の開始または再開日 «

SHORT FRAME ERRORS (短フレーム・エラー)

(リソース間隔) 受信した短フレームの数。短フレームは、開始フラグと終了フラグとの間のオクテットが許容限界より少ないフレームです。

SHORT WAIT /TNS (短時間待機 /TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの短期 (活動) 待機時間の平均時間 (秒数)。対話式プログラム統計セクションでは、値が高い場合は、データ待ち行列の使用、またはプログラム表示装置ファイルでの DFRWRT(*NO) または RSTDSP(*YES) の使用が原因と考えられます。

SHORT WAITX /TNS (SHORT WAIT EXTENDED) (短時間待機 X/TNS)

(トランザクション) 2 秒を超えた短時間 (活動) 待機に由来し、長時間待機移行が起こる原因となったトランザクションごとの待機時間の平均時間 (秒数)。活動レベルは解放されていますが、この時間は合計応答時間にカウントされます。データ待ち行列上での待機、または表示装置ファイルでの DFRWRT(*NO) または RSTDSP(*YES) (あるいはその両方) の使用によって、この値が高くなる場合があります。

SIZE (サイズ)

(構成要素) 1 秒当りの 10 進データ・オーバーフローおよびアンダーフロー例外の回数。数値計算で正しくないフィールド・サイズがあることを示します。

SIZE (K) (サイズ (K))

(システム、プール間隔) キロバイト (1024 バイト) 単位のプール・サイズ

SIZE (M) (サイズ (M))

(システム) 100 万バイト単位のディスク・スペース容量

SMAPP RETUNE (SMAPP 再調整)

(構成要素) システム管理のアクセス・パス保護調整

▶▶ SMAPP SYSTEM (SMAPP システム)

(構成要素) システム提供 (デフォルト) のジャーナルに保管された、SMAPP に起因するジャーナル項目 ◀

▶▶ SMAPP USER (SMAPP ユーザー)

(構成要素) ユーザー提供 (デフォルト) のジャーナルに保管された、SMAPP に起因するジャーナル項目 ◀

SOTn (トランザクション) 待機コード欄にリストされ、トランザクション n の開始を示します。これらのコードは、待機コード欄に示されますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。

SPOOL CPU SECONDS PER I/O (スプール CPU 秒/入出力)

(システム) すべてのスプール・ジョブが使用したシステム処理装置秒数を、1 つのスプール・ジョブが実行した入出力 1 回当りの値に平均した秒数

SPOOL DATABASE READS PER SECOND (スプール・データベース読み取り/秒)

(システム) スプール処理におけるデータベース・ファイル読み取り操作の 1 秒当りの平均回数

SPOOL I/O PER SECOND (スプール入出力/秒)

(システム) スプール処理における 1 秒当りの物理ディスク入出力操作の平均回数

SRV TIME (サービス時間)

(構成要素) 要求当りのディスク・サービス平均時間 (秒数) (ディスク待機時間は含まれていません)。

▶▶ SSL INBOUND CONNECTION (SSL インバウンド接続)

(システム) サーバーによって受け入れられた SSL インバウンド接続の数。 ◀

START (開始)

(トランザクション) ジョブが開始した時刻

STARTED (開始)

(トランザクション) 追跡データの最初のレコードの時刻で、形式は HH.MM.SS (時、分、秒) です。

STATE (状態)

(トランザクション) 起こり得る 3 つのジョブ状態は、以下に示されています。

- **W**—(待機状態) 活動レベルを保留していない。
- **A**—(活動または待機状態) アクティビティ・レベルを保留している。
- **I**—(不適格状態) 活動レベルを待機している。

以下の表は、起こり得るジョブ状態の移行を示しています。たとえば、**W** から **A** への移行は、**y** (yes) になっていますが、これはジョブが待機状態から活動状態に変わることが可能であること

を意味します。

		状態へ		
		A	W	I
状態から	A	y	y	y
状態	W	y	-	y
	I	y	-	-

STATE TRANSITIONS A-A (状態変換 A-A)

(バッチ・ジョブ追跡) 活動状態から活動状態への移行の数

STATE TRANSITIONS A-I (状態変換 A-I)

(バッチ・ジョブ追跡) 活動状態から不適格状態への移行の数

STOP (停止)

(トランザクション) ジョブが終了した時刻

STOPPED (停止)

(トランザクション) 追跡データの最後のレコードの時刻で、形式は HH.MM.SS (時、分、秒) です。

SUBSYSTEM NAME (サブシステム名)

(プール間隔) サブシステムの名前

SUBSYSTEMS (サブシステム)

(システム、構成要素、プール間隔) システム報告書では、指定するサブシステム名。それぞれ 10 桁の名前です。構成要素報告書では、組み込み (SLTSBS パラメーター) または除外 (OMTSBS パラメーター) により選択されたサブシステムのリスト。

SUM (合計)

(トランザクション) 同期ディスク入出力要求 /TNSの欄にリストされ、同期 DB 読み取り、DB 書き込み、NDB 読み取り、NDB 書き込み要求の平均数の合計 (ジョブのトランザクションごとの同期入出力要求の平均数)

SWX (トランザクション) 待機コード欄にリストされる拡張短期待機。短期待機は 2 秒の限界を超過し、システムはトランザクションを長期待機に入れました。この長期待機はトランザクション応答時間に入れなければなりません。多くの場合、この活動状態から待機状態に移行したトランザクションは、トランザクション境界を反映しません。

SYNC (同期)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブによって実行された同期ディスク入出力操作の回数

SYNC DIO /TNS (同期 DIO/TNS)

(トランザクション) 間隔中のトランザクションごとの同期入出力要求の平均数

SYNC DISK I/O (同期ディスク入出力)

(システム、構成要素、トランザクション) 同期ディスク入出力操作の回数

SYNC DISK I/O PER SECOND (同期ディスク入出力/秒)

(構成要素) 1 秒当りの同期ディスク入出力操作の平均数

SYNC DISK I/O REQUESTS (同期ディスク入出力要求)

(トランザクション) 優先順位、ジョブ・タイプ、およびプールの所定の組み合わせの同期ディスク入出力要求の合計数

SYNC DISK I/O RQS/TNS (同期ディスク入出力要求 /TNS)

(トランザクション) 次の 5 つの欄は、トランザクションごとの同期ディスク入出力要求の数についての情報を示します。

DB READ (DB 読み取り)

トランザクションごとの同期データベース読み取り要求の平均回数

DB WRITE (DB 書き込み)

トランザクションごとの同期データベース書き込み要求の平均回数

NDB READ (NDB 読み取り)

トランザクションごとの同期非データベース読み取り要求の平均回数

NDB WRITE (NDB 書き込み)

トランザクションごとの同期非データベース書き込み要求の平均回数

SUM (合計)

同期 DB 読み取り、DB 書き込み、NDB 読み取り、および NDB 書き込み要求の平均回数の合計 (ジョブのトランザクションごとの同期入出力要求の平均数)

SYNC I/O /ELP SEC (同期入出力/経過秒数)

(トランザクション) ジョブが使用した経過時間 1 秒当りの、すべてのジョブに関する同期ディスク入出力要求の平均回数

SYNC I/O /SEC (同期入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中にジョブによって実行された同期ディスク入出力操作の 1 秒当り平均回数。これは、同期ディスク入出力カウントを経過時間で割って算出されます。

SYNC I/O PER SECOND (同期入出力/秒)

(ジョブ間隔) 間隔中に選択された非対話式ジョブによって実行された同期ディスク入出力操作の 1 秒当りの平均回数

SYNCHRONOUS DBR (同期 DBR)

(システム、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 同期データベース読み取り操作の平均回数。同期データベース読み取り合計数をトランザクション合計数で割ったものです。プール間隔報告書およびジョブ間隔報告書では、間隔中のジョブのトランザクションごとに計算されます。システム報告書では、秒当りで計算されます。トランザクション (ジョブ要約) では、トランザクションごとに計算されます。平均 DIO/トランザクションの下にリストされ、トランザクションごとの同期データベース読み取り要求の平均回数です。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。

SYNC DBW (同期 DBW)

(システム、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 同期データベース書き込み操作の平均回数。同期データベース書き込み合計数をトランザクション合計数で割ったものです。プール間隔報告書およびジョブ間隔報告書では、間隔中のジョブのトランザクションごとに計算されます。システム報告書では、秒当りで計算されます。トランザクション (ジョブ要約) では、トランザクションごとに計算されます。平均 DIO/トランザクションの下にリストされ、トランザクションごとの同期データベース読み取り要求の平均回数です。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。

SYNCHRONOUS DIO / ACT SEC (同期 DIO/活動秒)

(システム、トランザクション) 活動秒当たりの同期ディスク入出力操作の回数。活動時間は、経過時間から待機時間を引いた時間です。

SYNCHRONOUS DIO / DED SEC (同期 DIO/専用秒)

(トランザクション) ジョブが専用モードで実行されたとした場合の同期ディスク入出力操作の 1 秒当りの見積数。専用モードは、他のジョブが活動していないか、あるいはシステムのリソースの競合状態がないことを意味します。

SYNCHRONOUS DIO / ELP SEC (同期 DIO/経過秒数)

(トランザクション) 経過秒当たりの同期ディスク入出力操作の回数

SYNCHRONOUS DISK I/O COUNTS (同期ディスク入出力カウント)

(トランザクション) 次の 5 つの欄は、トランザクションごとの同期ディスク入出力要求の数についての情報を示します。

DB READ (DB 読み取り)

トランザクションごとの同期データベース読み取り要求の回数

DB WRT (DB 書き込み)

トランザクションごとの同期データベース書き込み要求の回数

NDB READ (NDB 読み取り)

トランザクションごとの同期非データベース読み取り要求の回数

NDB WRT (NDB 書き込み)

トランザクションごとの同期非データベース書き込み要求の回数

SUM (合計)

同期 DB 読み取り、DB 書き込み、NDB 読み取り、および NDB 書き込み要求の合計
(トランザクションごとの同期入出力要求の回数)

SYNCHRONOUS DISK I/O PER TRANSACTION (同期ディスク入出力/トランザクション)

(システム、トランザクション) 対話式トランザクションごとの同期物理ディスク入出力操作の平均回数

SYNCHRONOUS MAX (同期最大)

(トランザクション) 単一トランザクションでそのジョブによって発生した同期 DBR、NDBR、および WRT 入出力要求の最大数。ジョブが対話式または自動開始のジョブ・タイプでなければ、ジョブに対する合計ディスク入出力がここにリストされます。

SYNCHRONOUS NDBR (同期 NDBR)

(システム、トランザクション、ジョブ間隔、プール間隔) 間隔中のシステム内のジョブのトランザクションごとの同期非データベース読み取り操作の平均回数。トランザクション報告書では、プール内の選択されたジョブのトランザクションごとのディスクに対する操作の回数。これは、同期非データベース読み取りカウントを、処理されたトランザクション数で割って算出されます。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。

SYNCHRONOUS NDBW (同期 NDBW)

(システム、ジョブ間隔、プール間隔) プール内の選択されたジョブのトランザクションごとのディスクに対する同期非データベース書き込み操作の平均回数。システム報告書では、間隔中のシステム内のジョブのトランザクションごとの操作の回数です。これは、同期非データベース書き込みカウントを、処理されたトランザクション数で割って算出されます。このフィールドは、システム中のジョブがトランザクションを処理しなかった場合は、印刷されません。

SYNCHRONOUS SUM (同期合計)

(トランザクション) 同期 DBR、NDBR、および WRT 要求の平均回数の合計 (ジョブのトランザクションごとの同期入出力要求の平均回数)

SYNCHRONOUS WRT (同期書き込み)

(トランザクション) トランザクションごとの同期データベースおよび非データベース書き込み要求の平均回数

SYSTEM CPU PER TRANSACTION (SECONDS) (システム CPU/トランザクション (秒))

(システム) 対話式トランザクションごとのシステム処理装置の平均秒数

SYSTEM DISK I/O PER TRANSACTION (システム・ディスク入出力/トランザクション)

(システム) 対話式トランザクションごとの、システムによる物理ディスク入出力操作の合計回数

SYSTEM STARTS (システム開始)

(構成要素) システムによって開始されたジャーナル開始操作の回数

SYSTEM STOPS (システム停止)

(構成要素) システムによって開始されたジャーナル停止操作の回数

SYSTEM TOTAL (システム合計)

(構成要素) システムでジャーナル処理されたオブジェクトからの結果、保管されたジャーナルの合計数。これらは、システム管理のアクセス・パス保護 (SMAPP) によって実行された保管です。

SYSTEM TOUSER (システムからユーザー)

(構成要素) システムによりジャーナル処理されたオブジェクトからユーザー作成ジャーナルへの結果、保管されたジャーナルの数

SZWG (トランザクション) 待機コード欄にリストされる認可占有待機。ジョブは占有競合で待機していました。元の保持者は、オブジェクトに対して持っていたロックを解放し、ロックは待機中のジョブに認可されました。オブジェクトを待機していたジョブは、この行 (WAITER ー) に名前が示され、そのジョブが占有競合の解放の待機に費やされた時間も同時に示されます。保留されたオブジェクトは、次の報告書行に示されます (OBJECT ー)。

SZWT (トランザクション) 待機コード欄にリストされる占有/ロック競合待機。ジョブは占有/ロック競合で待機しています。時間 (* / time / *) は、占有/ロック競合の時間で、報告書でこれに続く活動時間に含まれます。ロックの保持者は、報告書行の右に示されます (HOLDER ー)。保留されたオブジェクトは、次の報告書行に示されます (OBJECT ー)。

TERASPACE EAO (テラ・スペース EAO)

(構成要素) 例外発生の要約と間隔カウントにリストされている。16 境界をクロスするテラ・スペース・アドレスを計算する際に発生するテラ・スペース有効アドレス・オーバーフロー (EAO)。簡易見積もりによれば、1 秒当たり 2,300 の EAO があれば、性能が 1% 低下します。

THREAD (スレッド)

(ジョブ要約、トランザクション、移行) スレッドとは、プロセスの中の 1 つの固有な制御の流れのことです。すべてのジョブは、関連した初期スレッドを持ちます。すべてのジョブは、1 つまたは複数の 2 次スレッドを開始することができます。システムは、ジョブに対して次のようにスレッド番号を割り当てます。

- システムはスレッド識別コードを連続して割り当てます。以前に活動状態であったジョブ構造を使用するジョブが開始されると、初期スレッドに対して割り当てられるスレッド識別コードは一連番号の中の次の番号になります。
- ジョブの最初のスレッドに番号が割り当てられます。
- 同一ジョブに由来する他の追加スレッドに割り当てられる番号は、1 ずつ増えてゆきます。たとえば、

Job Name	User Name/ Thread	Job Number
QJVACMSRV	SMITH	023416
QJVACMSRV	00000006	023416
QJVACMSRV	00000007	023416
QJVACMSRV	00000008	023416

1 より大きいスレッド値は、必ずしもそのジョブに同時に活動状態の多数のスレッドが存在するという意味にはなりません。同一ジョブについて現在活動状態となっているスレッドの数を判別するには、WRKACTJOB、WRKSBSJOB、または WRKUSRJOB コマンドを使用して、同一ジョブ名に付いている複数の 3 つの部分から成る識別コードを探します。

▶ THREADS ACTIVE (活動状態のスレッド)

(システム) データのサンプリング時に活動していたスレッドの数 ◀

▶ 活動停止中のスレッド

(システム) データのサンプリング時に活動を停止していたスレッドの数 ◀

TIME (時刻)

(トランザクション) トランザクションが完了した時刻、あるいは占有またはロック競合が起こった時刻。また、1 つの状態から別の状態への移行が起こった時刻を示す欄見出しで、HH.MM.SS.mmm の配列。

TNS (構成要素、プール間隔) プールまたはサブシステムの中で選択されたジョブによって処理された、トランザクションの合計数

TNS COUNT (TNS カウント)

(構成要素、ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブによって実行されたトランザクションの数

TNS/HOUR (TNS/時間)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔) 間隔中に選択された対話式ジョブによって処理された 1 時間当りのトランザクションの平均数

TNS/HOUR RATE (TNS/時間率)

(システム) 1 時間当りのトランザクションの平均数

TOD OF WAIT (待機の TOD)

(ロック) 競合の開始時刻

TOT (合計)

(トランザクション) 物理入出力カウント欄にリストされ、DB 読み取り、DB 書き込み、NDB 読み取り、および NDB 書き込み要求の合計回数

TOT NBR TNS (合計トランザクション数)

(トランザクション) PRRTNSRPT プログラムがジョブに関して達成した入力データから判別したトランザクションの合計数

TOTAL (合計)

(構成) 報告期間中の合計例外カウント

TOTAL /JOB (合計/ジョブ)

(トランザクション) ジョブの欄の項目の合計 (和)

TOTAL CHARACTERS PER TRANSACTION (トランザクション当りの合計文字数)

(システム) 1 つの対話式トランザクション当りの表示装置の画面から読み取られたか、画面に書き出された文字の平均数

TOTAL CPU SEC /SYNC DIO (合計 CPU 秒/同期 DIO)

(トランザクション) 合計 CPU 秒数を同期ディスク入出力要求の合計で割った率

TOTAL CPU UTILIZATION (合計 CPU 使用率)

(システム、構成要素) 対話式ジョブ、バッチ・ジョブ、すべてのシステム・ジョブ、およびライセンス内部コード・タスクが使用した、使用可能な処理装置時間のパーセント。複数処理装置システムの場合、これはすべての処理装置を通算した平均使用率です。複数処理装置システムの場合は、CPU 使用率合計 は、システムの各処理装置の使用率によって置き換えられます。下に示す例は、2 つの処理装置を持つシステムの場合の画面のこの部分です。

平均 CPU 使用率	:	41.9
CPU 1 使用率	:	41.7
CPU 2 使用率	:	42.2

注: この値はシステム・カウンターから取られます。他の処理装置率は個々のジョブの作業制御ブロック (WCB) から取られます。これらの合計は、わずかながら異なる場合があります。

TOTAL CPU UTILIZATION (DATABASE CAPABILITY) (CPU 使用率合計 (データベース機能))

(システム) システム上の DB2 Universal DatabaseTM for iSeries 活動を表示します。このフィールドは、V4R5 以降のリリースを実行するすべてのシステムに適用され、すべての SQL およびデータ入出力操作を含む、すべてのデータベース活動を含みます。

TOTAL CPU UTILIZATION (INTERACTIVE FEATURE) (CPU 使用率合計 (対話式機構))

(システム) CPU 使用率 (対話式機構) は、対話式作業に関するシステムの容量に関連して 5250 ワークステーション入出力操作を行うすべてのジョブに対して CPU 使用率を表示します。システムと購入された関連機構に応じて、対話式容量は、システムの合計容量に等しいかそれ以下になります。

TOTAL DATA CHARACTERS RECEIVED (受信データ文字合計)

(リソース間隔) 正常に受信されたデータ文字数

TOTAL DATA CHARACTERS TRANSMITTED (送信データ文字合計)

(リソース間隔) 正常に送信されたデータ文字数

TOTAL DATAGRAMS REQUESTED FOR TRANSMISSION (送信用に要求された合計データグラム)

(構成要素) 次の理由によって廃棄される IP データグラムのパーセント

- データグラムを宛先に送信するための経路が検出されなかった
- バッファ・スペースの不足

TOTAL FIELD PER TRANSACTION (トランザクション当りの合計フィールド数)

(システム) 1 つの対話式トランザクション当りの読み取りまたは書き込みが行われた表示装置フィールドの平均数

TOTAL FRAMES RECD (受信フレーム合計)

(リソース間隔) 受信したフレームの数。エラーのあったフレームおよび有効でないフレームも含まれます。

TOTAL I FRAMES TRNSMITD (送信 I フレーム合計)

(リソース間隔) 送信された情報フレームの合計数

TOTAL I/O (入出力合計)

(システム) 読み取り操作および書き込み操作の合計回数

TOTAL PDUS RECEIVED (受信 PDU 合計)

(リソース間隔) 間隔中に受信したプロトコル・データ単位 (PDU) の数

注: 非同期通信のプロトコル・データ単位 (PDU) は、終わりがプロトコル制御文字またはバッファのサイズになる可変長データ単位です。

TOTAL PHYSICAL I/O PER SECOND (物理入出力合計/秒)

(リソース間隔) ディスク・アームによって実行された 1 秒当りの物理ディスク入出力操作の平均回数

TOTAL RESPONSES (応答合計)

(構成要素、リソース間隔) 報告期間中にこの制御装置上でカウントされたトランザクションの合計数、ならびにすべての活動ワークステーションおよび装置の平均応答時間

TOTAL SEIZE/WAIT TIME (占有/待機の合計時間)

(構成要素) 各ジョブの応答時間 (ミリ秒)

TOTAL TNS (トランザクション合計)

(構成要素) このプールで処理されたトランザクションの数

TRANSACTION RESPONSE TIME (SEC/TNS) (トランザクション応答時間 (秒/TNS))

(トランザクション) トランザクションごとの応答時間 (秒数)。この値には、通信回線時間は含まれません。ワークステーションで測定された応答時間は、データ伝送時間 (データをワークステーションから処理装置に伝送し、応答データを処理装置からワークステーションに戻すための時間) だけ、この時間より大きくなります。

TRANSACTIONS PER HOUR (LOCAL) (トランザクション/時間 (ローカル))

(システム) ローカル表示装置による 1 時間当りの対話式トランザクション数

TRANSACTIONS PER HOUR (REMOTE) (トランザクション/時間 (遠隔))

(システム) 遠隔表示装置による 1 時間当りの対話式トランザクション数

▶▶ TRANSIENT SIZE (一時サイズ)

(構成要素) ジャーナル一時領域に配置されるキロバイト。これらは、システムが作成する隠しジャーナル項目です。◀◀

TRANSMIT/RECEIVE/AVERAGE LINE UTIL (送信/受信/平均回線使用率)

(リソース間隔) 全二重モードで、使用された送信回線容量のパーセント、使用された受信回線容量のパーセント、および送受信容量の平均

TSE (トランザクション) 待機コード欄にリストされるタイム・スライス終了。LAST のラベルのスタック項目に示されているプログラムが、タイム・スライス終了に移ったプログラムです。

TYP (構成要素、トランザクション) システム・ジョブ・タイプおよびサブタイプ。構成要素報告書では、この欄には 1 文字しか許されません。トランザクション報告書では 2 文字が許されます。トランザクション報告書では、QAPMJOBS フィールドから直接、ジョブ・タイプおよびジョブ・サブタイプが報告されます。構成要素報告書は、ジョブ・タイプおよびジョブ・サブタイプの値をとってから文字に変換しますが、この文字は QAPMJOBS フィールドの値になる場合もそうでない場合もあります。ジョブのタイプは、次のとおりです。

A 自動開始

B バッチ

BD バッチ即時 (トランザクションのみ)

注: バッチ即時値は、「活動ジョブの処理」画面では BCI として、また「サブシステム・ジョブの処理」画面では BATCHI として表示されます。

- BE** バッチ呼び出し (トランザクションのみ)
- BJ** バッチ事前開始ジョブ (トランザクションのみ)
- C** APPC 上の 5250 エミュレーション、および APPC または TCP/IP のいずれかを実行している iSeries アクセス・ホスト・サーバーを含む、プログラム式ワークステーションのアプリケーション・サーバー。ホスト・サーバーの詳細に関しては、iSeries Information Center のホスト・サーバー管理 のトピックを参照してください。次の事項のいずれかが真である場合、ジョブは iSeries アクセス・サーバーとして報告されます。
- 着信 APPC 呼び出しが、サーバー・プログラム名のいずれかを要求している場合。これは、指定のプログラムをすでに待機している、QSERVER、QCMN、および QSYSWRK サブシステムの事前開始ジョブに対しても適用されます。
 - 着信 IP ポート番号が、サービスの名前 - 記述 - ポート - 番号のいずれかに対応する場合。これは、割り当てられた IP ポート番号をすでに待機している、QSERVER、QCMN、および QSYSWRK サブシステムの事前開始ジョブに対しても適用されます。
 - 着信 IPX ソケット番号が、サービスの名前 - 記述 - ポート - 番号のいずれかに対応する場合。これは、割り当てられた IPX ポート番号をすでに待機している、QSERVER、QCMN、および QSYSWRK サブシステムの事前開始ジョブに対しても適用されます。
 - OS/2 コミュニケーション・マネージャーまたは WARP 同等機能のもとでの 5250 エミュレーションによって送信された APPC データ・ストリームに由来する、着信 5250 表示装置エミュレーション・ジョブ
- D** ターゲット分散データ管理 (DDM) サーバー
- I** 対話式。構成要素報告書の場合、これには平衡型データ・リンク制御 (TDLC)、5250 遠隔ワークステーション、および 3270 遠隔ワークステーションを含みます。トランザクション報告書の場合、これには平衡型データ・リンク制御 (TDLC)、5250 遠隔ワークステーション、3270 遠隔ワークステーション、SNA パススルー、および 5250 Telnet を含みます。
- L** ライセンス内部コード・タスク
- M** サブシステム・モニター
- P** SNA パススルーおよび 5250 Telnet パススルー。トランザクション報告書では、これらのジョブは I (対話式) として表示されます。
- R** スプール読み取りプログラム
- S** システム
- W** スプール書き出しジョブ、および高機能印刷 (AFP) が指定されている場合は印刷ドライバー・ジョブを含む、スプール書き出しプログラム。
- WP** スプール印刷ドライバー (トランザクションのみ)
- X** システムの開始

ジョブのサブタイプは、次のとおりです。

- D** 即時のバッチ・ジョブ

E	呼び出し (通信バッチ)
J	事前開始ジョブ
P	印刷ドライバー・ジョブ
T	複数要求端末 (MRT) (システム/36 環境のみ)
3	システム/36

注:

1. ジョブ・サブタイプは、構成要素報告書では表示されません。
2. ジョブ・タイプがブランクの場合、またはジョブ・タイプの割り当てを変更したい場合は、ジョブ・タイプ変更 (CHGJOB TYP) コマンドを用いて該当のジョブ・タイプを割り当ててください。

TYPE (タイプ)

(System、Transaction、Job Interval (システム、トランザクション、ジョブ間隔)) の DTNTY フィールドの記述にリストされているトランザクション・タイプの 1 つ

(System (システム))

ディスク・タイプ

(Transaction (トランザクション))

ジョブのタイプおよびサブタイプ

(Transaction (トランザクション))

オブジェクト・セクションによる占有/ロック競合の場合、占有/ロック競合のタイプ

UDP DATAGRAMS RECEIVED (受信 UDP データグラム)

(構成要素) UDP ユーザーに配信される User Datagram Protocol (UDP) データグラムの合計数

UDP DATAGRAMS SENT (送信 UDP データグラム)

(構成要素) このエンティティから送信される User Datagram Protocol (UDP) データグラムの合計数

» UNCAP CPU AVAIL (使用可能な上限なし CPU)

(構成要素) 構成済みの CPU に加え、間隔中に共用プロセッサ・プールの区画に対して使用可能な CPU 時間のパーセント。この値は、特定の区画に使用可能な構成済み CPU から見て相対的です。 «

UNICAST PACKETS RECEIVED (受信ユニキャスト・パケット)

(システム) 高位層プロトコルに配信されるサブネットワーク・ユニキャスト・パケットの合計数。この数値には、指定されたインターフェース上で受信されたパケットのみが含まれています。

UNICAST PACKETS SENT (送信ユニキャスト・パケット)

(システム) 高水準プロトコルが、サブネットワーク・ユニキャスト・アドレスに送信するように要求したパケットの合計数。この数値には、廃棄されたパケットや送信されなかったパケットが含まれています。

UNIT (装置)

(システム、構成要素、リソース間隔) 特定のディスク装置またはアームを識別するためにシステムによって割り当てられた番号。装置番号の後の A または B は、そのディスク装置がミラー保護されていることを示します。(たとえば、0001A および 0001B はミラー保護ディスクの対です。)

UNIT NAME (装置名)

ディスク・アームのリソース名

USER ID (ユーザー ID)

(システム、構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、プール) 含める (SLTUSRID パラメータ) または除外する (OMTUSRID パラメータ) ことにより選択されたユーザーのリスト。

USER NAME (ユーザー名)

(構成要素、トランザクション、ジョブ間隔、バッチ・ジョブ追跡) 関与した (ジョブを実行依頼した、競合したなど) ユーザーの名前

USER NAME/THREAD (ユーザー名/スレッド)

(コンポーネント、トランザクション) ジョブ情報に 2 次スレッドが含まれる場合は、この欄にはスレッド識別コードが表示されます。ジョブ通知に 2 次スレッドが含まれない場合は、この欄にはユーザー名が表示されます。システムは、ジョブに対して次のようにスレッド番号を割り当てます。

- システムはスレッド識別コードを連続して割り当てます。以前に活動状態であったジョブ構造を使用するジョブが開始されると、初期スレッドに対して割り当てられるスレッド識別コードは一連番号の中の次の番号になります。
- ジョブの最初のスレッドに番号が割り当てられます。
- 同一ジョブに由来する他の追加スレッドに割り当てられる番号は、1 ずつ増えてゆきます。たとえば、

Job Name	User Name/ Thread	Job Number
QJVACMSRV	SMITH	023416
QJVACMSRV	00000006	023416
QJVACMSRV	00000007	023416
QJVACMSRV	00000008	023416

1 より大きいスレッド値は、必ずしもそのジョブに同時に活動状態の多数のスレッドが存在するという意味にはなりません。同一ジョブについて現在活動状態となっているスレッドの数を判別するには、WRKACTJOB、WRKSBSJOB、または WRKUSRJOB コマンドを使用して、同一ジョブ名に付いている複数の 3 つの部分から成る識別コードを探します。

USER STARTS (ユーザー開始)

(構成要素) ユーザーによって開始されたジャーナル開始操作の回数

USER STOPS (ユーザー停止)

(構成要素) ユーザーによって開始されたジャーナル停止操作の回数

USER TOTAL (ユーザー合計)

(構成要素) システムでジャーナル処理されたオブジェクトからの結果、保管されたジャーナルの合計数。

UTIL (使用率)

(構成要素、リソース間隔) 各ローカル・ワークステーション、ディスク、または通信 IOP、制御装置、または駆動機構の使用率のパーセント

注: システム全体の平均使用率には、測定間隔におけるミラー保護のアームのデータは含まれません。ミラー保護アームの場合、それらの間隔は再開状況か、中断状況のいずれかにあります。

UTIL 2 (使用率 2)

(構成要素、リソース) コプロセッサの使用率

VALUE (値)

(トランザクション) ジョブ要約報告書の個別トランザクション統計セクションでは、トランザクションに関して比較されるデータの値。最長の占有/ロック競合セクションでは、占有またはロック競合が起こった秒数。

VERIFY (検査)

(構成要素) 1 秒当りの検査例外の数。検査例外は、ポインターの分析解決が必要な場合、ブロックされた MI 命令が機密保護レベル 10、20、または 30 で使用された場合、および解決されていない記号名が呼び出された場合に起こります。このカウントは、通常のシステム操作の場合でも非常に高くなる場合があります。このカウントをモニターとして使用してください。大きな変動または変化があった場合は、これを詳細に調べてください。

W-I WAIT/TNS (W-I 待機/TNS)

(トランザクション) トランザクションごとの待機状態から不適格状態への移行の平均時間 (秒数)。この値は、活動レベルが応答時間に与える影響を示します。この値が低い場合は、待機状態から不適格状態への移行の数が応答時間にほとんど影響しないことになります。この値が高い場合は、対話式プールの記憶域を追加し、対話式プールの活動レベルを増やすことによって、応答時間が改善されるはずですが、対話式プールの記憶域を大きくすることができない (使用可能な記憶域が限定されているため) 場合は、活動レベルを大きくすると応答時間が改善される可能性があります。ただし、活動レベルを大きくすると、その記憶域プール内での不在ページが増えることがあります。

WAIT CODE (待機コード)

(トランザクション) 追跡レコードが作成される原因となるジョブ状態の移行。値は次のとおりです。

EVT 事象待機。 メッセージ・キューでの待機時に起こる長時間待機。

EOTn タイプ n のトランザクションのトランザクション終了。これらのコードは待機コード欄に入っていますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。

EORn トランザクション n の応答時間の終わりを示します。これらのコードは、待機コード欄に示されますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。

➤ ERROR RESPONSES (エラー応答)

(構成要素) エラーのあった応答の数 ◀

HDW 保留待機 (延期されたジョブまたはシステム要求)

LKRL ロック解放。ジョブは、報告書の次の明細行 (OBJECT 一) に示されたオブジェクトに対して持っていたロックを解放しました。オブジェクトを待機していたジョブは、この行 (WAITER 一) に名前が示され、そのジョブがロックの解放の待機に費やされた時間も同時に示されます。

LKW ロック待機。これが多数ある場合、または ACTIVE/RSP* の欄に時間の非常に長い項目がある場合は、追加の分析が必要です。この LKW 報告書行の前の LKWT 報告書行が、待機の対象のオブジェクトおよびそのオブジェクトの所有者を示します。

LKWT

ロック競合待機。ジョブはロック競合で待機しています。時間 (* / time /*) は、ロック競

合の期間で、LKW 時間と同じではないにしても、これに非常に近いはずで、ロックの保持者は、報告書行の右に示されます (HOLDER ー)。ロックされたオブジェクトは、次の報告書行に示されます (OBJECT ー)。

- SOTn** トランザクション n の開始を示します。これらのコードは、待機コード欄に示されますが、待機コードではありません。これらはトランザクション境界追跡レコードを示します。
- SWX** 拡張短時間待機時間。短期待機は 2 秒の限界を超過し、システムはトランザクションを長期待機に入れました。この長期待機はトランザクション応答時間に入れなければなりません。言い換えると、活動状態から待機状態に移行したトランザクションは、トランザクション境界を反映しません。
- SZWG** (トランザクション) 待機コード欄にリストされる認可占有待機。ジョブは占有競合で待機していました。元の保持者は、オブジェクトに対して持っていたロックを解放し、ロックは待機中のジョブに認可されました。オブジェクトを待機していたジョブは、この行 (WAITER ー) に名前が示され、そのジョブが占有競合の解放の待機に費やされた時間も同時に示されます。保留されたオブジェクトは、次の報告書行に示されます (OBJECT ー)。
- SZWT** 占有/ロック競合待機。ジョブは占有/ロック競合で待機しています。時間 (* / time /*) は、占有/ロック競合の時間で、報告書でこれに続く活動時間に含まれます。ロックの保持者は、報告書行の右に示されます (HOLDER ー)。保留されたオブジェクトは、次の報告書行に示されます (OBJECT ー)。
- TSE** タイム・スライス終了。LAST のラベルのスタック項目に示されているプログラムが、タイム・スライス終了に移ったプログラムです。長期待機の間ジョブが 0.5 秒 (高速処理装置では 0.2 秒) の CPU 時間を使用するごとに、システムは CPU 待ち行列に等しい優先順位をもつジョブがあるかどうかを調べます。ある場合は、等しい優先順位をもつ次のジョブに CPU の使用权を与え、割り込まれたジョブを待ち行列の等しい優先順位の最後の位置に移動します。ただし、そのジョブは活動レベルを維持します。これは内部のタイム・スライス終了です。ジョブが外部タイム・スライス値に達した場合は、別のジョブが活動レベルを待機していれば、活動状態から不適格状態への状態移行が起こることがあります。ジョブが強制的に活動レベルをはずされる場合、そのページは別のジョブによって奪取され、そのジョブが再び活動レベルを入手する時点でさらに別の入出力が発生することになります。対話式ジョブでは 2 秒、バッチ・ジョブでは 5 秒の IBM^(R) 提供のデフォルト値は、特にハイエンドの処理装置では長すぎることがあります。初期値として、トランザクションごとの平均 CPU 秒数の 3 倍に、タイム・スライスを設定するようにしてください。
- WTO** 待機タイムアウト。ジョブは、待機 (たとえば、ロック、メッセージ・キュー、またはレコードに対する待機) に定められた待機タイムアウト限度を超過しました。

WAIT-INEL (待機 - 不適格)

(システム、構成要素) 待機状態から不適格状態へのジョブの状態移行の 1 分当りの平均回数

WORK STATION CONTROLLER (ワークステーション制御装置)

(リソース間隔) 遠隔ワークステーション制御装置の名前

WRITES PER SECOND (書き込み/秒)

(リソース間隔) ディスク・アームによって実行された 1 秒当りのディスク書き込み操作の平均回数

WTO (トランザクション) 待機コード欄にリストされる待機タイムアウト。ジョブは、待機 (たとえば、ロック、メッセージ・キュー、またはレコードに対する待機) に定められた待機タイムアウト限度を超過しました。

0.0-1.0 (構成要素、リソース間隔) 応答時間が 0-1 秒であった回数。

1.0-2.0 (構成要素、リソース間隔) 応答時間が 1-2 秒であった回数。

2.0-4.0 (構成要素、リソース間隔) 応答時間が 2-4 秒であった回数。

4.0-8.0 (構成要素、リソース間隔) 応答時間が 4-8 秒であった回数。

付録. 特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032
東京都港区六本木3-2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。 IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとしします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
Software Interoperability Coordinator, Department 49XA
3605 Highway 52 N
Rochester, MN 55901
U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、IBM 機械コードのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。

強行法規で除外を禁止されている場合を除き、IBM、そのプログラム開発者、および供給者は「プログラム」および「プログラム」に対する技術的サポートがある場合にはその技術的サポートについて、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

IBM、そのプログラム開発者、または供給者は、いかなる場合においてもその予見の有無を問わず、以下に対する責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 特別損害、付随的損害、間接損害、または経済上の結果的損害
3. 逸失した利益、ビジネス上の収益、あるいは節約すべかりし費用

国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

(C) (お客様の会社名) (年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。(C) Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX

AIX 5L

Domino

e(ロゴ)server

eServer

Operating System/400

OS/400

IBM

iSeries

pSeries

xSeries

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux[™] は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

資料に関するご使用条件

お客様がダウンロードされる情報につきましては、以下の条件にお客様が同意されることを条件にその使用が認められます。

個人使用: この情報は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、この情報またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商業的使用: この情報は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこの情報の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で情報またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

ここで明示的に許可されているもの以外に、含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

情報の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。IBM は、この情報の内容についていかなる保証もしません。この情報は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、不侵害の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

これらの資料の著作権はすべて、IBM Corporation に帰属しています。

お客様が、このサイトから情報をダウンロードまたは印刷することにより、これらの条件に同意されたものとさせていただきます。

コードに関する特記事項

IBM^(R) は、お客様に、すべてのプログラム・コードのサンプルを使用することができる非独占的な著作使用权を許諾します。お客様は、このサンプル・コードから、お客様独自の特別のニーズに合わせた類似のプログラムを作成することができます。

強行法規で除外を禁止されている場合を除き、IBM、そのプログラム開発者、および供給者は「プログラム」および「プログラム」に対する技術的サポートがある場合にはその技術的サポートについて、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

IBM、そのプログラム開発者、または供給者は、いかなる場合においてもその予見の有無を問わず、以下に対する責任を負いません。

1. データの喪失、または損傷。
2. 特別損害、付随的損害、間接損害、または経済上の結果的損害
3. 逸失した利益、ビジネス上の収益、あるいは節約すべかりし費用

国または地域によっては、法律の強行規定により、上記の責任の制限が適用されない場合があります。



Printed in Japan